小学生白書 Web 版

2016 年 9 月調査

調査テーマ

「小学生の生活・学習・グローバル意識に関する調査」

2017 年 3 月

学研ホールディングス

学研教育総合研究所

小学生白書 Web 版
2016 年 9 月調査

1. 調査テーマ 1

2. 調査の方法と概要 3

3. 回答者の属性 4

4. 日常生活について 8
起床時刻 8
起きてから家を出るまで 9
放課後の過ごし方（テレビの視聴時間） 10
放課後の過ごし方（ゲームをする時間） 11
放課後の過ごし方（ラインやメールの利用時間） 12
就寝時刻 13
22 時以降の過ごし方 14
朝食について 15
好きな食べ物＆嫌いな食べ物 17
好きな色＆嫌いな色 20
お小遣い（金額と使い道） 24
お年玉（金額と使い道） 26
お金の使い道 28

5. 学習・学校生活について 29
習い事 29
好きな科目＆嫌いな科目 30
将来役に立つと思う科目 32
将来役に立つと思う科目と好きな科目の関係 33
将来役に立つと思う科目と嫌いな科目の関係 34
学校生活で大切だと思うもの 35
学校の勉強が楽しいか 36
学校に満足しているか 37

6. 読書について 38
本（１月に読む冊数） 38
本（１か月の購入冊数） 39
漫画（１か月に読む冊数） 40
漫画（１ヶ月の購入冊数） 41
電子書籍（１か月に読む冊数） 42
電子書籍（１か月の購入冊数） 43
好きな本・雑誌のジャンル 44

7. 将来について 45
将来つきたい職業（全体ランキング） 45
将来つきたい職業（男子・学年別） 47
将来つきたい職業（女子・学年別） 51

8. 通信機器について 55
通信機器（種類・利用目的） 55
通信機器（利用サービス） 57
通信機器（利用時間） 58
通信機器（通信機器利用と読書時間） 59

9. グローバル意識について 60
渡航経験 60
行ってみたい国 61
外国に行きたくない理由 63
留学への意識（子ども） 64
留学への意識（保護者） 65
海外渡航と留学への興味の関係 66

10. オリンピック・パラリンピックについて 67
オリンピックへの興味 67
楽しみにしている種目 68

11. 夏休みについて 69
夏休みの長さ 69
夏休みの長さへの意識 70
夏休みの過ごし方 71

夏休みの宿題（どれくらいやったか） 72
夏休みの宿題（いつやったか） 73
夏休みの宿題（自分でやったか） 74

12. 保護者の意識 75
学校に求めるもの（保護者） 75
学校に満足しているか（保護者） 76
学習は学校の授業だけで十分か（保護者） 77
学校に求める役割と授業の満足度の関係（保護者） 78
学校に求める役割と学校の満足度の関係（保護者） 79
主権者教育（学校でやったか） 80
主権者教育（家族と話すか） 81
ＰＴＡについて（保護者） 82

1．調査テーマ

「小学生の生活・学習・グローバル意識に関する調査」

調査のねらい

『小学生白書 Web 版』は、小学生向け学習雑誌「学習」「科学」（1946～2010 年）の読者を対象に実施していた『小学生白書』の後継として、2010 年以降、学研教育総合研究所が毎年実施しているインターネット調査の結果をまとめたものである。
調査内容は、家庭、学校、興味・趣味など小学生の日常生活全般にわたるが、経年変化を見るための定番の質問項目に加えて、その時々の話題やトピックスを取り上げることで、毎年特色のあるものとなっている。

今回の『小学生白書 Web 版』2016 年 9 月調査は
（1）日常生活に関わる項目
（2）学習に関わる項目
（3）グローバル意識に関わる項目
の大きく 3 つに分けられる。
各項目の問題意識（ねらい）および内容は次のとおりである。

（1）日常生活に関わる項目
　今年も例年通り、「起床時刻・就寝時刻」「好き・嫌いな食べ物」「好き・嫌いな色」「お小遣い・お年玉」「将来つきたい職業」などの定番項目を用意した。去年から設置した通信機器の利用実態についての項目では、利用サービスの選択肢を追加したことにより新たな実態が浮き彫りになった。また、通信機器の普及に伴い「テレビの視聴時間」や「読書量」などがどのように変化したのか等、小学生の時間の使い方にも着目している。

（2）学習に関わる項目
　定番項目である「好きな科目・嫌いな科目」や「習い事」等に加え、今回は次期学習指導要領改訂に向けた新しい項目を設置した。昨今、学業成績と学業に対する興味関心の意識差が注目されていることを受けて、「好きな科目・嫌いな科目」とは別に「将来役に立つと思う科目」について調査を行い、それぞれのクロス分析を行った。また、次期学習指導要領改訂に向けて大きく転換しようとしている学校教育に対して、小学生が学校生活に求めるものと保護者が求めるものとの比較を行った。さらに、今後ますます求められる学校・家庭・地域社会の連携において重要な役割の一つであるＰＴＡに対する保護者の意識も調査した。

（3）グローバル意識に関わる項目

急速なグローバル化と情報化に対応するため 4 技能の英語教育の充実を見据えた小・中・高での取り組みが進められているが、外国に対する小学生・保護者の興味関心はどうであろうか。今回は「海外渡航経験」や「行ってみたい国」、「留学に対する興味」等について質問した。「行ってみたい国」に関してはその理由を自由記述で尋ねたところ、外国に興味を持つきっかけは非常に様々であることが明らかになった。

他にも、2016 年がリオオリンピックを終えた年であることから、2020 年の東京オリンピックに向けた質問項目も用意した。

全体的な傾向の他に、学年や男女での違いに着目することで浮き彫りになるものもあった。上記で紹介しきれなかった項目も含め、是非様々な観点からの分析に注目していただきたい。

2. 調査の方法と概要

○ 調査方法
インターネット調査

○ 調査対象の概要
本調査に協力していただける日本全国の小学生（1～6 年生）のお子さんをもつ保護者を、190 万人を超えるモニター母集団から抽出し、保護者付き添いのもとで、小学生本人が回答するように依頼した。
1～6 年生各学年で男子 100 人と女子 100 人の計 200 人、6 学年の総合計 1200 人、それぞれの保護者合計 1200 人（1200 組）の回答が集まったところで、調査を終了した。

○ 調査時期
2016 年 9 月 14 日～9 月 17 日

○ 調査協力
株式会社クロス・マーケティング

3. 回答者の属性

本調査にご協力くださった小学生と保護者の属性、または社会的な背景等は以下の通りである。

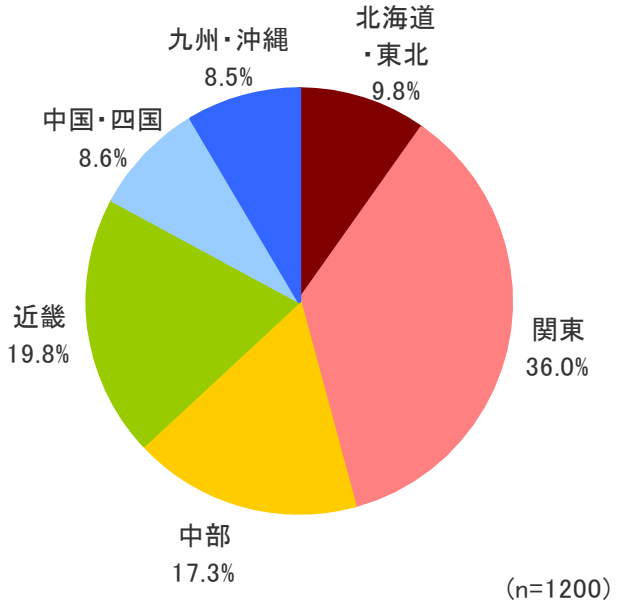
【子どもの属性】

2016 年調査時期に、小学 1～6 年生であり、性別は男子と女子が半数ずつ。
（各学年男子 100 人と女子 100 人の計 200 人　6 学年総合計 1200 人）
1 年生　200 人
（男子 100 人、女子 100 人）
2 年生　200 人
（男子 100 人、女子 100 人）
3 年生　200 人
（男子 100 人、女子 100 人）
4 年生　200 人
（男子 100 人、女子 100 人）
5 年生　200 人
（男子 100 人、女子 100 人）
6 年生　200 人
（男子 100 人、女子 100 人）

【住んでいる地域】

人口比率を考慮し、日本全国から回答を得ることができるように実施。
北海道・東北地方（9.8%）、関東地方（36.0%）、中部地方（17.3%）、近畿地方（19.8%）、中国・四国地方（8.6%）、九州地方・沖縄（8.5%）

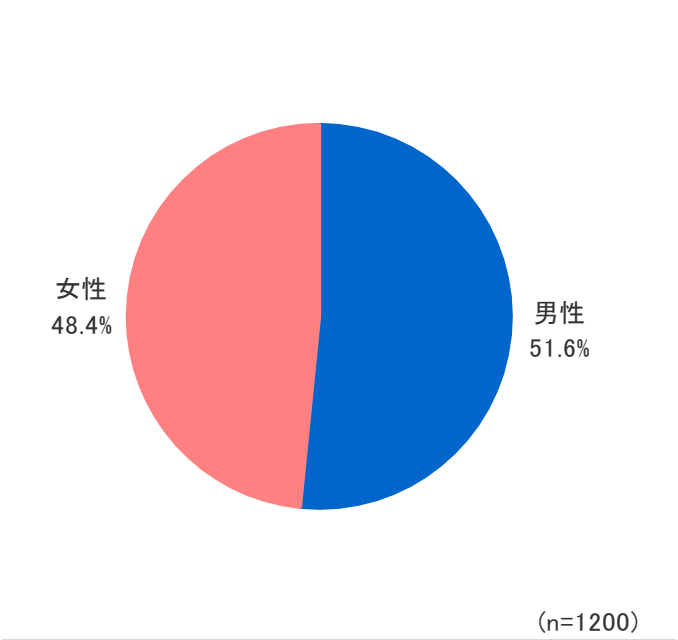
【図 0－1】居住地



【保護者の性別】

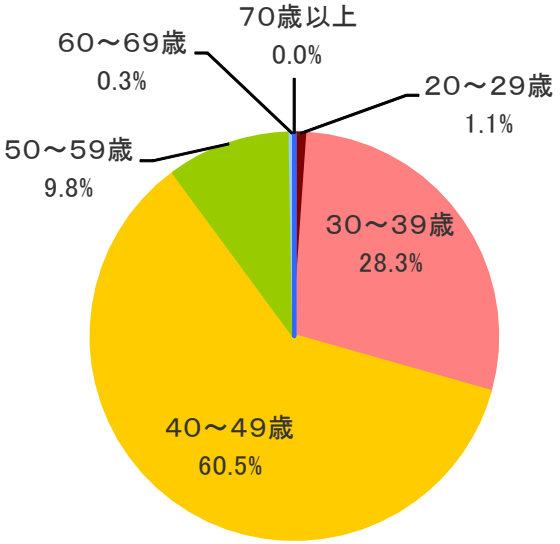
保護者の性別の割合は、男性（51.6%）、女性(54.9%)。

【図 0－2】保護者の性別



【保護者の年齢】
保護者の年齢層で多いのは、40～49 歳(60.5%)と 30～39 歳(28.3%)で、今回の調査対象のうち 9 割弱を占めている。

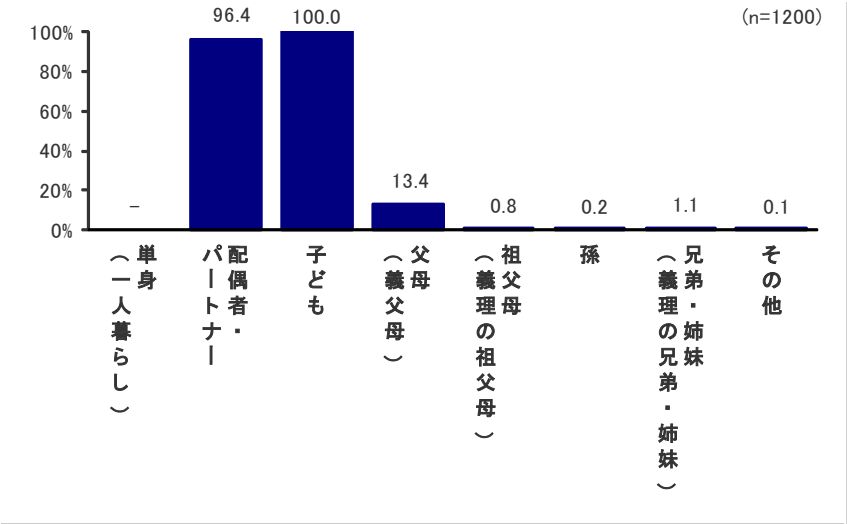
【図 0-3】保護者の年齢



(n=1200)

【家族構成】
家族構成を見ると、保護者の両親（子どもにとっての祖父母）と同居しているのは 13.4%。つまり、調査対象の約 85%が核家族構成であった。

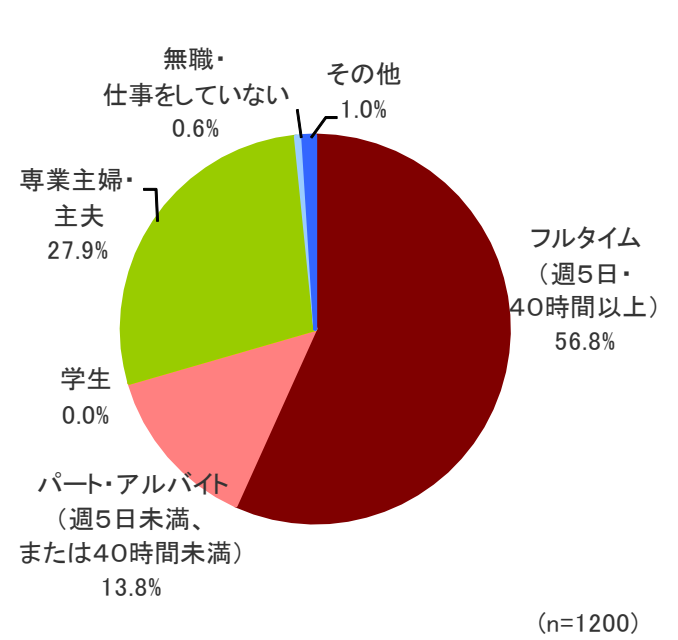
【図 0-4】家族構成



【保護者の仕事】

保護者の仕事の割合は、フルタイム(56.8%)、専業主婦・主夫(27.9%)、パート・アルバイト(13.8%)、などで、約7割の保護者が職業に従事している。

【図0－5】保護者の仕事



4. 日常生活について

起床時刻

今の小学生は、意外に早起き！？　平均起床時間は 6 時 28 分

【図 1】あなたは、ふだん朝何時ごろ起きていますか。

(%)

		n=	5:30以前	6:00	6:30	7:00	7:30以降	平均
全体		1,200	8.8	23.3	33.8	30.3	4.0	6:28
性学年別	男子・小学1年生	100	10.0	30.0	31.0	27.0	2.0	6:23
	男子・小学2年生	100	7.0	16.0	38.0	36.0	3.0	6:33
	男子・小学3年生	100	9.0	22.0	34.0	27.0	8.0	6:31
	男子・小学4年生	100	14.0	27.0	25.0	28.0	6.0	6:24
	男子・小学5年生	100	7.0	21.0	35.0	33.0	4.0	6:32
	男子・小学6年生	100	7.0	18.0	35.0	34.0	6.0	6:33
	女子・小学1年生	100	9.0	27.0	37.0	24.0	3.0	6:24
	女子・小学2年生	100	7.0	22.0	36.0	33.0	2.0	6:30
	女子・小学3年生	100	7.0	24.0	40.0	22.0	7.0	6:29
	女子・小学4年生	100	9.0	29.0	33.0	27.0	2.0	6:24
	女子・小学5年生	100	8.0	20.0	33.0	37.0	2.0	6:31
	女子・小学6年生	100	11.0	23.0	28.0	35.0	3.0	6:27
学年別（男女計）	小学1年生	200	9.5	28.5	34.0	25.5	2.5	6:23
	小学2年生	200	7.0	19.0	37.0	34.5	2.5	6:31
	小学3年生	200	8.0	23.0	37.0	24.5	7.5	6:30
	小学4年生	200	11.5	28.0	29.0	27.5	4.0	6:24
	小学5年生	200	7.5	20.5	34.0	35.0	3.0	6:32
	小学6年生	200	9.0	20.5	31.5	34.5	4.5	6:30

最近の子どもたちは朝に弱いといわれるが、では、子どもたちはいったい何時に起きているのだろうか。今年度の調査によると、全体の平均起床時間は 6 時 28 分。6 時 30 分以前に起床する子どもの割合は、全体の 65.9%であった。特に 1 年生では、その割合は 72.0%と高くなっている。一方 7 時 30 分以降に起きる子どもの割合は 4.0%。2010 年に実施した調査[1]では、6 時 30 分以前が 58.2%、7 時 30 分以降が 5.1%となっており、6 年前と比較するとやや早くなったといえそうだ。またこれまでの調査では、学年があがるにつれて起床時間が遅くなる傾向にあったが、今年の調査では学年間で大きな差は見られなかった。ただ、3 年生で男女とも 7 時 30 分以降に起きる率が、他学年に比べて高いのは興味深い（男子 8.0%、女子 7.0%）。

[1]学研教育総合研究所、“4. 日常生活について　起床時刻”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter4/01.html

起きてから家を出るまで

起きてから登校までの時間は平均 49 分。これって長い？　短い？

【図 2】あなたは、朝起きてから家を出るまでの時間はどれくらいですか。

(%)

		n=	1時間以上	45分～1時間未満	30分～45分未満	30分未満	平均
全体		1,200	36.1	30.8	24.3	8.8	49分
性学年別	男子・小学1年生	100	45.0	28.0	15.0	12.0	50分
	男子・小学2年生	100	33.0	30.0	25.0	12.0	48分
	男子・小学3年生	100	33.0	37.0	19.0	11.0	49分
	男子・小学4年生	100	41.0	26.0	23.0	10.0	49分
	男子・小学5年生	100	32.0	41.0	22.0	5.0	50分
	男子・小学6年生	100	33.0	21.0	31.0	15.0	46分
	女子・小学1年生	100	39.0	31.0	22.0	8.0	50分
	女子・小学2年生	100	29.0	33.0	33.0	5.0	48分
	女子・小学3年生	100	43.0	30.0	24.0	3.0	51分
	女子・小学4年生	100	42.0	29.0	23.0	6.0	50分
	女子・小学5年生	100	29.0	32.0	27.0	12.0	47分
	女子・小学6年生	100	34.0	31.0	28.0	7.0	49分
学年別（男女計）	小学1年生	200	42.0	29.5	18.5	10.0	50分
	小学2年生	200	31.0	31.5	29.0	8.5	48分
	小学3年生	200	38.0	33.5	21.5	7.0	50分
	小学4年生	200	41.5	27.5	23.0	8.0	50分
	小学5年生	200	30.5	36.5	24.5	8.5	49分
	小学6年生	200	33.5	26.0	29.5	11.0	47分

朝の時間は誰にとっても慌しいもの。では、子どもは朝起きてから学校に行くまでに、どれくらいの時間を費やしているのだろうか。全体での平均時間は 49 分で、時間別に見ると、1 時間以上が 36.1%、次いで 45 分～1 時間が 30.8%と続き、両方を合わせると 66.9%の子どもが 45 分以上の時間を使っていることが分かった。しかし、3 割強を占める「1 時間以上」のグループの中には、後出する「就寝時間」と「家を出るまでの時間」のクロス集計で、遅くまで起きていた子どもが少なからず存在することがわかっている。このことから、早く起きたものの、寝不足のためぼーっとしている時間が長い子もいることが推測され、これらの子どもは慢性的な睡眠不足の状態で学校に行っている可能性がある。一方、短時間グループ、すなわち 30 分未満と回答した子どもは全体で 8.8%おり、この比率は学年が上がるにしたがって微増傾向となっている。

放課後の過ごし方（テレビの視聴時間）

3 年前に比べ、テレビを見なくなった子どもが大幅増！

【図 3】あなたが放課後、テレビを見る時間はどれくらいですか。

(%)

		n=	2時間以上	1時間30分～2時間未満	1時間～1時間30分未満	30分～1時間未満	30分未満	テレビは見ない	平均
全体		1,200	16.7	16.9	25.4	27.7	8.8	4.6	1時間 19分
性学年別	男子・小学1年生	100	17.0	14.0	28.0	32.0	8.0	1.0	1時間 18分
	男子・小学2年生	100	18.0	14.0	20.0	32.0	11.0	5.0	1時間 17分
	男子・小学3年生	100	15.0	23.0	29.0	23.0	7.0	3.0	1時間 22分
	男子・小学4年生	100	14.0	22.0	25.0	30.0	4.0	5.0	1時間 21分
	男子・小学5年生	100	16.0	17.0	27.0	27.0	12.0	1.0	1時間 17分
	男子・小学6年生	100	15.0	17.0	21.0	33.0	8.0	6.0	1時間 17分
	女子・小学1年生	100	18.0	10.0	24.0	27.0	14.0	7.0	1時間 15分
	女子・小学2年生	100	15.0	14.0	25.0	32.0	10.0	4.0	1時間 15分
	女子・小学3年生	100	14.0	15.0	26.0	31.0	7.0	7.0	1時間 17分
	女子・小学4年生	100	18.0	13.0	24.0	32.0	9.0	4.0	1時間 18分
	女子・小学5年生	100	22.0	19.0	33.0	16.0	5.0	5.0	1時間 30分
	女子・小学6年生	100	18.0	25.0	23.0	17.0	10.0	7.0	1時間 26分
学年別（男女計）	小学1年生	200	17.5	12.0	26.0	29.5	11.0	4.0	1時間 16分
	小学2年生	200	16.5	14.0	22.5	32.0	10.5	4.5	1時間 16分
	小学3年生	200	14.5	19.0	27.5	27.0	7.0	5.0	1時間 20分
	小学4年生	200	16.0	17.5	24.5	31.0	6.5	4.5	1時間 19分
	小学5年生	200	19.0	18.0	30.0	21.5	8.5	3.0	1時間 23分
	小学6年生	200	16.5	21.0	22.0	25.0	9.0	6.5	1時間 21分

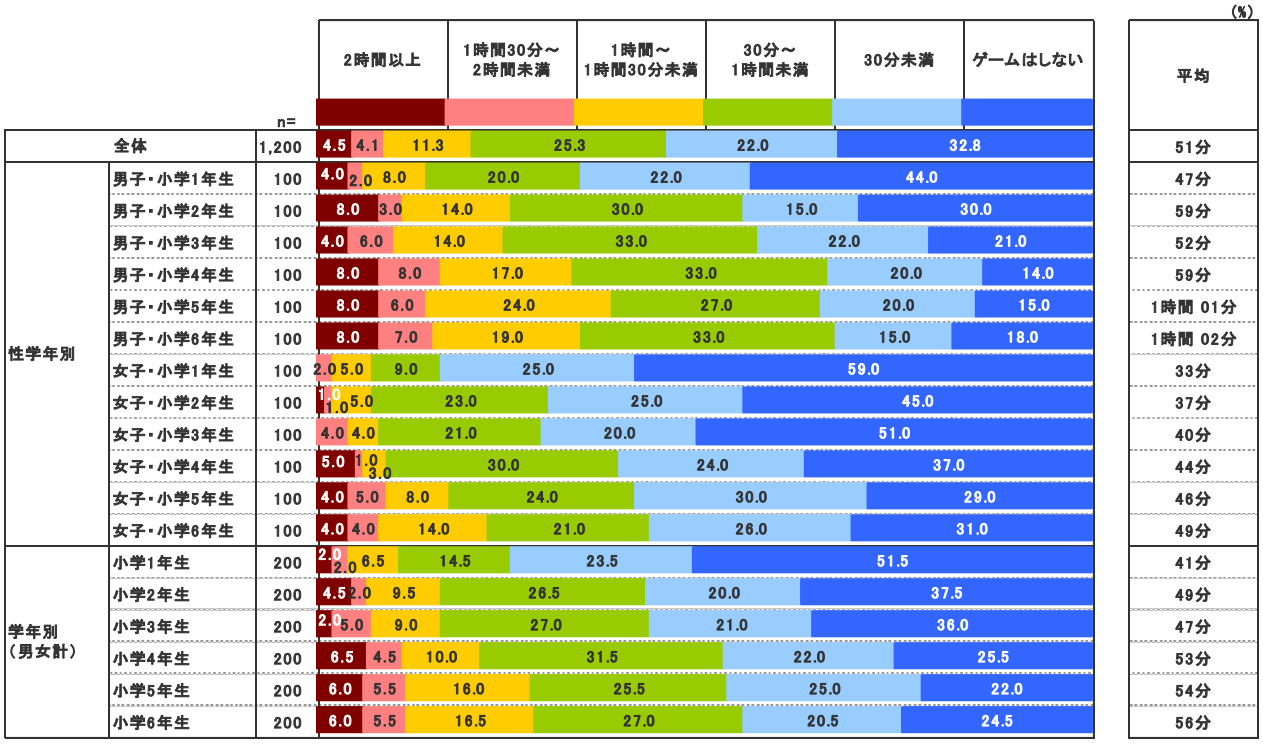
子どもを取り巻く生活環境は、めまぐるしく変化している。最近ではゲームに加え、YouTube などのネット動画に夢中になる子どもも多い。では子どもの生活の中でテレビの位置づけは、どのように変化しているのだろうか。全体の平均視聴時間は、1 時間 19 分で、学年別、男女別でもこの数字はあまり変わらない。しかし 2013 年の調査[2]と比較してみると、2013 年では 2 時間以上テレビを見る子どもが、男子 42.8%、女子 46.3%だったのに対し、2016 年調査では、男子 15.8%、女子 17.5%と激減し、子どものテレビ離れが進んでいることが明らかになった。一方 1 時間未満のグループを比べてみると、2013 年が 41.2%、2016 年が 41.1%と、ほぼ同じであった。つまり両者の中間、1～2 時間の子どもが大きく増えているわけだ。テレビを見ていた時間は、近年急速に子どもたちにも浸透したインターネットやラインなどの多様なメディアに分散したと考えてよいのではないだろうか。家族で見ることも多いテレビが、家族間のコミュニケーションに一定の役割を果たしていたのに対し、新しいメディアはこうした家族のつながりを希薄にすることも懸念される。家庭での子どもの過ごし方の変化は、今後の家族のあり方にもつながっているといえるだろう。

[2]学研教育総合研究所、“放課後の過ごし方①”、「小学生白書 Web 版　2013 年 3 月調査」
http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter4/01.html

放課後の過ごし方（ゲームをする時間）

ゲームに費やす時間も減少傾向。3 人に 1 人が「しない」と回答。

【図 4】あなたが放課後、ゲームをする時間はどれくらいですか。



		n=	2時間以上	1時間30分～2時間未満	1時間～1時間30分未満	30分～1時間未満	30分未満	ゲームはしない	平均
									(%)
全体		1,200	4.5	4.1	11.3	25.3	22.0	32.8	51分
性学年別	男子・小学1年生	100	4.0	2.0	8.0	20.0	22.0	44.0	47分
	男子・小学2年生	100	8.0	3.0	14.0	30.0	15.0	30.0	59分
	男子・小学3年生	100	4.0	6.0	14.0	33.0	22.0	21.0	52分
	男子・小学4年生	100	8.0	8.0	17.0	33.0	20.0	14.0	59分
	男子・小学5年生	100	8.0	6.0	24.0	27.0	20.0	15.0	1時間 01分
	男子・小学6年生	100	8.0	7.0	19.0	33.0	15.0	18.0	1時間 02分
	女子・小学1年生	100	2.0	5.0	9.0	25.0		59.0	33分
	女子・小学2年生	100	1.0	1.0	5.0	23.0	25.0	45.0	37分
	女子・小学3年生	100	4.0	4.0	21.0	20.0		51.0	40分
	女子・小学4年生	100	5.0	1.0	3.0	30.0	24.0	37.0	44分
	女子・小学5年生	100	4.0	5.0	8.0	24.0	30.0	29.0	46分
	女子・小学6年生	100	4.0	4.0	14.0	21.0	26.0	31.0	49分
学年別（男女計）	小学1年生	200	2.0	2.0	6.5	14.5	23.5	51.5	41分
	小学2年生	200	4.5	2.0	9.5	26.5	20.0	37.5	49分
	小学3年生	200	2.0	5.0	9.0	27.0	21.0	36.0	47分
	小学4年生	200	6.5	4.5	10.0	31.5	22.0	25.5	53分
	小学5年生	200	6.0	5.5	16.0	25.5	25.0	22.0	54分
	小学6年生	200	6.0	5.5	16.5	27.0	20.5	24.5	56分

子どもたちが、放課後にゲームをして過ごす時間はどれくらいなのだろうか。

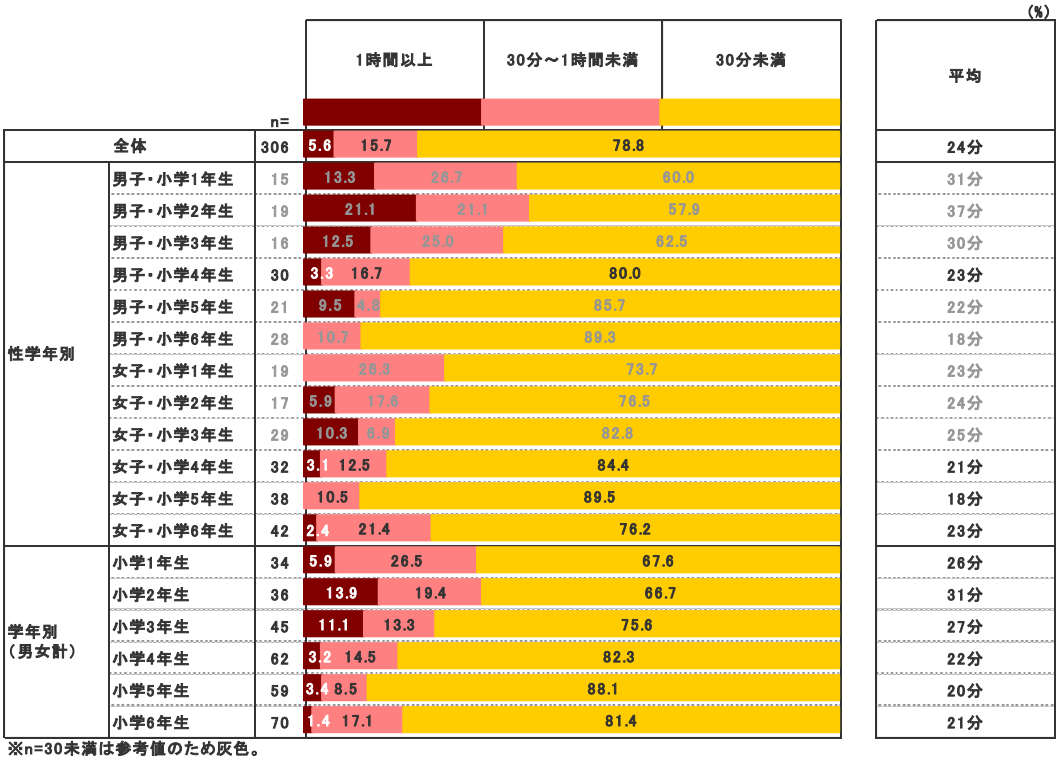
全体の平均時間は 51 分、学年があがるにしたがって男女とも上昇傾向にあるが、特に男子の 5・6 年生は 1 時間～2 時間のグループが伸びており、平均時間も 1 時間を超えている。「2 時間以上する」と「ゲームはしない」の 2 グループについて 2013 年の調査[3]と比較してみると、「2 時間以上」が 2013 年で 9.3%、2016 年で 4.5%、「ゲームはしない」が 2013 年で 27.1%、2016 年で 32.8%という結果になった。2013 年調査では、平均時間を算出していないので断言はできないが、全体としてゲームをする時間は減ってきている可能性がある。テレビ、ゲーム以外のメディアの登場によって、小学生のライフスタイルがここ数年で変わってきていることは間違いなさそうだ。

[3]学研教育総合研究所、“放課後の過ごし方②”「小学生白書 Web 版　2013 年 3 月調査」
http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201303/chapter02/02.html

放課後の過ごし方（ラインやメールの利用時間）

ラインやメールは 1 日 24 分。その一方で、1 時間以上のヘビーユーザーも。

【図 5】あなたは放課後、ラインやメールをする時間はどれくらいですか。



※n=30未満は参考値のため灰色。

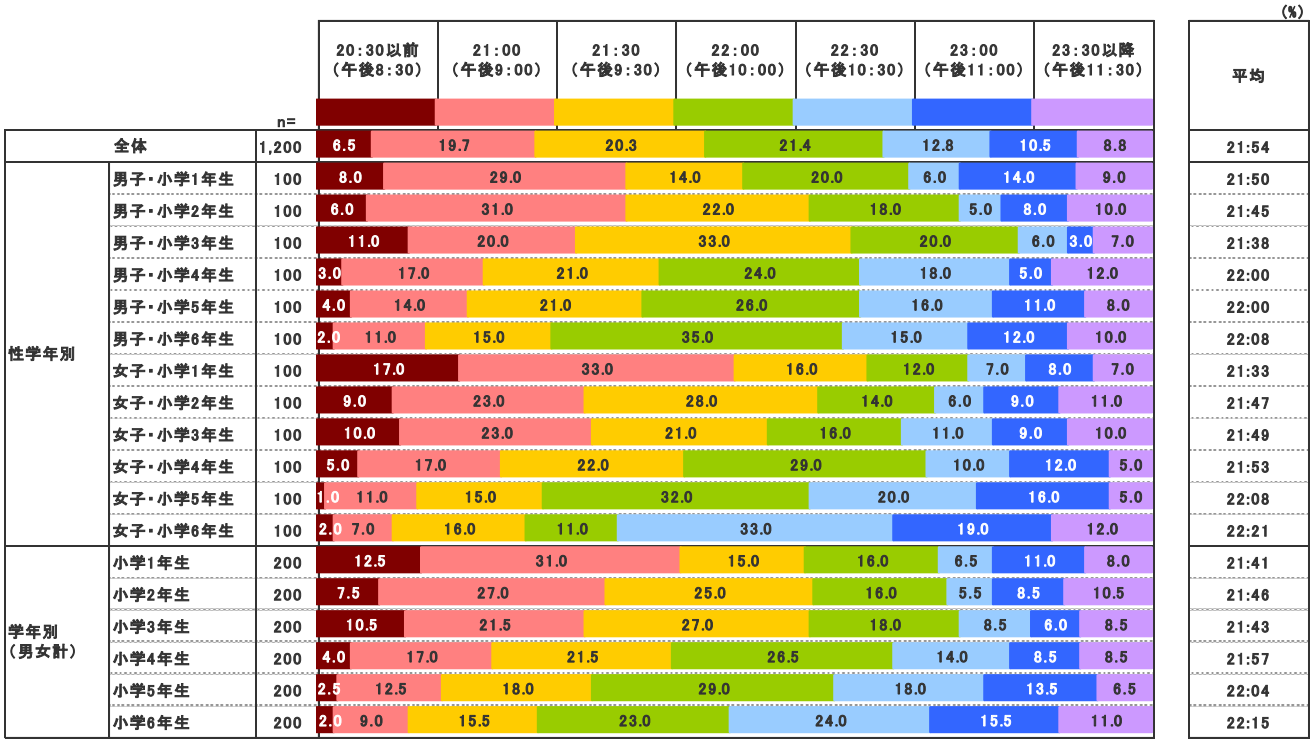
【図 5】は、Q24 でラインやメールを利用していると答えた子どもに対して、1 日の利用時間を尋ねたものである（回答数 306）。それによると全体の平均時間は 24 分、時間別では 30 分未満が 78.8%となった。一方で 1 時間以上と答えたヘビーユーザーが 5.6%も存在しているところにも注目したい。

また、学年別では 1～3 年生が 4～6 年生に比べて長いことが分かった。低学年では、習い事の際に保護者と連絡する機会が多くなっているとも考えられるが、今後、誰と、何についてやりとりしているのか、追加の調査も必要だろう。いずれにせよ、これら新しいコミュニケーションツールは、今後さらに広がっていくと思われる。正しく利用するために、使用時間も含めて、ネットリテラシーに関する教育がより重要となるだろう。

就寝時刻

子どもの生活も夜型化が進行中。睡眠不足は深刻な問題に

【図 6】あなたは、ふだん夜何時ごろ寝ていますか。



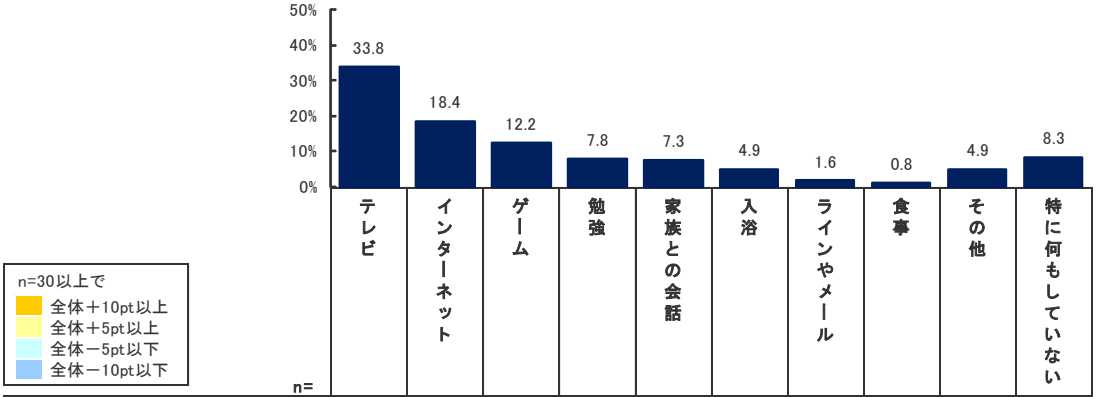
日本人の生活は、年々夜型になっているといわれるが、それは子どもの生活でも同様であることが数字となって現れた。平均就寝時間は 21 時 54 分で、これは 2015 年の調査[4]の結果とほとんど変化はない。しかし、22 時までに就寝する子どもの割合を過去の調査と比較したところ、2010 年が 88.8%、2013 年が 71.9%だったのに対し、2016 年は 67.9%と割合が減っていることから、夜型が年々進んでいる実態が浮かび上がった。また本年の調査では、23 時 30 分以降に寝ると答えた子どもが 8.8%、つまり約 100 人も存在していた。厚生労働省の「健康づくりのための睡眠指針 2014」[5]では、10 代前半の子どもが健康を維持するために必要な睡眠時間を 8 時間以上としており、登校時間を考えると、これらの子どもが寝不足なのは明らかだ。子どもの睡眠問題は深刻度を増していると言わざるをえない。なお、22 時以降起きている子どもがなにをして過ごしているかについては、「午後 10 時から寝るまでの過ごし方」（p14）の項をご参照いただきたい。

[4]学研教育総合研究所、“４．日常生活について　就寝時刻”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」
http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter4/02.html
[5] 厚生労働省健康局、「健康づくりのための睡眠指針 2014」、2016 年 3 月
http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000047221.pdf

22 時以降の過ごし方

22 時を過ぎて起きている子どもはなにをしている？

【図 7】あなたは、22:00（午後 10:00）から寝るまでの時間は何をして過ごすことが多いですか。



		n=	テレビ	インターネット	ゲーム	勉強	家族との会話	入浴	ラインやメール	食事	その他	特に何もしていない
全体		385	33.8	18.4	12.2	7.8	7.3	4.9	1.6	0.8	4.9	8.3
性学年別	男子・小学1年生	29	34.5	37.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	－	3.4	6.9
	男子・小学2年生	23	21.7	17.4	21.7	－	－	4.3	－	－	21.7	13.0
	男子・小学3年生	16	25.0	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3	－	6.3	6.3	12.5
	男子・小学4年生	35	28.6	22.9	8.6	5.7	2.9	5.7	8.6	－	－	17.1
	男子・小学5年生	35	22.9	17.1	20.0	17.1	5.7	－	2.9	2.9	8.6	2.9
	男子・小学6年生	37	40.5	10.8	24.3	8.1	5.4	8.1	－	－	－	2.7
	女子・小学1年生	22	40.9	31.8	4.5	4.5	13.6	－	－	－	－	4.5
	女子・小学2年生	26	26.9	23.1	11.5	－	11.5	3.8	3.8	－	7.7	11.5
	女子・小学3年生	30	33.3	13.3	6.7	6.7	10.0	6.7	－	－	6.7	16.7
	女子・小学4年生	27	48.1	22.2	7.4	3.7	3.7	3.7	－	－	3.7	7.4
	女子・小学5年生	41	43.9	7.3	9.8	12.2	9.8	4.9	－	2.4	4.9	4.9
	女子・小学6年生	64	32.8	12.5	14.1	12.5	10.9	7.8	－	－	3.1	6.3
学年別（男女計）	小学1年生	51	37.3	35.3	3.9	3.9	7.8	2.0	2.0	－	2.0	5.9
	小学2年生	49	24.5	20.4	16.3	－	6.1	4.1	2.0	－	14.3	12.2
	小学3年生	46	30.4	17.4	6.5	6.5	8.7	6.5	－	2.2	6.5	15.2
	小学4年生	62	37.1	22.6	8.1	4.8	3.2	4.8	4.8	－	1.6	12.9
	小学5年生	76	34.2	11.8	14.5	14.5	7.9	2.6	1.3	2.6	6.6	3.9
	小学6年生	101	35.6	11.9	17.8	10.9	8.9	7.9	－	－	2.0	5.0

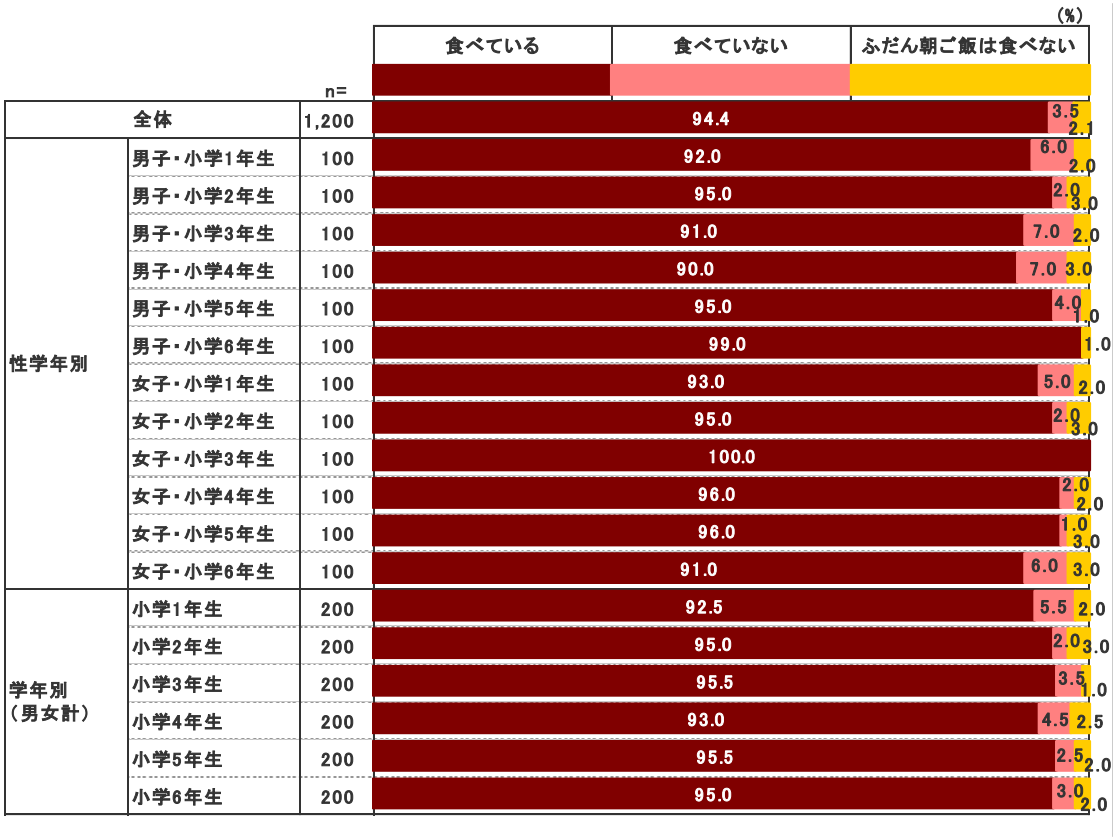
※n=30未満は参考値のため灰色。　※全体の値を基準に降順並び替え

夜型の子どもが増えていることは、「就寝時間」の項で説明したが、では 22 時以降に起きている子どもは、なにをして過ごしているのだろうか。午後 10 時以降に起きていると回答した 385 人のうち、もっとも多かったのがテレビ(33.8%)、これにインターネット(18.4%)、ゲーム（12.2%）、勉強（7.8%）、家族との会話（7.3%）と続く。22 時以降のテレビ番組の内容を考えると、やや意外な結果となった。学年別の特徴としては、3・4 年生ではインターネットが第 2 位、ゲームが第 3 位だったが、5、6 年生になるとその順位が逆転していることが挙げられる。また「勉強」と答えた子どもが高学年で急増しており、中学受験などに備えて深夜まで机に向かう子どもが多くいることも浮き彫りになった形だ。

朝食について

9 割以上が朝食を食べているが、学年によっては 10 人に 1 人が朝食抜き

【図 8-1】あなたは、ふだん決まった時間に朝ごはんを食べていますか。

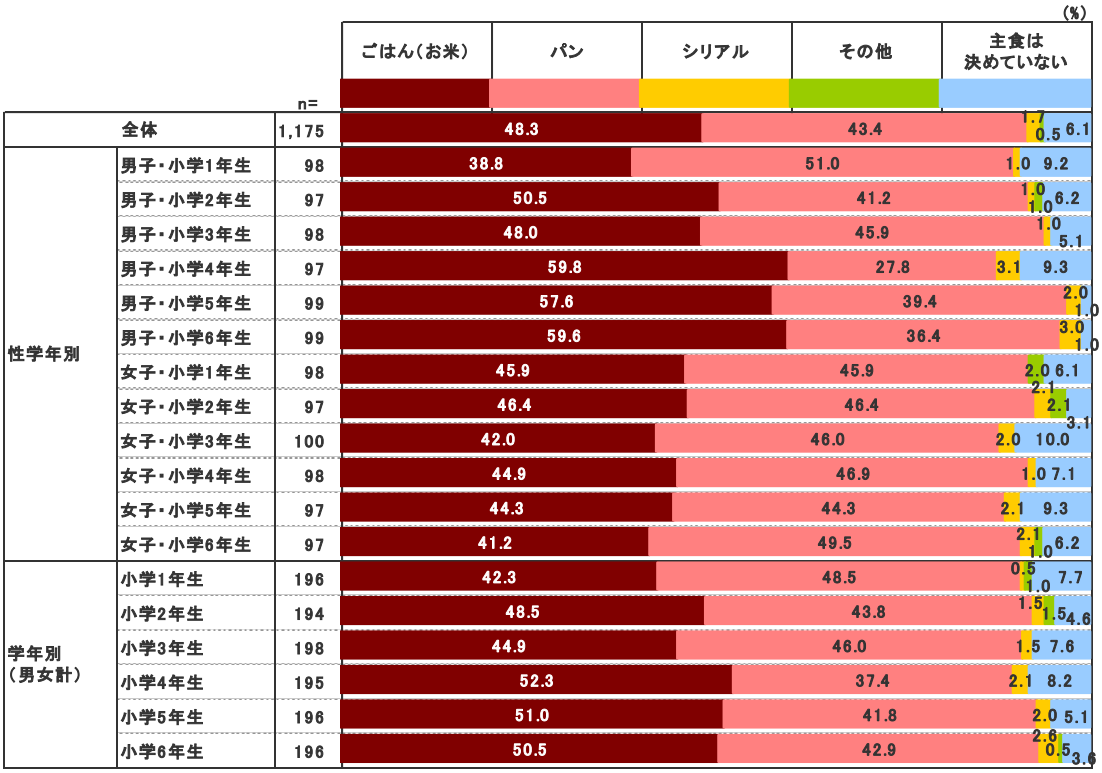


決まった時間に朝食を摂っている割合については、2014 年[6]より 3 年連続で調査を実施している。「食べている」と答えた子どもを経年変化で見ていくと、2014 年が 96.5%、2015 年が 93.8%、2016 年が 94.4%となっており、大きな変化は認められない。全学年にわたって朝食を食べない子どもが 5%前後いることも同様で、本年の調査では 10 人に 1 人が朝食を食べない学年もあった（4 年生男子、6 年生女子）。朝食の有無と就寝時間のクロス集計では、23 時 30 分以降に寝る子どもと朝食を食べない子どものグループが重複していることも分かった。睡眠不足が朝食の有無に影響を与えていることが容易に想像されるが、朝食は発育、発達に不可欠なものである。学校での時間を充実させるためにも、就寝、起床などの生活リズムと合わせて、考える必要がある。

[6]学研教育総合研究所、“4. 日常生活について　就寝時刻”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter4/02.html

男子は「ごはん派」、女子では「パン派」がやや優位

【図 8-2】あなたの朝ごはんの主食は何ですか。

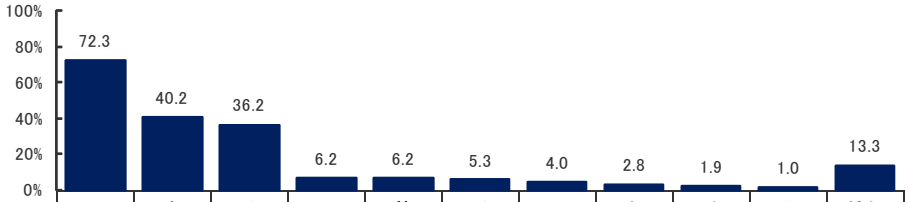


子どもたちの朝の食卓にのる主食は何だろうか？　全体ではごはん（お米）が 48.3%、パンが 43.4%と、ややごはん派が多いことが分かった。この比率は一昨年、昨年の調査と大きな変化はない。興味深いのは、5・6 年生の男子で「ごはん派」が 50%を大きく超えていることで、この傾向は昨年も認められたものだ。育ち盛りの男の子にとって、パンではおなかがもたないということだろうか。一方女子では、学年があがるにつれて「パン派」が増える傾向にあり、6 年生では「パン派」が「ごはん派」を上回るという、男子とは対照的な結果となった。

好きな食べ物＆嫌いな食べ物

やっぱり？意外にも？一番人気は日本料理

【図 9-1】あなたの好きな料理の種類は何ですか。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

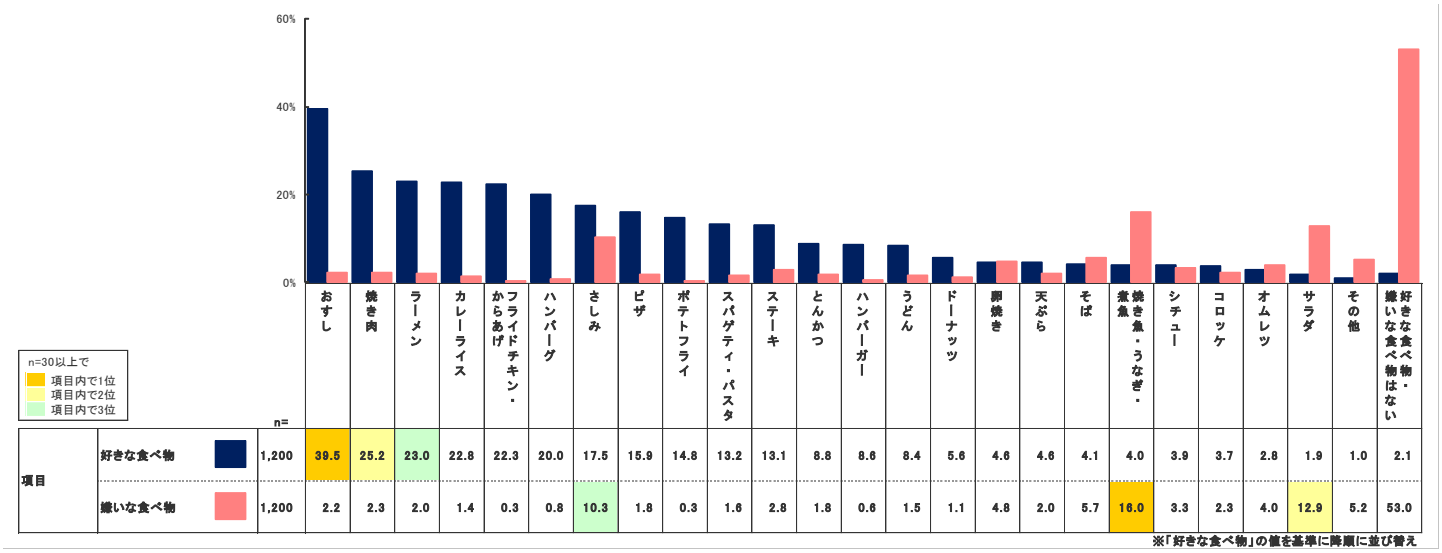
		n=	日本料理	中華料理	イタリア料理	フランス料理	韓国料理	インド料理	スペイン料理	タイ料理	ベトナム料理	その他	好きな料理の種類はない
	全体	1,200	72.3	40.2	36.2	6.2	6.2	5.3	4.0	2.8	1.9	1.0	13.3
性学年別	男子・小学1年生	100	68.0	33.0	28.0	7.0	6.0	4.0	5.0	3.0	1.0	－	19.0
	男子・小学2年生	100	70.0	43.0	23.0	5.0	5.0	4.0	2.0	3.0	1.0	－	15.0
	男子・小学3年生	100	75.0	44.0	32.0	3.0	5.0	3.0	2.0	2.0	－	2.0	12.0
	男子・小学4年生	100	75.0	49.0	45.0	11.0	6.0	9.0	5.0	2.0	3.0	2.0	12.0
	男子・小学5年生	100	76.0	45.0	36.0	6.0	7.0	4.0	3.0	4.0	1.0	－	13.0
	男子・小学6年生	100	63.0	39.0	36.0	6.0	4.0	9.0	5.0	2.0	2.0	－	17.0
	女子・小学1年生	100	67.0	35.0	36.0	6.0	7.0	4.0	4.0	5.0	3.0	1.0	14.0
	女子・小学2年生	100	75.0	33.0	36.0	8.0	12.0	10.0	6.0	4.0	4.0	3.0	14.0
	女子・小学3年生	100	71.0	39.0	40.0	1.0	3.0	3.0	1.0	1.0	－	2.0	11.0
	女子・小学4年生	100	78.0	43.0	46.0	9.0	4.0	5.0	5.0	3.0	4.0	1.0	7.0
	女子・小学5年生	100	75.0	40.0	39.0	4.0	7.0	3.0	4.0	1.0	2.0	1.0	13.0
	女子・小学6年生	100	74.0	39.0	37.0	8.0	8.0	6.0	6.0	3.0	2.0	－	12.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	67.5	34.0	32.0	6.5	6.5	4.0	4.5	4.0	2.0	0.5	16.5
	小学2年生	200	72.5	38.0	29.5	6.5	8.5	7.0	4.0	3.5	2.5	1.5	14.5
	小学3年生	200	73.0	41.5	36.0	2.0	4.0	3.0	1.5	1.5	－	2.0	11.5
	小学4年生	200	76.5	46.0	45.5	10.0	5.0	7.0	5.0	2.5	3.5	1.5	9.5
	小学5年生	200	75.5	42.5	37.5	5.0	7.0	3.5	3.5	2.5	1.5	0.5	13.0
	小学6年生	200	68.5	39.0	36.5	7.0	6.0	7.5	5.5	2.5	2.0	－	14.5

※全体の値を基準に降順並び替え

小学生の食文化が多様化しているといわれるが、数世代前に比べて世界各国の料理が身近になった昨今、小学生の食文化に対する好みはどのようになっているのだろうか。「あなたの好きな料理の種類はなんですか。」（複数回答可）の結果が【図 9-1】である。今年の調査によると、断トツで日本料理が 72.3%と人気が高く、次いで中華料理が 40.2%、イタリア料理が 36.2%と続いた。これら 3 位までの結果は他の料理の種類と比べて人気に大きな差が出る結果となった。このことから、小学生を取り巻く食文化は依然として日本料理が主軸を担っているということがわかる。その理由として、日本料理は世代を通して引き継がれているとともに、日本料理や中華料理、イタリア料理は、他の料理の種類と比べて材料の入手や調理の敷居が低いということも考えられる。今後さらに小学生の生活文化が多様化するにつれて食文化の好みにどのような変化が見られるのか興味深い。

好きな食べ物は 3 年連続「おすし」が一番人気！「嫌いな食べ物はない」が 53.0%

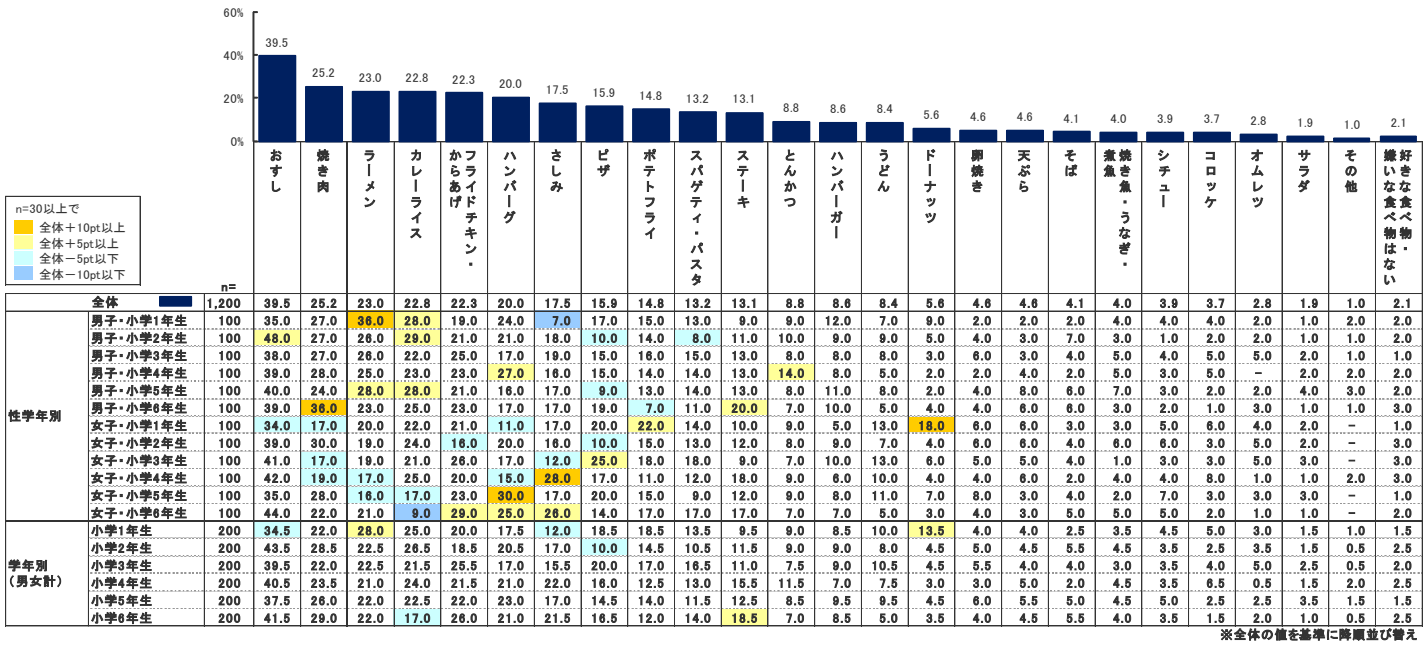
【図 9-2】あなたの好きな食べ物と嫌いな食べ物を教えてください。以下の中から当てはまるものをそれぞれ 3 つまで選んでください。



項目	n=	おすし	焼き肉	ラーメン	カレーライス	フライドチキン・からあげ	ハンバーグ	さしみ	ピザ	ポテトフライ	スパゲティ・パスタ	ステーキ	とんかつ	ハンバーガー	うどん	ドーナッツ	卵焼き	天ぷら	そば	焼き魚・うなぎ・蒲焼	シチュー	コロッケ	オムレツ	サラダ	その他	好きな食べ物・嫌いな食べ物はない
好きな食べ物	1,200	39.5	25.2	23.0	22.8	22.3	20.0	17.5	15.9	14.8	13.2	13.1	8.8	8.6	8.4	5.6	4.6	4.6	4.1	4.0	3.9	3.7	2.8	1.9	1.0	2.1
嫌いな食べ物	1,200	2.2	2.3	2.0	1.4	0.3	0.8	10.3	1.8	0.3	1.6	2.8	1.8	0.6	1.5	1.1	4.8	2.0	5.7	16.0	3.3	2.3	4.0	12.9	5.2	53.0

※「好きな食べ物」の値を基準に降順に並び替え

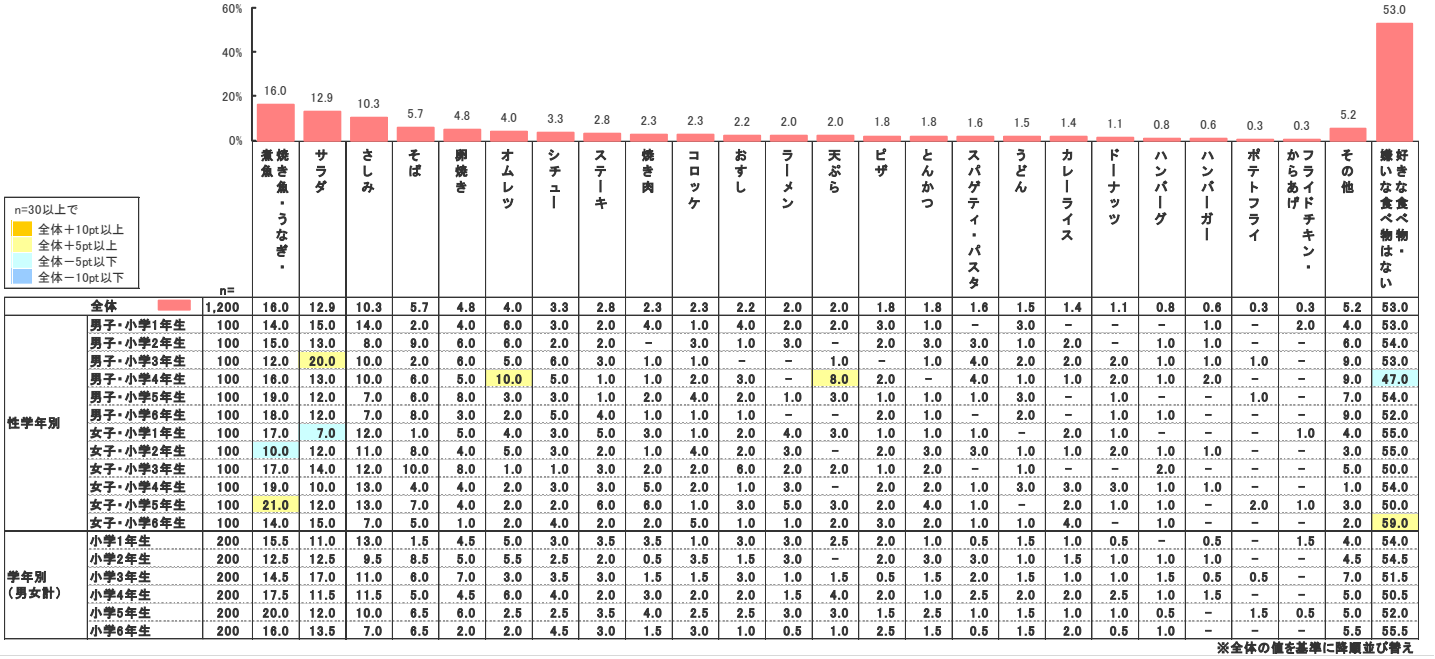
【図 9-3】好きな食べ物



		n=	おすし	焼き肉	ラーメン	カレーライス	フライドチキン・からあげ	ハンバーグ	さしみ	ピザ	ポテトフライ	スパゲティ・パスタ	ステーキ	とんかつ	ハンバーガー	うどん	ドーナッツ	卵焼き	天ぷら	そば	焼き魚・うなぎ・蒲焼	シチュー	コロッケ	オムレツ	サラダ	その他	好きな食べ物・嫌いな食べ物はない
	全体	1,200	39.5	25.2	23.0	22.8	22.3	20.0	17.5	15.9	14.8	13.2	13.1	8.8	8.6	8.4	5.6	4.6	4.6	4.1	4.0	3.9	3.7	2.8	1.9	1.0	2.1
性学年別	男子・小学1年生	100	35.0	27.0	36.0	28.0	19.0	24.0	7.0	17.0	15.0	13.0	9.0	9.0	12.0	7.0	9.0	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	2.0	1.0	2.0	2.0
	男子・小学2年生	100	48.0	27.0	26.0	29.0	21.0	21.0	18.0	10.0	14.0	8.0	11.0	10.0	9.0	9.0	5.0	4.0	3.0	7.0	3.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0
	男子・小学3年生	100	38.0	27.0	26.0	22.0	25.0	17.0	19.0	15.0	16.0	15.0	13.0	8.0	8.0	8.0	3.0	6.0	3.0	4.0	5.0	4.0	5.0	5.0	2.0	1.0	1.0
	男子・小学4年生	100	39.0	28.0	25.0	23.0	23.0	27.0	16.0	15.0	14.0	14.0	13.0	14.0	8.0	5.0	2.0	2.0	4.0	2.0	5.0	3.0	5.0	－	2.0	2.0	2.0
	男子・小学5年生	100	40.0	24.0	28.0	28.0	21.0	16.0	17.0	9.0	13.0	14.0	13.0	8.0	11.0	8.0	2.0	4.0	8.0	6.0	7.0	3.0	2.0	2.0	4.0	3.0	2.0
	男子・小学6年生	100	39.0	36.0	23.0	25.0	23.0	17.0	17.0	19.0	7.0	11.0	20.0	7.0	10.0	5.0	4.0	4.0	6.0	6.0	3.0	2.0	1.0	3.0	1.0	1.0	3.0
	女子・小学1年生	100	34.0	17.0	20.0	22.0	21.0	11.0	17.0	20.0	22.0	14.0	10.0	9.0	5.0	13.0	18.0	6.0	6.0	3.0	3.0	5.0	6.0	4.0	2.0	－	1.0
	女子・小学2年生	100	39.0	30.0	19.0	24.0	16.0	20.0	16.0	10.0	15.0	13.0	12.0	8.0	9.0	7.0	4.0	6.0	6.0	4.0	6.0	6.0	3.0	5.0	2.0	－	3.0
	女子・小学3年生	100	41.0	17.0	19.0	21.0	26.0	17.0	12.0	25.0	18.0	18.0	9.0	7.0	10.0	13.0	6.0	5.0	5.0	4.0	1.0	3.0	3.0	5.0	3.0	－	3.0
	女子・小学4年生	100	42.0	19.0	17.0	25.0	20.0	15.0	28.0	17.0	11.0	12.0	18.0	9.0	6.0	10.0	4.0	4.0	6.0	2.0	4.0	4.0	8.0	1.0	1.0	2.0	3.0
	女子・小学5年生	100	35.0	28.0	16.0	17.0	23.0	30.0	17.0	20.0	15.0	9.0	12.0	9.0	8.0	11.0	7.0	8.0	3.0	4.0	2.0	7.0	3.0	3.0	3.0	－	1.0
	女子・小学6年生	100	44.0	22.0	21.0	9.0	29.0	25.0	26.0	14.0	17.0	17.0	17.0	7.0	7.0	5.0	3.0	4.0	3.0	5.0	5.0	5.0	2.0	1.0	1.0	－	2.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	34.5	22.0	28.0	25.0	20.0	17.5	12.0	18.5	18.5	13.5	9.5	9.0	8.5	10.0	13.5	4.0	4.0	2.5	3.5	4.5	5.0	3.0	1.5	1.0	1.5
	小学2年生	200	43.5	28.5	22.5	26.5	18.5	20.5	17.0	10.0	14.5	10.5	11.5	9.0	9.0	8.0	4.5	5.0	4.5	5.5	4.5	3.5	2.5	3.5	1.5	0.5	2.5
	小学3年生	200	39.5	22.0	22.5	21.5	25.5	17.0	15.5	20.0	17.0	16.5	11.0	7.5	9.0	10.5	4.5	5.5	4.0	4.0	3.0	3.5	4.0	5.0	2.5	0.5	2.0
	小学4年生	200	40.5	23.5	21.0	24.0	21.5	21.0	22.0	16.0	12.5	13.0	15.5	11.5	7.0	7.5	3.0	3.0	5.0	2.0	4.5	3.5	6.5	0.5	1.5	2.0	2.5
	小学5年生	200	37.5	26.0	22.0	22.5	22.0	23.0	17.0	14.5	14.0	11.5	12.5	8.5	9.5	9.5	4.5	6.0	5.5	5.0	4.5	5.0	2.5	2.5	3.5	1.5	1.5
	小学6年生	200	41.5	29.0	22.0	17.0	26.0	21.0	21.5	16.5	12.0	14.0	18.5	7.0	8.5	5.0	3.5	4.0	4.5	5.5	4.0	3.5	1.5	2.0	1.0	0.5	2.5

※全体の値を基準に降順並び替え

【図 9-4】嫌いな食べ物



		n=	焼き魚・うなぎ・煮魚	サラダ	さしみ	そば	卵焼き	オムレツ	シチュー	ステーキ	焼き肉	コロッケ	おすし	ラーメン	天ぷら	ピザ	とんかつ	スパゲティ・パスタ	うどん	カレーライス	ドーナッツ	ハンバーグ	ハンバーガー	ポテトフライ	フライドチキン・からあげ	その他	好きな食べ物・嫌いな食べ物はない
	全体	1,200	16.0	12.9	10.3	5.7	4.8	4.0	3.3	2.8	2.3	2.3	2.2	2.0	2.0	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	1.1	0.8	0.6	0.3	0.3	5.2	53.0
性学年別	男子・小学1年生	100	14.0	15.0	14.0	2.0	4.0	6.0	3.0	2.0	4.0	1.0	4.0	2.0	2.0	3.0	1.0	－	3.0	－	－	－	1.0	－	2.0	4.0	53.0
	男子・小学2年生	100	15.0	13.0	8.0	9.0	6.0	6.0	2.0	2.0	－	3.0	1.0	3.0	－	2.0	3.0	3.0	1.0	2.0	－	1.0	1.0	－	－	6.0	54.0
	男子・小学3年生	100	12.0	20.0	10.0	2.0	6.0	5.0	6.0	3.0	1.0	1.0	－	－	1.0	－	1.0	4.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	－	9.0	53.0
	男子・小学4年生	100	16.0	13.0	10.0	6.0	5.0	10.0	5.0	1.0	1.0	2.0	3.0	－	8.0	2.0	－	4.0	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	－	－	9.0	47.0
	男子・小学5年生	100	19.0	12.0	7.0	6.0	8.0	3.0	3.0	1.0	2.0	4.0	2.0	1.0	3.0	1.0	1.0	1.0	3.0	－	1.0	－	－	1.0	－	7.0	54.0
	男子・小学6年生	100	18.0	12.0	7.0	8.0	3.0	2.0	5.0	4.0	1.0	1.0	1.0	－	－	2.0	1.0	－	2.0	－	1.0	1.0	－	－	－	9.0	52.0
	女子・小学1年生	100	17.0	7.0	12.0	1.0	5.0	4.0	3.0	5.0	3.0	1.0	2.0	4.0	3.0	1.0	1.0	1.0	－	2.0	1.0	－	－	－	1.0	4.0	55.0
	女子・小学2年生	100	10.0	12.0	11.0	8.0	4.0	5.0	3.0	2.0	1.0	4.0	2.0	3.0	－	2.0	3.0	3.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	－	－	3.0	55.0
	女子・小学3年生	100	17.0	14.0	12.0	10.0	8.0	1.0	1.0	3.0	2.0	2.0	6.0	2.0	2.0	1.0	2.0	－	1.0	－	－	2.0	－	－	－	5.0	50.0
	女子・小学4年生	100	19.0	10.0	13.0	4.0	4.0	2.0	3.0	3.0	5.0	2.0	1.0	3.0	－	2.0	2.0	1.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	－	－	1.0	54.0
	女子・小学5年生	100	21.0	12.0	13.0	7.0	4.0	2.0	2.0	6.0	6.0	1.0	3.0	5.0	3.0	2.0	4.0	1.0	－	2.0	1.0	1.0	－	2.0	1.0	3.0	50.0
	女子・小学6年生	100	14.0	15.0	7.0	5.0	1.0	2.0	4.0	2.0	2.0	5.0	1.0	1.0	2.0	3.0	2.0	1.0	1.0	4.0	－	1.0	－	－	－	2.0	59.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	15.5	11.0	13.0	1.5	4.5	5.0	3.0	3.5	3.5	1.0	3.0	3.0	2.5	2.0	1.0	0.5	1.5	1.0	0.5	－	0.5	－	1.5	4.0	54.0
	小学2年生	200	12.5	12.5	9.5	8.5	5.0	5.5	2.5	2.0	0.5	3.5	1.5	3.0	－	2.0	3.0	3.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	－	－	4.5	54.5
	小学3年生	200	14.5	17.0	11.0	6.0	7.0	3.0	3.5	3.0	1.5	1.5	3.0	1.0	1.5	0.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	0.5	0.5	－	7.0	51.5
	小学4年生	200	17.5	11.5	11.5	5.0	4.5	6.0	4.0	2.0	3.0	2.0	2.0	1.5	4.0	2.0	1.0	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	1.5	－	－	5.0	50.5
	小学5年生	200	20.0	12.0	10.0	6.5	6.0	2.5	2.5	3.5	4.0	2.5	2.5	3.0	3.0	1.5	2.5	1.0	1.5	1.0	1.0	0.5	－	1.5	0.5	5.0	52.0
	小学6年生	200	16.0	13.5	7.0	6.5	2.0	2.0	4.5	3.0	1.5	3.0	1.0	0.5	1.0	2.5	1.5	0.5	1.5	2.0	0.5	1.0	－	－	－	5.5	55.5

※全体の値を基準に降順並び替え

【図 9-3, 4】は、設問に対し、選択肢から好きな食べ物と嫌いな食べ物をそれぞれ 3 つずつ選んでもらった回答である。【図 9-2】は好きな食べ物・嫌いな食べ物の結果を合わせたものである。

好きな料理の種類の第 1 位は日本料理であったが、さらに細かい「食べ物」の視点ではどのような結果になるだろうか。結果を見ると、好きな食べ物は「おすし」（39.5%）が最も多く、以下「焼き肉」（25.2%）、「ラーメン」（23.0%）が続いている。特に「おすし」については、2 年生男子の約半数（48.2%）、6 年生女子の 44.0%が「おすし」を選んでおり、「焼き肉」に 14.3 ポイントと大きな差をつけた。「おすし」が好きな小学生は全体の約 4 割を占め、2015 年 10 月に行った調査[7]の結果（「おすし」（41.2%）は去年も 1 位）とほぼ同じとなった。変化が見られた箇所としては、去年 2 位の「フライドチキン・からあげ」（25.1%）が 5 位の 22.3%に下がり、去年 4 位の「焼肉」（22.3%）が 2.9 ポイント上がり 25.2%で 2 位となったことが挙げられる。

嫌いな食べ物については、「嫌いな食べ物はない」が 53.0%と最も高く、次いで「焼き魚・うなぎ・煮魚」（16.0%）、「サラダ」（12.9%）、「さしみ」（10.3%）と続いた。2015 年調査結果と比較しても「嫌いな食べ物はない」（45.6%）が 1 位であることに変動はなく、相変

7 学研教育総合研究所、“4. 日常生活について　好きな食べ物&嫌いな食べ物”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」http://stg.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter4/04.html

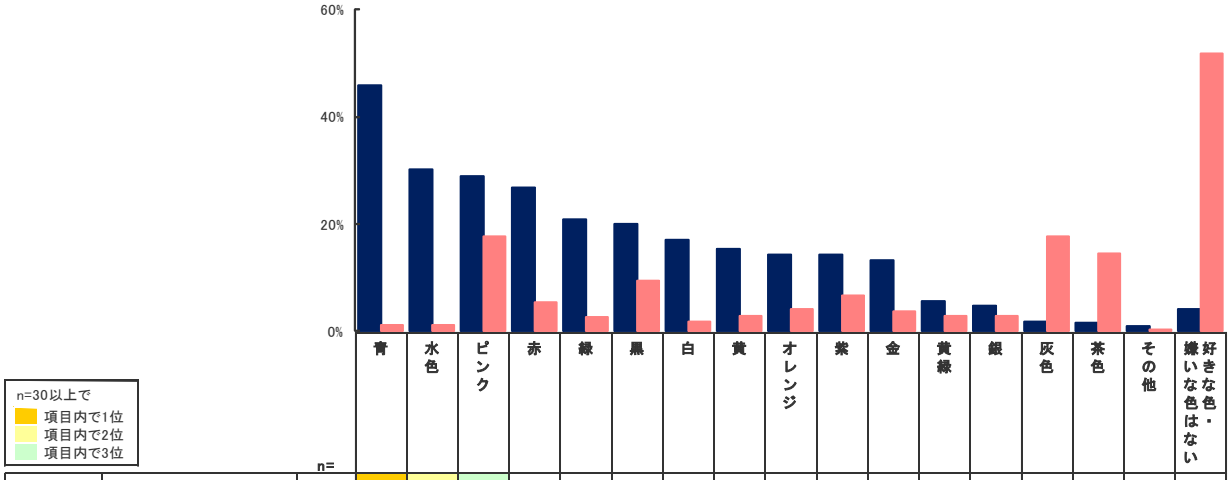
わらず小学生の約半数は「好き嫌いはない」と答えている。特に 6 年生女子は男子、女子他学年と比べて 59.0%と最も高い割合となった。
昨年との大きな違いは、昨年はサラダ（16.8%）が「嫌いな食べ物」1 位だったのに対し、今回調査では「焼き魚・うなぎ・煮魚」（16.0%）が 1 位となっている点である。その原因の一つとして「焼き魚」に「うなぎ」と「煮魚」を加えたことの影響が考えられる。日本料理の人気の高さを考慮すると裏腹な結果と思われるが、その分日本料理の人気を牽引している要素として「おすし」の影響が大きいものと考えられる。
「おすし」が好きと答えた割合が 40.0%である一方で、「さしみ」が嫌いと答えたのは 10.3%という結果は興味深いが、「おすし」の好きと嫌いの差が 37.3 ポイントであることに対して「さしみ」の好き嫌いの差は 7.2 ポイントと少ない特徴が見られる。

好きな色＆嫌いな色

一番人気は青！　ピンクは男女で人気が逆転

【図 10-1】～【図 10-7】あなたの好きな色と嫌いな色を教えてください。以下の中から当てはまるものをそれぞれ 3 つまで選んでください。

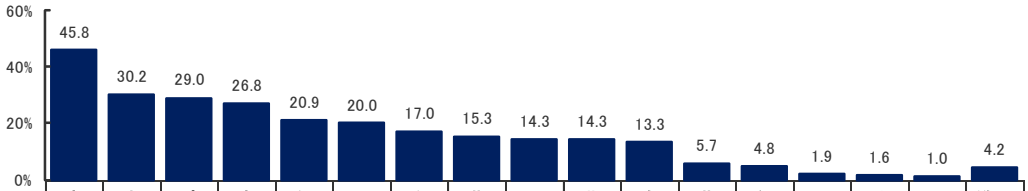
【図 10-1】好きな色・嫌いな色



項目		n=	青	水色	ピンク	赤	緑	黒	白	黄	オレンジ	紫	金	黄緑	銀	灰色	茶色	その他	好きな色・嫌いな色はない
	好きな色	1,200	45.8	30.2	29.0	26.8	20.9	20.0	17.0	15.3	14.3	14.3	13.3	5.7	4.8	1.9	1.6	1.0	4.2
	嫌いな色	1,200	1.2	1.1	17.6	5.4	2.7	9.5	1.8	2.8	4.1	6.7	3.6	2.8	2.8	17.6	14.5	0.3	51.7

※「好きな色」の値を基準に降順に並び替え

【図 10-2】好きな色

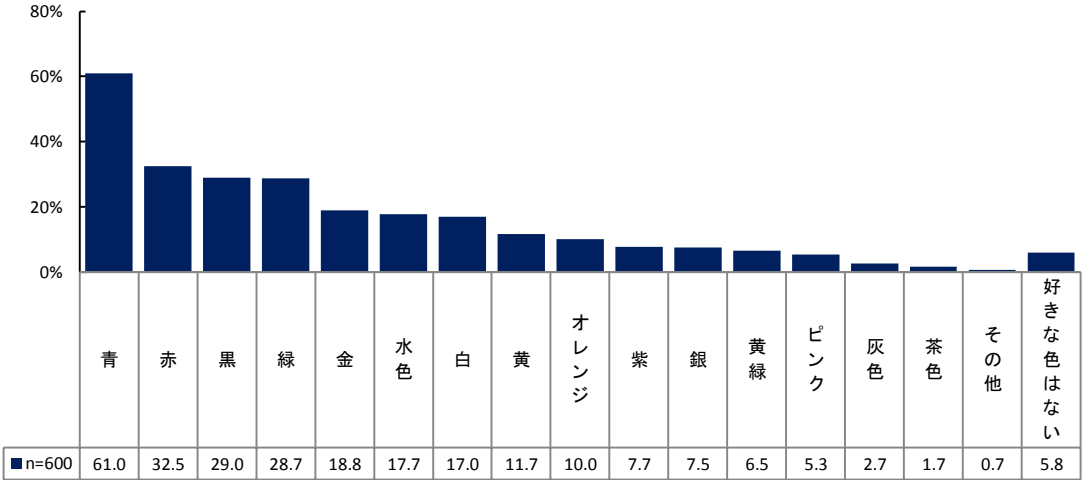


n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

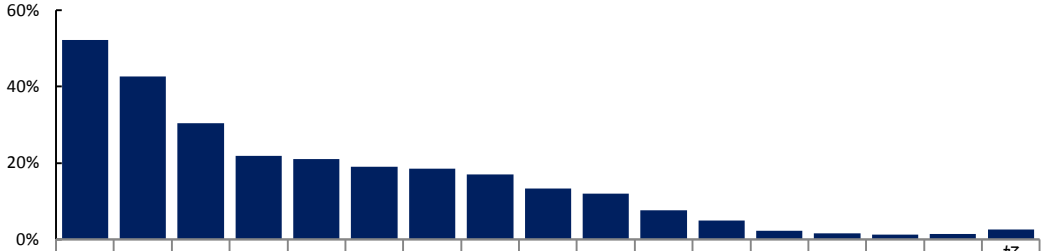
		n=	青	水色	ピンク	赤	緑	黒	白	黄	オレンジ	紫	金	黄緑	銀	灰色	茶色	その他	好きな色・嫌いな色はない
	全体	1,200	45.8	30.2	29.0	26.8	20.9	20.0	17.0	15.3	14.3	14.3	13.3	5.7	4.8	1.9	1.6	1.0	4.2
性学年別	男子・小学1年生	100	54.0	16.0	6.0	35.0	30.0	28.0	15.0	8.0	13.0	11.0	16.0	6.0	7.0	2.0	2.0	1.0	5.0
	男子・小学2年生	100	69.0	16.0	9.0	31.0	27.0	29.0	17.0	11.0	8.0	14.0	20.0	6.0	7.0	2.0	3.0	－	5.0
	男子・小学3年生	100	61.0	21.0	3.0	24.0	28.0	35.0	15.0	11.0	8.0	6.0	22.0	8.0	10.0	2.0	1.0	3.0	3.0
	男子・小学4年生	100	54.0	18.0	8.0	37.0	24.0	31.0	16.0	10.0	9.0	7.0	21.0	9.0	8.0	4.0	1.0	－	10.0
	男子・小学5年生	100	67.0	19.0	6.0	32.0	33.0	20.0	20.0	15.0	10.0	4.0	18.0	3.0	5.0	3.0	1.0	－	4.0
	男子・小学6年生	100	61.0	16.0	3.0	32.0	29.0	25.0	19.0	15.0	12.0	4.0	16.0	7.0	8.0	3.0	2.0	－	8.0
	女子・小学1年生	100	25.0	34.0	66.0	33.0	9.0	5.0	16.0	19.0	20.0	23.0	9.0	1.0	2.0	3.0	2.0	1.0	－
	女子・小学2年生	100	28.0	42.0	55.0	17.0	14.0	13.0	14.0	14.0	12.0	28.0	5.0	6.0	2.0	－	2.0	3.0	3.0
	女子・小学3年生	100	34.0	52.0	46.0	19.0	16.0	9.0	7.0	18.0	18.0	30.0	11.0	5.0	2.0	－	1.0	1.0	4.0
	女子・小学4年生	100	29.0	39.0	51.0	21.0	16.0	11.0	19.0	21.0	24.0	19.0	5.0	7.0	2.0	－	－	－	2.0
	女子・小学5年生	100	31.0	47.0	48.0	21.0	13.0	16.0	22.0	20.0	17.0	14.0	8.0	5.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0
	女子・小学6年生	100	36.0	42.0	47.0	20.0	12.0	18.0	24.0	22.0	20.0	12.0	8.0	5.0	3.0	2.0	3.0	－	4.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	39.5	25.0	36.0	34.0	19.5	16.5	15.5	13.5	16.5	17.0	12.5	3.5	4.5	2.5	2.0	1.0	2.5
	小学2年生	200	48.5	29.0	32.0	24.0	20.5	21.0	15.5	12.5	10.0	21.0	12.5	6.0	4.5	1.0	2.5	1.5	4.0
	小学3年生	200	47.5	36.5	24.5	21.5	22.0	22.0	11.0	14.5	13.0	18.0	16.5	6.5	6.0	1.0	1.0	2.0	3.5
	小学4年生	200	41.5	28.5	29.5	29.0	20.0	21.0	17.5	15.5	16.5	13.0	13.0	8.0	5.0	2.0	0.5	－	6.0
	小学5年生	200	49.0	33.0	27.0	26.5	23.0	18.0	21.0	17.5	13.5	9.0	13.0	4.0	3.5	2.5	1.0	1.5	3.0
	小学6年生	200	48.5	29.0	25.0	26.0	20.5	21.5	21.5	18.5	16.0	8.0	12.0	6.0	5.5	2.5	2.5	－	6.0

※全体の値を基準に降順並び替え

【図 10-3】好きな色（男子のみ）

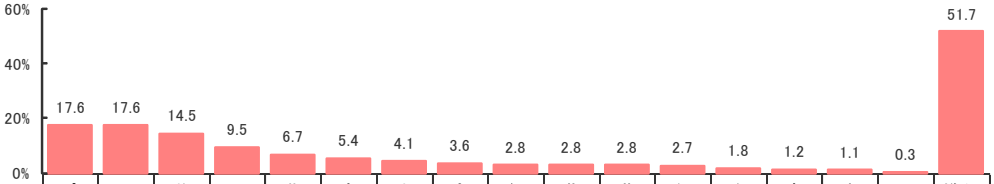


【図 10-4】好きな色（女子のみ）



	ピンク	水色	青	赤	紫	黄	オレンジ	白	緑	黒	金	黄緑	銀	茶色	灰色	その他	好きな色はない
n=600	52.2	42.7	30.5	21.8	21.0	19.0	18.5	17.0	13.3	12.0	7.7	4.8	2.2	1.5	1.2	1.3	2.5

【図 10-5】嫌いな色

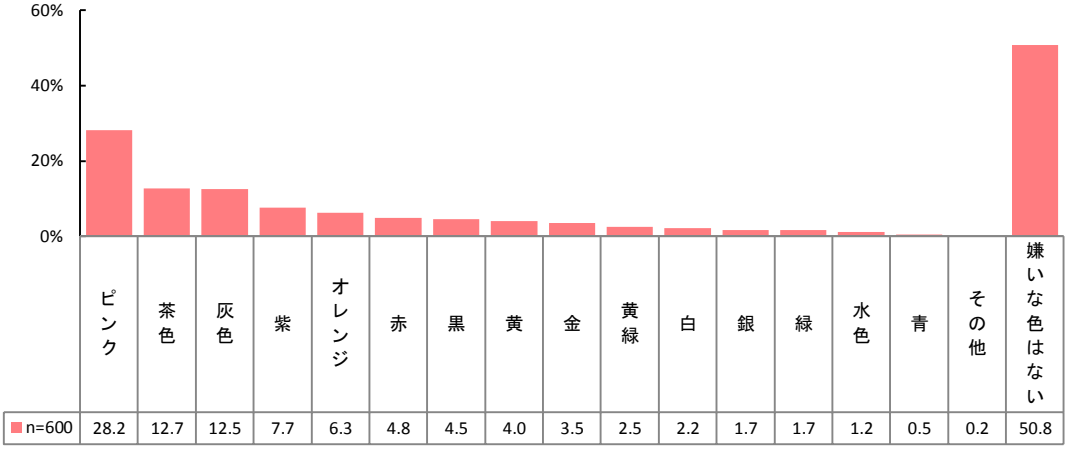


n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

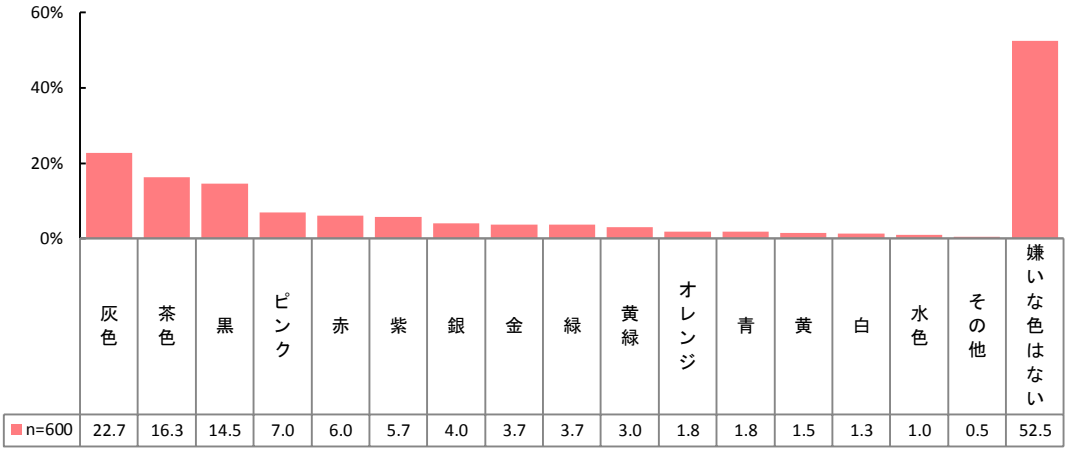
		n=	ピンク	灰色	茶色	黒	紫	赤	オレンジ	金	銀	黄	黄緑	緑	白	青	水色	その他	好きな色・嫌いな色はない
全体		1,200	17.6	17.6	14.5	9.5	6.7	5.4	4.1	3.6	2.8	2.8	2.8	2.7	1.8	1.2	1.1	0.3	51.7
性学年別	男子・小学1年生	100	17.0	9.0	14.0	3.0	4.0	6.0	－	4.0	1.0	4.0	3.0	2.0	4.0	－	1.0	－	60.0
	男子・小学2年生	100	29.0	16.0	15.0	4.0	7.0	5.0	9.0	4.0	2.0	4.0	3.0	1.0	1.0	1.0	－	－	53.0
	男子・小学3年生	100	32.0	10.0	10.0	3.0	8.0	7.0	5.0	5.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	－	－	1.0	49.0
	男子・小学4年生	100	33.0	15.0	13.0	3.0	11.0	4.0	7.0	2.0	－	4.0	4.0	1.0	3.0	1.0	2.0	－	42.0
	男子・小学5年生	100	26.0	14.0	11.0	7.0	6.0	5.0	9.0	2.0	1.0	5.0	2.0	1.0	1.0	1.0	－	－	50.0
	男子・小学6年生	100	32.0	11.0	13.0	7.0	10.0	2.0	8.0	4.0	2.0	3.0	－	1.0	－	－	4.0	－	51.0
	女子・小学1年生	100	4.0	22.0	15.0	21.0	4.0	3.0	2.0	4.0	6.0	－	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	52.0
	女子・小学2年生	100	3.0	19.0	20.0	17.0	5.0	6.0	1.0	4.0	3.0	1.0	2.0	3.0	1.0	1.0	－	－	53.0
	女子・小学3年生	100	11.0	26.0	20.0	16.0	4.0	5.0	2.0	3.0	2.0	3.0	1.0	3.0	1.0	－	－	1.0	52.0
	女子・小学4年生	100	5.0	27.0	13.0	13.0	5.0	5.0	1.0	5.0	4.0	1.0	5.0	2.0	－	－	1.0	－	56.0
	女子・小学5年生	100	14.0	21.0	13.0	12.0	12.0	10.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	5.0	2.0	5.0	1.0	－	46.0
	女子・小学6年生	100	5.0	21.0	17.0	8.0	4.0	7.0	2.0	3.0	5.0	－	4.0	6.0	2.0	2.0	2.0	－	56.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	10.5	15.5	14.5	12.0	4.0	4.5	1.0	4.0	3.5	2.0	2.5	2.5	3.0	1.5	1.5	1.0	56.0
	小学2年生	200	16.0	17.5	17.5	10.5	6.0	5.5	5.0	4.0	2.5	2.5	2.5	2.0	1.0	1.0	－	－	53.0
	小学3年生	200	21.5	18.0	15.0	9.5	6.0	6.0	3.5	4.0	3.0	3.5	2.0	3.5	2.5	－	－	1.0	50.5
	小学4年生	200	19.0	21.0	13.0	8.0	8.0	4.5	4.0	3.5	2.0	2.5	4.5	1.5	1.5	0.5	1.5	－	49.0
	小学5年生	200	20.0	17.5	12.0	9.5	9.0	7.5	6.0	2.5	2.5	4.5	3.0	3.0	1.5	3.0	0.5	－	48.0
	小学6年生	200	18.5	16.0	15.0	7.5	7.0	4.5	5.0	3.5	3.5	1.5	2.0	3.5	1.0	1.0	3.0	－	53.5

※全体の値を基準に降順並び替え

【図 10-6】嫌いな色（男子のみ）



【図 10-7】嫌いな色（女子のみ）



全学年男女の全体で、好きな色の 1 位は「青」（45.8%）、2 位「水色」（30.2%）、3 位「ピンク」（29.0%）、4 位「赤」（26.8%）、5 位「緑」（20.9%）となった。2015 年 10 月の調査で 5 位だった「黒」（20.0%）が「緑」と入れ替わって 6 位となったものの、両者の差は 1 ポイント未満と僅かであり、全体の傾向に大きな変化はみられなかった。

一方、全学年で嫌いな色は、1 位が「ピンク」「灰色」で同率（17.6%）、3 位「茶色」（14.5%）、4 位「黒」（9.5%）、5 位「紫」（6.7%）と続く。今回の調査から新たに追加した選択肢である「灰色」を除けば、嫌いな色にも 2015 年 10 月調査[8]から大きな変化はみられない。「灰色」は男女ともに嫌いな色であることが分かったが、その傾向は全学年で女子の方が強い。

[8]学研教育総合研究所、“4. 日常生活について　好きな色&嫌いな色”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter4/05.html

男女別で見ると、好きな色・嫌いな色の傾向が異なっていることがわかる。特に、好きな色では「青」「水色」「ピンク」の差が大きい。嫌いな色では男子が女子より圧倒的に「ピンク」を選んでおり、男女で好き嫌いが逆転している。
中でもピンクは、女子は好きな色としてあげるが、男子は嫌いな色としてあげる子が多いという対照的な結果が得られた。女児向けのコンテンツにピンクを基調とした商品が多いことから、子ども達の中にも「ピンクは女の子の色」という認識が根付いている可能性が考えられる。

おこづかい（金額と使い道）

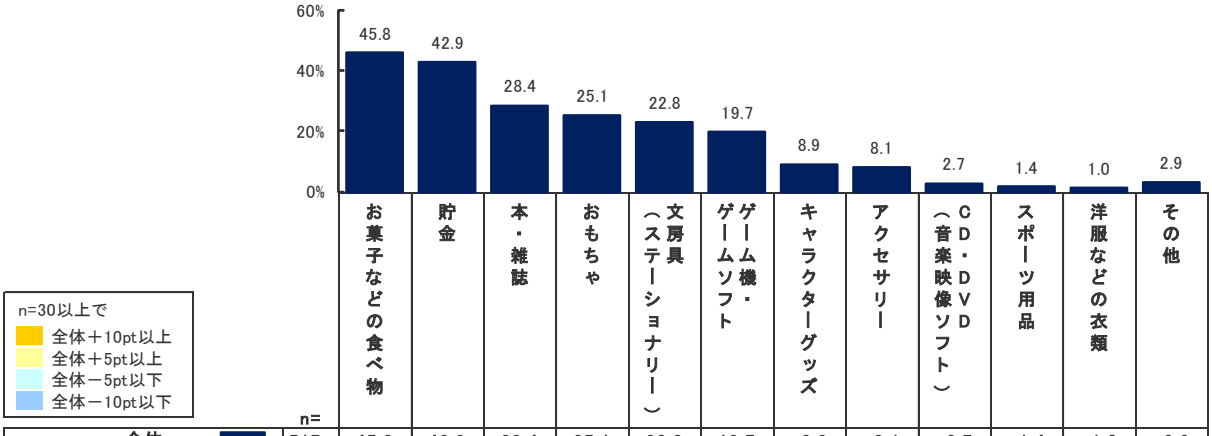
決まった額のお小遣いは「もらっていない」が半数以上

【図 11-1】あなたが自由に使える毎月のおこづかいの金額（平均）を教えてください。もらっていない人は、「0（ゼロ）」を記入してください。

(%)

		n=	2,000円以上	1,000～1,999円	500～999円	1～499円	なし	平均（円）	中央値
全体		1,200	7.7	12.0	15.1	8.3	56.9	479	0
性学年別	男子・小学1年生	100	7.0	8.0	4.0		81.0	117	0
	男子・小学2年生	100	7.0	4.0	11.0	5.0	73.0	367	0
	男子・小学3年生	100	6.0	15.0	13.0	10.0	56.0	472	0
	男子・小学4年生	100	9.0	15.0	14.0	23.0	39.0	646	350
	男子・小学5年生	100	7.0	10.0	25.0	2.0	56.0	491	0
	男子・小学6年生	100	15.0	18.0	30.0	1.0	36.0	786	500
	女子・小学1年生	100	5.0	5.0	8.0	7.0	75.0	276	0
	女子・小学2年生	100	3.0	5.0	8.0	8.0	76.0	173	0
	女子・小学3年生	100	4.0	10.0	8.0	12.0	66.0	278	0
	女子・小学4年生	100	8.0	8.0	11.0	21.0	52.0	455	0
	女子・小学5年生	100	12.0	21.0	20.0	4.0	43.0	688	500
	女子・小学6年生	100	16.0	26.0	25.0	3.0	30.0	1,001	600
学年別（男女計）	小学1年生	200	2.5	6.0	8.0	5.5	78.0	196	0
	小学2年生	200	5.0	4.5	9.5	6.5	74.5	270	0
	小学3年生	200	5.0	12.5	10.5	11.0	61.0	375	0
	小学4年生	200	8.5	11.5	12.5	22.0	45.5	550	300
	小学5年生	200	9.5	15.5	22.5	3.0	49.5	589	200
	小学6年生	200	15.5	22.0	27.5	2.0	33.0	894	550

【図 11-2】あなたが毎月もらっているおこづかいの主な使い道は何ですか。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。



		n=	お菓子などの食べ物	貯金	本・雑誌	おもちゃ	文房具（ステーショナリー）	ゲーム機・ゲームソフト	キャラクターグッズ	アクセサリー	CD・DVD（音楽映像ソフト）	スポーツ用品	洋服などの衣類	その他
	全体	517	45.8	42.9	28.4	25.1	22.8	19.7	8.9	8.1	2.7	1.4	1.0	2.9
性学年別	男子・小学1年生	19	52.6	52.6	5.3	42.1	5.3	10.5	－	－	－	－	－	－
	男子・小学2年生	27	37.0	29.6	22.2	44.4	11.1	37.0	3.7	－	－	－	－	3.7
	男子・小学3年生	44	47.7	45.5	34.1	47.7	6.8	18.2	13.6	2.3	－	4.5	－	6.8
	男子・小学4年生	61	45.9	47.5	29.5	21.3	11.5	27.9	1.6	－	3.3	3.3	－	4.9
	男子・小学5年生	44	36.4	50.0	27.3	25.0	18.2	18.2	4.5	2.3	2.3	－	－	4.5
	男子・小学6年生	64	40.6	43.8	34.4	28.1	7.8	31.3	3.1	－	－	－	－	1.6
	女子・小学1年生	25	32.0	56.0	16.0	28.0	20.0	16.0	8.0	12.0	－	－	4.0	－
	女子・小学2年生	24	45.8	33.3	4.2	12.5	25.0	8.3	8.3	8.3	－	－	4.2	－
	女子・小学3年生	34	64.7	35.3	23.5	32.4	32.4	17.6	17.6	14.7	2.9	2.9	2.9	5.9
	女子・小学4年生	48	47.9	43.8	27.1	20.8	37.5	10.4	12.5	14.6	4.2	－	－	4.2
	女子・小学5年生	57	42.1	36.8	35.1	21.1	42.1	17.5	19.3	17.5	3.5	1.8	－	－
	女子・小学6年生	70	54.3	41.4	38.6	5.7	38.6	14.3	10.0	18.6	8.6	1.4	2.9	1.4
学年別（男女計）	小学1年生	44	40.9	54.5	11.4	34.1	13.6	13.6	4.5	6.8	－	－	2.3	－
	小学2年生	51	41.2	31.4	13.7	29.4	17.6	23.5	5.9	3.9	－	－	2.0	2.0
	小学3年生	78	55.1	41.0	29.5	41.0	17.9	17.9	15.4	7.7	1.3	3.8	1.3	6.4
	小学4年生	109	46.8	45.9	28.4	21.1	22.9	20.2	6.4	6.4	3.7	1.8	－	4.6
	小学5年生	101	39.6	42.6	31.7	22.8	31.7	17.8	12.9	10.9	3.0	1.0	－	2.0
	小学6年生	134	47.8	42.5	36.6	16.4	23.9	22.4	6.7	9.7	4.5	0.7	1.5	1.5

※n=30未満は参考値のため灰色。　※全体の値を基準に降順並び替え

毎月決まった額のおこづかいは「0（もらっていない）」と答えた小学生は 56.9%。半数以上が毎月決まった額のおこづかいをもらっていないことが分かった。ここには、毎月のおこづかいの額は決まっていないが必要に応じてもらっているという子も含まれる。毎月決まった額のおこづかいをもらっていると答えた子の割合は、学年が上がるごとに増加する傾向にある。ある程度自分でおこづかいを管理できるようになったら定額制のおこづかいにする家庭が多いとも考えられる。

全体の平均額は 479 円で、おこづかいの額も学年が上がるごとに増えていく。1 年生の平均額 196 円と 6 年生の平均額 894 円では、約 700 円の差が生じる。

月の決まったおこづかいを「もらっている」と回答した子にのみ、もらったおこづかいの使い道を聞いた結果が【図 11-2】である（複数選択式）。おこづかいの使い道としてもっとも多く挙げられたのは「お菓子などの食べ物」で 45.8%。次いで貯金、本・雑誌などにおこづかいを使うという小学生が男女学年を問わず多い結果となった。「スポーツ用品」「洋

服などの衣類」におこづかいを費やしている子は少なく、生活必需品や習い事に関わる大きな買い物は親に頼むことが多いと想像できる。
一方で、男女で大きな差が見られた項目もある。例えば「おもちゃ」「ゲーム機・ゲームソフト」は男子に多くみられ、「文房具」「キャラクターグッズ」などは女子に集中している。男子の方が比較的高価な物を、女子の方が低額な小物を買っていることが分かる。

お年玉（金額と使い道）

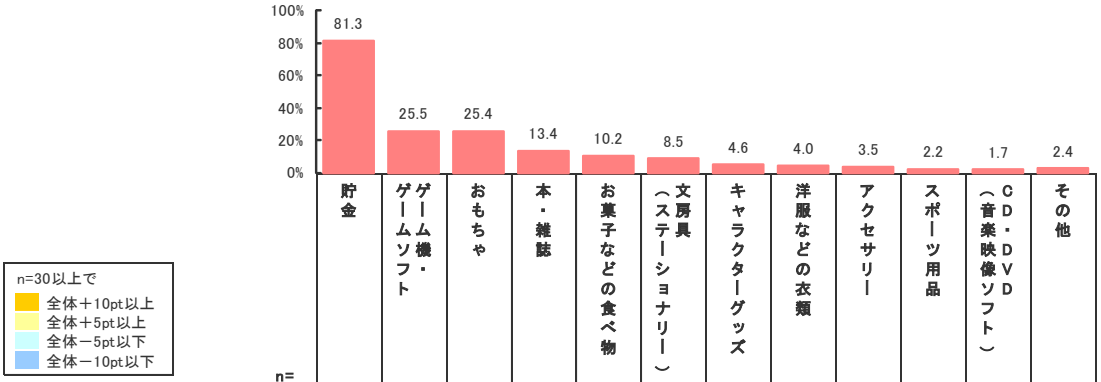
平均金額は 19,056 円と昨年度よりアップ！　8 割の子どもが貯金に回す。

【図 12-1】あなたが今年（2016 年）のお正月にもらったお年玉の総額（全てを足した金額）を教えてください。もらっていない人は、「0（ゼロ）」を記入してください。

(%)

		n=	35,000円以上	30,000～34,999円	25,000～29,999円	20,000～24,999円	15,000～19,999円	10,000～14,999円	5,000～9,999円	1～4,999円	なし	平均（円）	中央値
全体		1,200	11.6	14.2	3.8	20.7	10.8	13.8	7.4	3.9	13.8	19,056	20,000
性学年別	男子・小学1年生	100	15.0	9.0	3.0	17.0	4.0	10.0	9.0	4.0	29.0	16,860	10,000
	男子・小学2年生	100	6.0	12.0	2.0	19.0	16.0	15.0	10.0	7.0	13.0	16,440	15,000
	男子・小学3年生	100	12.0	17.0	6.0	18.0	6.0	13.0	11.0	5.0	12.0	18,815	20,000
	男子・小学4年生	100	12.0	17.0	6.0	22.0	8.0	11.0	6.0	6.0	12.0	20,662	20,000
	男子・小学5年生	100	15.0	16.0	4.0	22.0	10.0	16.0	1.0	5.0	11.0	22,636	20,000
	男子・小学6年生	100	7.0	18.0	8.0	23.0	13.0	13.0	2.0	2.0	14.0	18,694	20,000
	女子・小学1年生	100	10.0	10.0	1.0	11.0	11.0	18.0	14.0	6.0	19.0	14,603	10,000
	女子・小学2年生	100	9.0	9.0	1.0	12.0	11.0	26.0	13.0	3.0	16.0	15,040	12,000
	女子・小学3年生	100	12.0	9.0	1.0	20.0	18.0	14.0	8.0	3.0	15.0	18,390	15,000
	女子・小学4年生	100	13.0	14.0	6.0	31.0	9.0	12.0	5.0	1.0	9.0	21,145	20,000
	女子・小学5年生	100	12.0	19.0	2.0	32.0	13.0	7.0	7.0	3.0	5.0	22,111	20,000
	女子・小学6年生	100	16.0	20.0	6.0	21.0	11.0	11.0	3.0	2.0	10.0	23,270	20,000
学年別（男女計）	小学1年生	200	12.5	9.5	2.0	14.0	7.5	14.0	11.5	5.0	24.0	15,732	10,000
	小学2年生	200	7.5	10.5	1.5	15.5	13.5	20.5	11.5	5.0	14.5	15,740	13,000
	小学3年生	200	12.0	13.0	3.5	19.0	12.0	13.5	9.5	4.0	13.5	18,603	15,500
	小学4年生	200	12.5	15.5	6.0	26.5	8.5	11.5	5.5	3.5	10.5	20,904	20,000
	小学5年生	200	13.5	17.5	3.0	27.0	11.5	11.5	4.0	4.0	8.0	22,374	20,000
	小学6年生	200	11.5	19.0	7.0	22.0	12.0	12.0	2.5	2.0	12.0	20,982	20,000

【図 12-2】あなたが今年（2016 年）のお正月にもらったお年玉の主な使い道は何でしたか。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。



		n=	貯金	ゲーム機・ゲームソフト	おもちゃ	本・雑誌	お菓子などの食べ物	文房具（ステーショナリー）	キャラクターグッズ	洋服などの衣類	アクセサリー	スポーツ用品	CD・DVD（音楽映像ソフト）	その他
	全体	1,035	81.3	25.5	25.4	13.4	10.2	8.5	4.6	4.0	3.5	2.2	1.7	2.4
性学年別	男子・小学1年生	71	85.9	9.9	40.8	4.2	7.0	2.8	1.4	1.4	－	－	1.4	4.2
	男子・小学2年生	87	75.9	35.6	28.7	4.6	8.0	6.9	2.3	1.1	－	1.1	－	3.4
	男子・小学3年生	88	72.7	37.5	38.6	15.9	12.5	3.4	4.5	1.1	1.1	4.5	1.1	1.1
	男子・小学4年生	88	76.1	42.0	27.3	13.6	14.8	5.7	5.7	4.5	1.1	5.7	5.7	3.4
	男子・小学5年生	89	87.6	34.8	19.1	13.5	6.7	2.2	4.5	1.1	－	6.7	1.1	3.4
	男子・小学6年生	86	79.1	36.0	14.0	11.6	8.1	3.5	2.3	－	－	2.3	1.2	2.3
	女子・小学1年生	81	84.0	7.4	35.8	9.9	13.6	2.5	7.4	4.9	4.9	－	－	－
	女子・小学2年生	84	81.0	11.9	29.8	9.5	9.5	10.7	2.4	1.2	3.6	3.6	－	1.2
	女子・小学3年生	85	85.9	15.3	25.9	10.6	11.8	11.8	4.7	2.4	1.2	－	－	2.4
	女子・小学4年生	91	84.6	19.8	17.6	17.6	11.0	12.1	3.3	5.5	8.8	－	1.1	3.3
	女子・小学5年生	95	82.1	27.4	21.1	18.9	6.3	18.9	7.4	5.3	4.2	－	－	3.2
	女子・小学6年生	90	81.1	23.3	11.1	27.8	13.3	18.9	8.9	17.8	15.6	2.2	8.9	1.1
学年別（男女計）	小学1年生	152	84.9	8.6	38.2	7.2	10.5	2.6	4.6	3.3	2.6	－	0.7	2.0
	小学2年生	171	78.4	24.0	29.2	7.0	8.8	8.8	2.3	1.2	1.8	2.3	－	2.3
	小学3年生	173	79.2	26.6	32.4	13.3	12.1	7.5	4.6	1.7	1.2	2.3	0.6	1.7
	小学4年生	179	80.4	30.7	22.3	15.6	12.8	8.9	4.5	5.0	5.0	2.8	3.4	3.4
	小学5年生	184	84.8	31.0	20.1	16.3	6.5	10.9	6.0	3.3	2.2	3.3	0.5	3.3
	小学6年生	176	80.1	29.5	12.5	19.9	10.8	11.4	5.7	9.1	8.0	2.3	5.1	1.7

※全体の値を基準に降順並び替え

2016 年の小学生のお年玉平均金額は 19,056 円。昨年の同調査[9]によると、2015 年の平均金額は 17,578 円であったことから、約 1,500 円の増額ということになる。「0（もらっていない）」は 13.6%で、低学年、特に 1 年生では 24.0%と 4 人に 1 人がお年玉はもらっていないと回答した。

お年玉をもらったという子に、何に使ったかを複数選択式で聞いた結果が【図 12-2】である。これを見ると、81.3%もの小学生が堅実に貯金に回していることが分かる。お年玉で買ったものの中で多いのが「ゲーム機・ゲームソフト」（25.5%）、「おもちゃ」（25.4%）といった比較的高額のものだったところから考えると、臨時収入で、普段は高価で買えないホビー用品などを買い、自らの楽しみに充てている子が多いようだ。
男女学年別にみると、6 年生女子では「本・雑誌」（27.8%）、「洋服などの衣類」（17.8%）、「アクセサリー」（15.6%）が他学年や男子に比べ格段に多くなっている。学年が上がるに

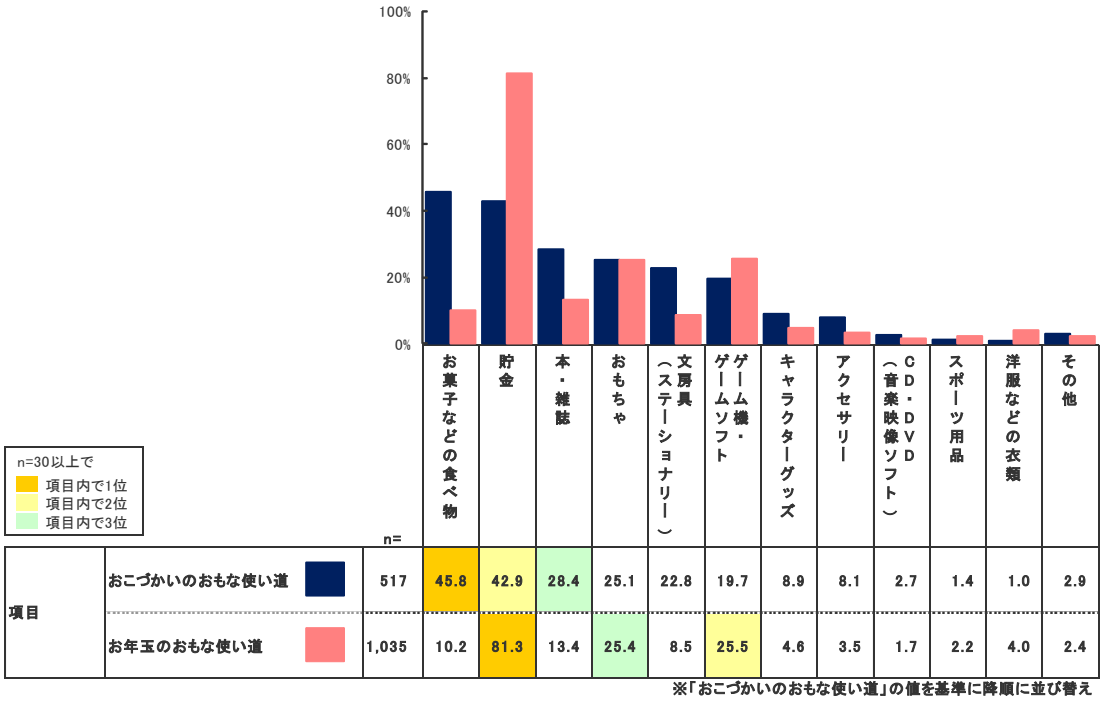
[9]学研教育総合研究所、“4. 日常生活について　お年玉（金額と使い道）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter4/07.html

つれて、自分で選んで買ったものを身に着けておしゃれを楽しみたいと考える女子が増えてくるのだろうか。

お金の使い道

倹約家？お年玉は「貯金」が第一位

【図 13】お金（おこづかい・お年玉の主な使い道）



項目	n=	お菓子などの食べ物	貯金	本・雑誌	おもちゃ	文房具（ステーショナリー）	ゲーム機・ゲームソフト	キャラクターグッズ	アクセサリー	CD・DVD（音楽映像ソフト）	スポーツ用品	洋服などの衣類	その他
おこづかいのおもな使い道	517	45.8	42.9	28.4	25.1	22.8	19.7	8.9	8.1	2.7	1.4	1.0	2.9
お年玉のおもな使い道	1,035	10.2	81.3	13.4	25.4	8.5	25.5	4.6	3.5	1.7	2.2	4.0	2.4

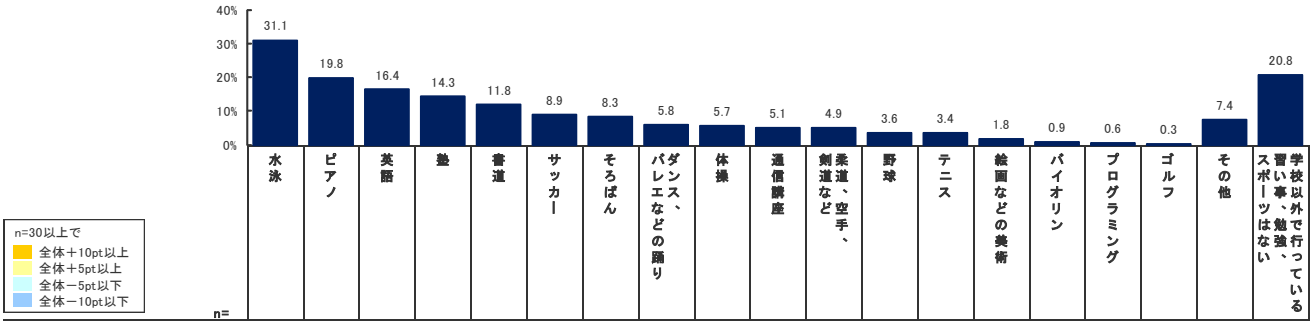
毎月のおこづかいとお年玉の使い道を比較すると【図 13】のようになる。
これを見ると、主に「お菓子などの食べ物」「本・雑誌」「文房具」を購入する際には月々のおこづかいが、「貯金」「ゲーム機・ゲームソフト」のためにはお年玉が充てられていることがわかる。

11. 学習・学校生活について

習い事

4 年生までは水泳が群を抜いて人気。5 年生以降は塾にシフト？

【図 14】あなたが、学校以外で行っている習い事、勉強、スポーツはありますか。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。



		n=	水泳	ピアノ	英語	塾	書道	サッカー	そろばん	ダンス、バレエなどの踊り	体操	通信講座	柔道、空手、剣道など	野球	テニス	絵画などの美術	バイオリン	プログラミング	ゴルフ	その他	学校以外で行っている習い事、勉強、スポーツはない
全体		1,200	31.1	19.8	16.4	14.3	11.8	8.9	8.3	5.8	5.7	5.1	4.9	3.6	3.4	1.8	0.9	0.6	0.3	7.4	20.8
性学年別	男子・小学1年生	100	40.0	13.0	13.0	5.0	5.0	7.0	8.0	－	12.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	1.0	－	－	2.0	32.0
	男子・小学2年生	100	46.0	10.0	15.0	14.0	10.0	10.0	9.0	－	11.0	7.0	10.0	5.0	－	2.0	－	2.0	－	3.0	18.0
	男子・小学3年生	100	39.0	12.0	14.0	15.0	10.0	19.0	9.0	－	8.0	8.0	9.0	9.0	5.0	1.0	1.0	－	－	11.0	16.0
	男子・小学4年生	100	37.0	9.0	17.0	15.0	5.0	21.0	6.0	－	4.0	4.0	10.0	7.0	6.0	1.0	2.0	1.0	－	5.0	22.0
	男子・小学5年生	100	28.0	10.0	19.0	20.0	12.0	19.0	9.0	2.0	2.0	6.0	13.0	7.0	5.0	1.0	－	1.0	1.0	7.0	12.0
	男子・小学6年生	100	21.0	6.0	14.0	23.0	5.0	16.0	5.0	3.0	2.0	3.0	3.0	8.0	4.0	3.0	－	－	1.0	9.0	22.0
	女子・小学1年生	100	39.0	24.0	13.0	8.0	14.0	1.0	6.0	10.0	7.0	4.0	3.0	4.0	3.0	3.0	2.0	2.0	1.0	4.0	26.0
	女子・小学2年生	100	36.0	37.0	24.0	4.0	10.0	3.0	5.0	13.0	8.0	4.0	－	－	1.0	－	1.0	1.0	－	5.0	18.0
	女子・小学3年生	100	28.0	24.0	23.0	14.0	19.0	4.0	13.0	11.0	6.0	7.0	1.0	1.0	3.0	3.0	2.0	－	－	9.0	25.0
	女子・小学4年生	100	34.0	33.0	15.0	14.0	25.0	3.0	9.0	9.0	3.0	5.0	3.0	－	5.0	1.0	－	－	－	9.0	17.0
	女子・小学5年生	100	11.0	32.0	12.0	18.0	12.0	1.0	11.0	12.0	1.0	5.0	3.0	－	3.0	2.0	2.0	－	－	12.0	23.0
	女子・小学6年生	100	14.0	27.0	18.0	21.0	14.0	3.0	9.0	10.0	4.0	6.0	1.0	－	3.0	3.0	－	－	－	13.0	19.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	39.5	18.5	13.0	6.5	9.5	4.0	7.0	5.0	9.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	1.5	1.0	0.5	3.0	29.0
	小学2年生	200	41.0	23.5	19.5	9.0	10.0	6.5	7.0	6.5	9.5	5.5	5.0	2.5	0.5	1.0	0.5	1.5	－	4.0	18.0
	小学3年生	200	33.5	18.0	18.5	14.5	14.5	11.5	11.0	5.5	7.0	7.5	5.0	5.0	4.0	2.0	1.5	－	－	10.0	20.5
	小学4年生	200	35.5	21.0	16.0	14.5	15.0	12.0	7.5	4.5	3.5	4.5	6.5	3.5	5.5	1.0	1.0	0.5	－	7.0	19.5
	小学5年生	200	19.5	21.0	15.5	19.0	12.0	10.0	10.0	7.0	1.5	5.5	8.0	3.5	4.0	1.5	1.0	0.5	0.5	9.5	17.5
	小学6年生	200	17.5	16.5	16.0	22.0	9.5	9.5	7.0	6.5	3.0	4.5	2.0	4.0	3.5	3.0	－	－	0.5	11.0	20.5

※全体の値を基準に降順並び替え

小学生の習い事としてもっとも人気なのは「水泳」（31.1%）。4 年生までは男女とも 30%以上が水泳を習っていることが明らかになった。5，6 年生になると水泳を習っている子の数は急激に減少し、特に女子での落ち込みが著しい。

4 位の「塾」は、1，2 年生のうちはまだあまり多くないが、3 年生になると 14.5%、5 年生になると 19.0%と、学校での学習内容の難化や中学受験などもあってか、段階的に増えていく傾向にある。

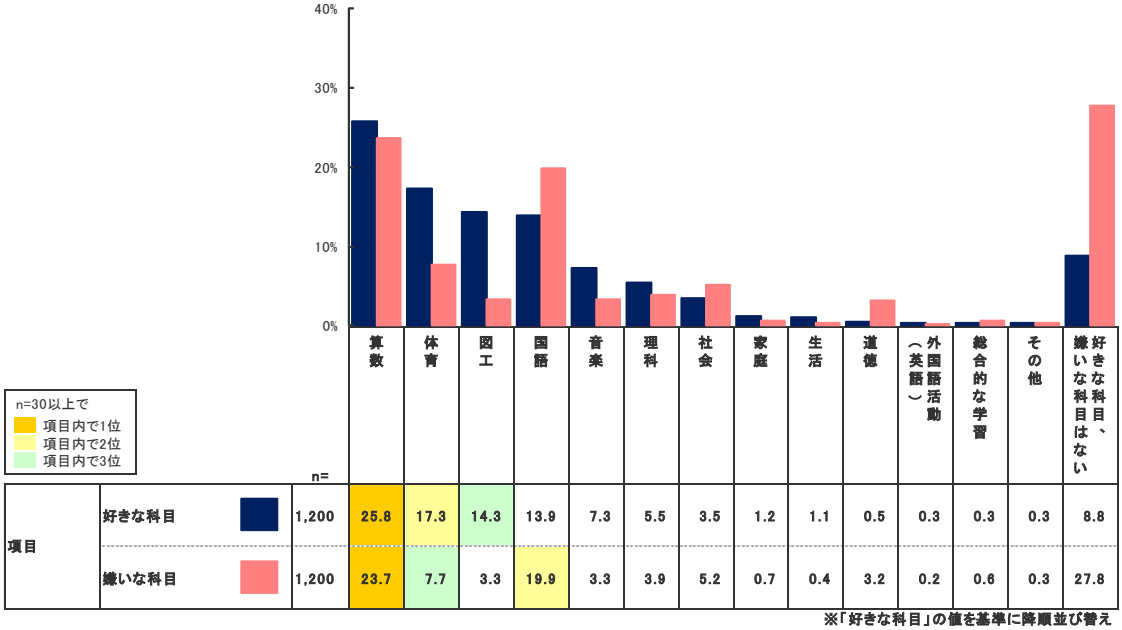
昨年度調査[10]では 6 位（9.3%）であった「英語」は、今回 3 位（16.4%）と、1 年で大きく数字を伸ばした。2020 年までの教育改革により 3 年生から外国語活動、5 年生から教科として本格始動するのに合わせ、需要が高まっていると考えられる。

[10]学研教育総合研究所、“9. 学習について（家庭で）習い事は”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter9/01.html

好きな科目＆嫌いな科目

4 年連続で好きも嫌いも「算数」がダントツ！

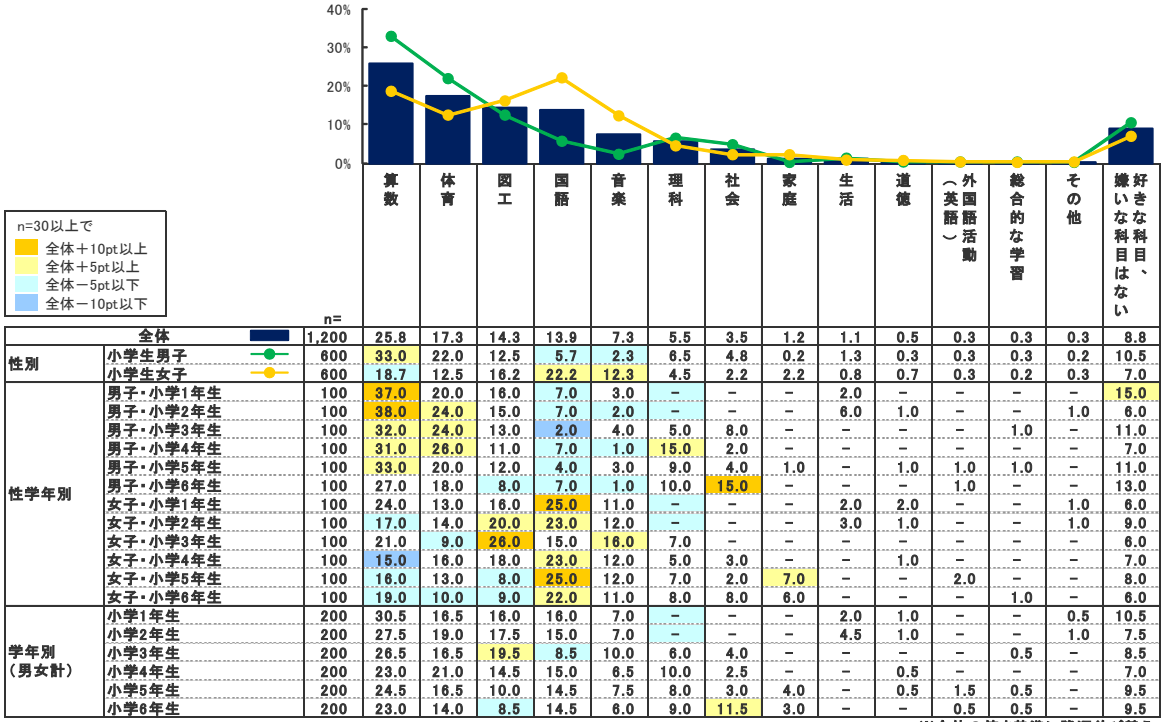
【図 15-1】あなたが、学校の授業で一番好きな科目と一番嫌いな科目を教えてください。以下の中から当てはまるものをそれぞれ 1 つ選んでください。



項目		n=	算数	体育	図工	国語	音楽	理科	社会	家庭	生活	道徳	外国語活動（英語）	総合的な学習	その他	好きな科目、嫌いな科目はない
	好きな科目	1,200	25.8	17.3	14.3	13.9	7.3	5.5	3.5	1.2	1.1	0.5	0.3	0.3	0.3	8.8
	嫌いな科目	1,200	23.7	7.7	3.3	19.9	3.3	3.9	5.2	0.7	0.4	3.2	0.2	0.6	0.3	27.8

※「好きな科目」の値を基準に降順並び替え

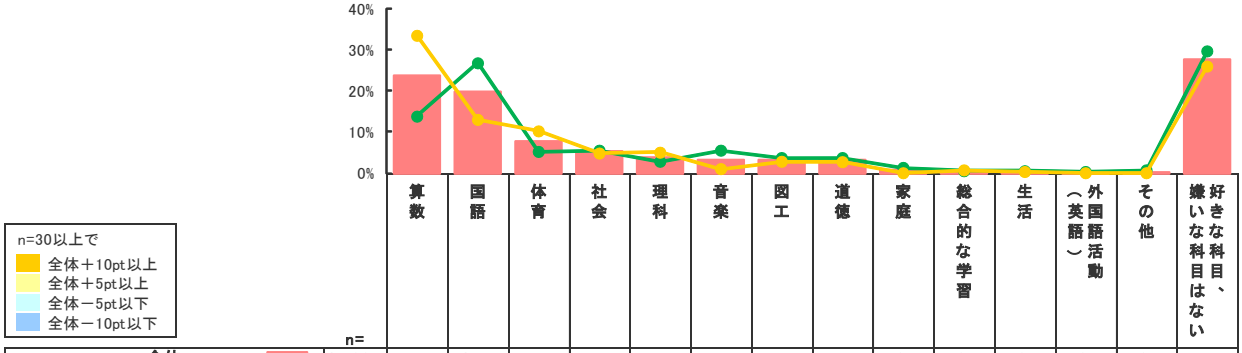
【図 15-2】好きな科目



		n=	算数	体育	図工	国語	音楽	理科	社会	家庭	生活	道徳	外国語活動（英語）	総合的な学習	その他	好きな科目、嫌いな科目はない
全体		1,200	25.8	17.3	14.3	13.9	7.3	5.5	3.5	1.2	1.1	0.5	0.3	0.3	0.3	8.8
性別	小学生男子	600	33.0	22.0	12.5	5.7	2.3	6.5	4.8	0.2	1.3	0.3	0.3	0.3	0.2	10.5
	小学生女子	600	18.7	12.5	16.2	22.2	12.3	4.5	2.2	2.2	0.8	0.7	0.3	0.2	0.3	7.0
性学年別	男子・小学1年生	100	37.0	20.0	16.0	7.0	3.0	－	－	－	2.0	－	－	－	－	15.0
	男子・小学2年生	100	38.0	24.0	15.0	7.0	2.0	－	－	－	6.0	1.0	－	－	1.0	6.0
	男子・小学3年生	100	32.0	24.0	13.0	2.0	4.0	5.0	8.0	－	－	－	－	1.0	－	11.0
	男子・小学4年生	100	31.0	26.0	11.0	7.0	1.0	15.0	2.0	－	－	－	－	－	－	7.0
	男子・小学5年生	100	33.0	20.0	12.0	4.0	3.0	9.0	4.0	1.0	－	1.0	1.0	1.0	－	11.0
	男子・小学6年生	100	27.0	18.0	8.0	7.0	1.0	10.0	15.0	－	－	－	1.0	－	－	13.0
	女子・小学1年生	100	24.0	13.0	16.0	25.0	11.0	－	－	－	2.0	2.0	－	－	1.0	6.0
	女子・小学2年生	100	17.0	14.0	20.0	23.0	12.0	－	－	－	3.0	1.0	－	－	1.0	9.0
	女子・小学3年生	100	21.0	9.0	26.0	15.0	16.0	7.0	－	－	－	－	－	－	－	6.0
	女子・小学4年生	100	15.0	16.0	18.0	23.0	12.0	5.0	3.0	－	－	1.0	－	－	－	7.0
	女子・小学5年生	100	16.0	13.0	8.0	25.0	12.0	7.0	2.0	7.0	－	－	2.0	－	－	8.0
	女子・小学6年生	100	19.0	10.0	9.0	22.0	11.0	8.0	8.0	6.0	－	－	－	1.0	－	6.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	30.5	16.5	16.0	16.0	7.0	－	－	－	2.0	1.0	－	－	0.5	10.5
	小学2年生	200	27.5	19.0	17.5	15.0	7.0	－	－	－	4.5	1.0	－	－	1.0	7.5
	小学3年生	200	26.5	16.5	19.5	8.5	10.0	6.0	4.0	－	－	－	－	0.5	－	8.5
	小学4年生	200	23.0	21.0	14.5	15.0	6.5	10.0	2.5	－	－	0.5	－	－	－	7.0
	小学5年生	200	24.5	16.5	10.0	14.5	7.5	8.0	3.0	4.0	－	0.5	1.5	0.5	－	9.5
	小学6年生	200	23.0	14.0	8.5	14.5	6.0	9.0	11.5	3.0	－	－	0.5	0.5	－	9.5

※全体の値を基準に降順並び替え

【図 15-3】嫌いな科目



		n=	算数	国語	体育	社会	理科	音楽	図工	道徳	家庭	総合的な学習	生活	外国語活動（英語）	その他	好きな科目、嫌いな科目はない
全体		1,200	23.7	19.9	7.7	5.2	3.9	3.3	3.3	3.2	0.7	0.6	0.4	0.2	0.3	27.8
性別	小学生男子	600	13.8	26.8	5.2	5.5	2.8	5.5	3.7	3.7	1.3	0.5	0.5	0.3	0.7	29.7
	小学生女子	600	33.5	13.0	10.2	4.8	5.0	1.0	2.8	2.7	－	0.7	0.3	－	－	26.0
性学年別	男子・小学1年生	100	12.0	17.0	5.0	－	－	6.0	6.0	5.0	－	－	2.0	－	－	47.0
	男子・小学2年生	100	13.0	30.0	8.0	－	－	6.0	6.0	5.0	－	－	1.0	－	1.0	30.0
	男子・小学3年生	100	17.0	29.0	6.0	8.0	2.0	3.0	1.0	3.0	－	1.0	－	－	2.0	28.0
	男子・小学4年生	100	11.0	36.0	3.0	6.0	6.0	10.0	1.0	4.0	－	1.0	－	－	1.0	21.0
	男子・小学5年生	100	10.0	30.0	7.0	10.0	4.0	3.0	3.0	4.0	4.0	1.0	－	1.0	－	23.0
	男子・小学6年生	100	20.0	19.0	2.0	9.0	5.0	5.0	5.0	1.0	4.0	－	－	1.0	－	29.0
	女子・小学1年生	100	28.0	13.0	11.0	－	－	－	2.0	4.0	－	－	1.0	－	－	41.0
	女子・小学2年生	100	37.0	13.0	8.0	－	－	2.0	1.0	5.0	－	－	1.0	－	－	33.0
	女子・小学3年生	100	34.0	19.0	9.0	5.0	9.0	－	2.0	1.0	－	2.0	－	－	－	19.0
	女子・小学4年生	100	29.0	12.0	14.0	9.0	6.0	－	4.0	3.0	－	1.0	－	－	－	22.0
	女子・小学5年生	100	41.0	12.0	7.0	5.0	7.0	－	5.0	3.0	－	－	－	－	－	20.0
	女子・小学6年生	100	32.0	9.0	12.0	10.0	8.0	4.0	3.0	－	－	1.0	－	－	－	21.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	20.0	15.0	8.0	－	－	3.0	4.0	4.5	－	－	1.5	－	－	44.0
	小学2年生	200	25.0	21.5	8.0	－	－	4.0	3.5	5.0	－	－	1.0	－	0.5	31.5
	小学3年生	200	25.5	24.0	7.5	6.5	5.5	1.5	1.5	2.0	－	1.5	－	－	1.0	23.5
	小学4年生	200	20.0	24.0	8.5	7.5	6.0	5.0	2.5	3.5	－	1.0	－	－	0.5	21.5
	小学5年生	200	25.5	21.0	7.0	7.5	5.5	1.5	4.0	3.5	2.0	0.5	－	0.5	－	21.5
	小学6年生	200	26.0	14.0	7.0	9.5	6.5	4.5	4.0	0.5	2.0	0.5	－	0.5	－	25.0

※全体の値を基準に降順並び替え

この項目は 4 年連続で「好きな科目」と「嫌いな科目」において「算数」が第 1 位という結果になった。「好きな科目」は上位から「算数」(25.8%)、「体育」(17.3%)、「図工」(14.3%)となり、「嫌いな科目」は上位から「算数」(23.7%)、「国語」(19.9%)、「体育」(7.7%)となった。「嫌いな科目はない」(27.8%) と答えた小学生は約 4 人に 1 人にのぼり、学校で学習している科目すべてに前向きに取り組んでいる様子がうかがえる。とくに低学年は男女共に「嫌いな科目はない」と答えた割合が他学年に比べて高い傾向にあった。一方で、全体の約 7 割は嫌いな科目があると回答している点は気にかかる。全ての教科は子ども達の生活環境を軸としてつながっているため、嫌いな科目があったとしても、それらは彼らの好きな科目や日常とも密接に関係しているという視点を持ってもらうきっかけが必要なのかもしれない。

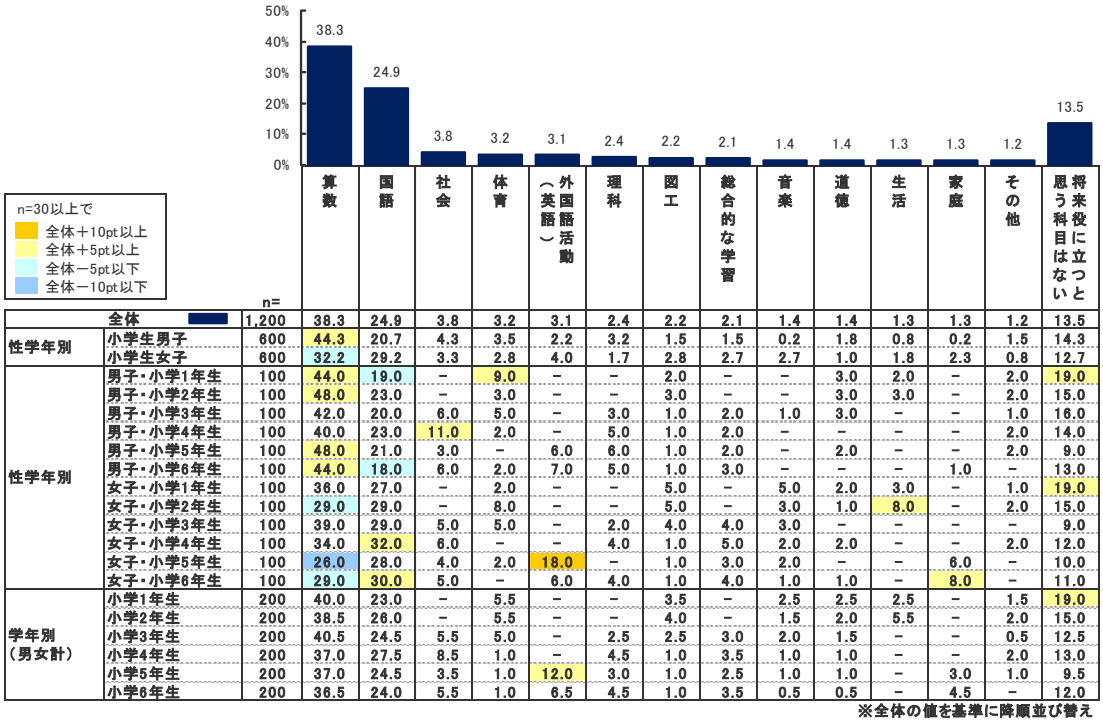
「算数」が「好き」(25.8%) と「嫌い」(23.7%) の差は僅か 2.1 ポイントと少ないことから、好き嫌いは顕著に二分していることが分かる。男女別に見ると、男子が「算数」を好きと答えている割合 (33.0%) が高く、女子では 18.7%と大きな差が開いた。さらに、算数を嫌いと答えた男子の割合が 13.8%であるのに対し、女子は 33.5%とこちらも明確な差が見て取れる。一方で、「国語」については男女の好き嫌いが「算数」と逆転している。「国語」を「好きな科目」と答えた男子は 5.7%であるのに対し、女子は 22.2%。「国語」を「嫌いな科目」と答えた男子は 26.8%であるのに対して、女子は 13.0%であった。この

ようなことから、嫌い・不得意といった先入観の壁を乗り越えられるような工夫や機会がさらに必要であるといえる。

将来役に立つと思う科目

役に立つと思う科目は「算数」と「国語」

【図 16-1】あなたが、将来役に立つと思う科目は何ですか。以下の中から当てはまるものを 1 つ選んでください。



		n=	算数	国語	社会	体育	外国語活動（英語）	理科	図工	総合的な学習	音楽	道徳	生活	家庭	その他	将来役に立つと思う科目はない
	全体	1,200	38.3	24.9	3.8	3.2	3.1	2.4	2.2	2.1	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	13.5
性学年別	小学生男子	600	44.3	20.7	4.3	3.5	2.2	3.2	1.5	1.5	0.2	1.8	0.8	0.2	1.5	14.3
	小学生女子	600	32.2	29.2	3.3	2.8	4.0	1.7	2.8	2.7	2.7	1.0	1.8	2.3	0.8	12.7
性学年別	男子・小学1年生	100	44.0	19.0	－	9.0	－	－	2.0	－	－	3.0	2.0	－	2.0	19.0
	男子・小学2年生	100	48.0	23.0	－	3.0	－	－	3.0	－	－	3.0	3.0	－	2.0	15.0
	男子・小学3年生	100	42.0	20.0	6.0	5.0	－	3.0	1.0	2.0	1.0	3.0	－	－	1.0	16.0
	男子・小学4年生	100	40.0	23.0	11.0	2.0	－	5.0	1.0	2.0	－	－	－	－	2.0	14.0
	男子・小学5年生	100	48.0	21.0	3.0	－	6.0	6.0	1.0	2.0	－	2.0	－	－	2.0	9.0
	男子・小学6年生	100	44.0	18.0	6.0	2.0	7.0	5.0	1.0	3.0	－	－	－	1.0	－	13.0
	女子・小学1年生	100	36.0	27.0	－	2.0	－	－	5.0	－	5.0	2.0	3.0	－	1.0	19.0
	女子・小学2年生	100	29.0	29.0	－	8.0	－	－	5.0	－	3.0	1.0	8.0	－	2.0	15.0
	女子・小学3年生	100	39.0	29.0	5.0	5.0	－	2.0	4.0	4.0	3.0	－	－	－	－	9.0
	女子・小学4年生	100	34.0	32.0	6.0	－	－	4.0	1.0	5.0	2.0	2.0	－	－	2.0	12.0
	女子・小学5年生	100	26.0	28.0	4.0	2.0	18.0	－	1.0	3.0	2.0	－	－	6.0	－	10.0
	女子・小学6年生	100	29.0	30.0	5.0	－	6.0	4.0	1.0	4.0	1.0	1.0	－	8.0	－	11.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	40.0	23.0	－	5.5	－	－	3.5	－	2.5	2.5	2.5	－	1.5	19.0
	小学2年生	200	38.5	26.0	－	5.5	－	－	4.0	－	1.5	2.0	5.5	－	2.0	15.0
	小学3年生	200	40.5	24.5	5.5	5.0	－	2.5	2.5	3.0	2.0	1.5	－	－	0.5	12.5
	小学4年生	200	37.0	27.5	8.5	1.0	－	4.5	1.0	3.5	1.0	1.0	－	－	2.0	13.0
	小学5年生	200	37.0	24.5	3.5	1.0	12.0	3.0	1.0	2.5	1.0	1.0	－	3.0	1.0	9.5
	小学6年生	200	36.5	24.0	5.5	1.0	6.5	4.5	1.0	3.5	0.5	0.5	－	4.5	－	12.0

※全体の値を基準に降順並び替え

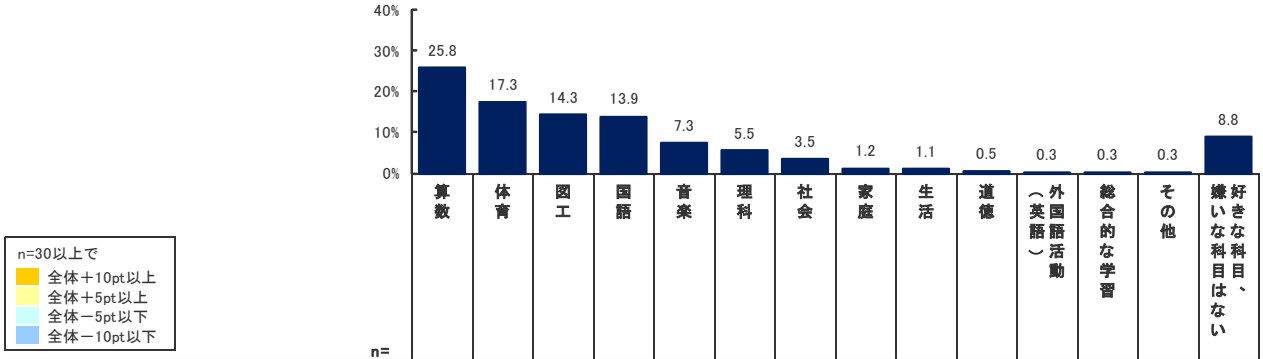
好き嫌いとは別に、小学生が将来役に立つと考えている教科はなんだろうか。【図 16-1】は「あなたが、将来役に立つと思う科目は何ですか。」という設問の選択式の回答結果である。こちらでも、「好きな科目」と「嫌いな科目」の 1 位となった「算数」（38.3%）がトップとなった。次いで「国語」（24.9%）が選ばれ、3 位以降の「将来役に立つと思う科目はない」（13.5%）やその他の科目と大差を付けている。こちらの結果でも、「算数」を選んでいるのは女子より男子の方が多く、顕著な差が出ている。「算数」と「国語」以外の科目はほぼ同率の結果となったが、外国語活動に関しては多くの学校では現在小学 5 年生から開始されるため、特に 5 年生女子からは高い評価（18.0%）を得た。しかし、6 年生になるとその割合が 6.0%に下がることから、実生活や社会で役立つと実感できる程度には至っていないといえる。今後、2020 年までには小学 3 年生からの必修化、小学 5 年生からの教科化

の実施以降は、この意識にも変化が見られることが予想される。

将来役に立つと思う科目と好きな科目の関係

役に立つと思うし、好きでもある科目は「算数」

【図 16-2】将来役立つと思う科目×好きな科目[クロス集計]



		n=	算数	体育	図工	国語	音楽	理科	社会	家庭	生活	道徳	外国語活動（英語）	総合的な学習	その他	好きな科目、嫌いな科目はない
全体		1,200	25.8	17.3	14.3	13.9	7.3	5.5	3.5	1.2	1.1	0.5	0.3	0.3	0.3	8.8
学校の授業で将来役に立つと思う科目	国語	299	22.7	16.4	15.7	26.4	7.0	3.0	3.3	0.7	1.0	0.3	－	0.3	0.3	2.7
	算数	459	38.6	18.5	13.1	7.0	7.0	7.4	2.0	0.9	1.1	0.2	－	－	－	4.4
	生活	16	25.0	－	18.8	25.0	－	－	－	－	25.0	6.3	－	－	－	－
	理科	29	24.1	3.4	13.8	－	3.4	44.8	6.9	－	－	3.4	－	－	－	－
	社会	46	8.7	19.6	19.6	13.0	10.9	6.5	17.4	2.2	－	－	－	－	－	2.2
	体育	38	21.1	28.9	15.8	18.4	2.6	－	5.3	－	－	2.6	－	－	－	5.3
	音楽	17	11.8	5.9	5.9	23.5	41.2	－	5.9	－	－	－	－	－	－	5.9
	図工	26	3.8	19.2	65.4	7.7	3.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	家庭	15	－	6.7	－	33.3	13.3	－	6.7	26.7	－	－	－	6.7	－	6.7
	道徳	17	17.6	23.5	11.8	11.8	11.8	－	－	－	5.9	－	－	－	－	17.6
	外国語活動（英語）	37	18.9	16.2	2.7	10.8	10.8	10.8	2.7	2.7	－	－	8.1	2.7	－	13.5
	総合的な学習	25	16.0	20.0	16.0	12.0	12.0	8.0	4.0	4.0	－	－	4.0	－	－	4.0
	その他	14	7.1	14.3	21.4	7.1	7.1	－	－	－	－	－	－	－	14.3	28.6
	将来役に立つと思う科目はない	162	14.8	17.3	9.3	11.1	4.9	0.6	4.3	0.6	－	0.6	－	－	－	36.4

※n=30未満は参考値のため灰色。　※全体の値を基準に降順並び替え

【図 16-2】は、「学校の授業で将来役に立つと思う科目」に選んだ教科ごとに、「好きな科目」の内訳を調べた結果である。

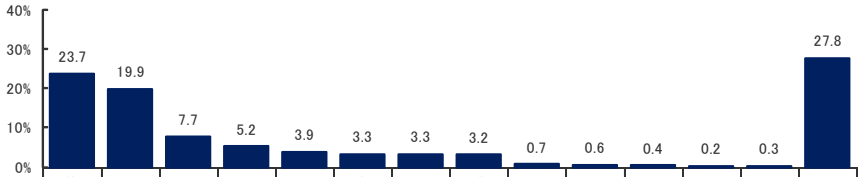
「算数」(38.6%) は「役に立つ」し「好き」であると答えた小学生が最も多いことが分かった。また、次いで「体育」(28.9%)、「国語」(26.4%) となった。この結果から、「将来役に立つ」と思っている子の方が、その科目が好きである割合が高いことが読み取れる。この傾向は、母数は少ないものの「体育」(28.9%)「社会」(17.4%) にも見られる。一方で、「将来役に立つと思う科目はない」と答えている子が「好きな科目はない」と答えている割合は 36.4%いることも明らかになった。

学校で学ぶ科目が必ずしも将来役に立つとは限らないが、役に立つとは思わないけれど「好き」である科目がある児童も少なからずいる。純粋にその科目自体に面白みを見出していることの背景には、関わりのある教師や教材を含めた周囲の環境の働きかけが活きているのかもしれない。

将来役に立つと思う科目と嫌いな科目の関係

「算数」と「国語」は二項対立的

【図 16-3】将来役立つと思う科目×嫌いな科目［クロス集計］



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		n=	算数	国語	体育	社会	理科	音楽	図工	道徳	家庭	総合的な学習	生活	外国語活動（英語）	その他	好きな科目、嫌いな科目はない
全体		1,200	23.7	19.9	7.7	5.2	3.9	3.3	3.3	3.2	0.7	0.6	0.4	0.2	0.3	27.8
学校の授業で将来役に立つと思う科目	国語	299	33.1	13.0	11.7	9.0	5.0	1.3	2.0	2.7	1.7	－	－	－	0.3	20.1
	算数	459	13.9	28.3	6.1	5.0	3.5	5.4	4.1	3.5	0.7	0.7	0.4	0.4	－	27.9
	生活	16	31.3	25.0	18.8	－	－	12.5	－	6.3	－	－	－	－	－	6.3
	理科	29	6.9	31.0	10.3	3.4	－	10.3	6.9	3.4	－	－	－	－	－	27.6
	社会	46	37.0	15.2	8.7	2.2	4.3	2.2	6.5	4.3	－	4.3	－	－	2.2	13.0
	体育	38	31.6	10.5	－	5.3	2.6	2.6	13.2	10.5	－	5.3	－	－	－	18.4
	音楽	17	41.2	5.9	17.6	－	11.8	－	－	－	－	－	－	－	－	23.5
	図工	26	42.3	19.2	7.7	－	－	7.7	－	3.8	－	－	7.7	－	－	11.5
	家庭	15	46.7	13.3	13.3	6.7	6.7	－	6.7	－	－	－	－	－	－	6.7
	道徳	17	23.5	17.6	11.8	－	5.9	－	－	－	－	－	－	－	－	41.2
	外国語活動（英語）	37	29.7	16.2	－	8.1	13.5	－	2.7	2.7	－	－	－	－	－	27.0
	総合的な学習	25	32.0	8.0	16.0	4.0	4.0	－	－	4.0	－	－	－	－	－	32.0
	その他	14	14.3	14.3	7.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7.1	57.1
	将来役に立つと思う科目はない	162	21.6	15.4	3.1	1.9	1.9	0.6	1.2	1.9	－	－	0.6	－	0.6	51.2

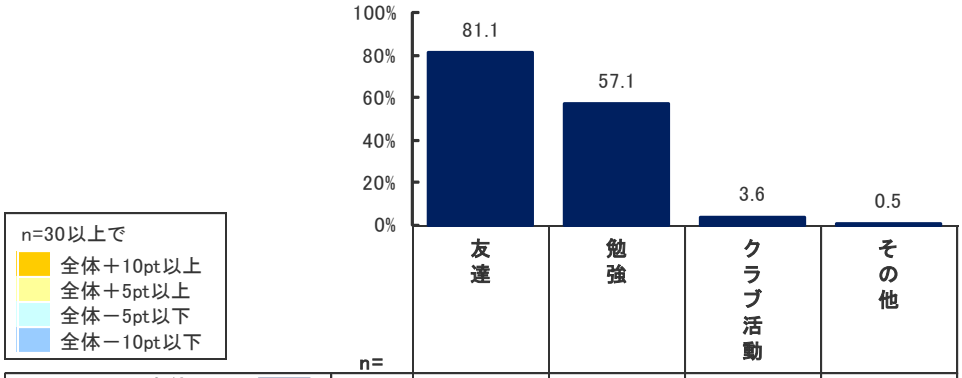
※n=30未満は参考値のため灰色。　※全体の値を基準に降順並び替え

「将来役立つと思う科目」と「嫌いな科目」の関係を調べた結果が【図 16-3】である。ここから、「将来役立つと思う科目」として「社会」を選んだ子は「算数」が嫌いである割合（37.0%）が高いことが明らかになった。このことは、「国語」や「体育」、「外国語活動（英語）」を選んだ子にも同様のことが言える。また、「将来役に立つと思う科目」として「算数」を選んだ子は「嫌いな科目」として「国語」を選ぶ割合が高く、一方で「将来役に立つと思う科目」で「国語」選んだ子は「嫌いな科目」として「算数」を選んでいることが分かった。ここでも文系と理系という括りの二項対立が見られるが、そもそもそのような括りで科目を分けた見方をすること自体が、小学生の抱くイメージに影響を与えている可能性も考えられる。相互に関係していない科目はなく、1 つの教科で学ぶことは他の全ての教科で活かせると考える姿勢を大切にしていく必要があるのかもしれない。

学校生活で大切だと思うもの

学校生活の中で一番大切なのは、「友達」！

【図 17】あなたが、学校生活の中で一番大切だと思うものは何ですか。2 つまで選んでください。



		n=	友達	勉強	クラブ活動	その他
全体		1,200	81.1	57.1	3.6	0.5
性学年別	男子・小学1年生	100	83.0	53.0	－	－
	男子・小学2年生	100	82.0	65.0	4.0	－
	男子・小学3年生	100	84.0	51.0	3.0	1.0
	男子・小学4年生	100	76.0	57.0	7.0	2.0
	男子・小学5年生	100	80.0	57.0	7.0	－
	男子・小学6年生	100	81.0	50.0	8.0	－
	女子・小学1年生	100	76.0	65.0	1.0	－
	女子・小学2年生	100	87.0	59.0	－	2.0
	女子・小学3年生	100	83.0	58.0	2.0	1.0
	女子・小学4年生	100	74.0	57.0	5.0	－
	女子・小学5年生	100	82.0	54.0	3.0	－
	女子・小学6年生	100	85.0	59.0	3.0	－
学年別（男女計）	小学1年生	200	79.5	59.0	0.5	－
	小学2年生	200	84.5	62.0	2.0	1.0
	小学3年生	200	83.5	54.5	2.5	1.0
	小学4年生	200	75.0	57.0	6.0	1.0
	小学5年生	200	81.0	55.5	5.0	－
	小学6年生	200	83.0	54.5	5.5	－

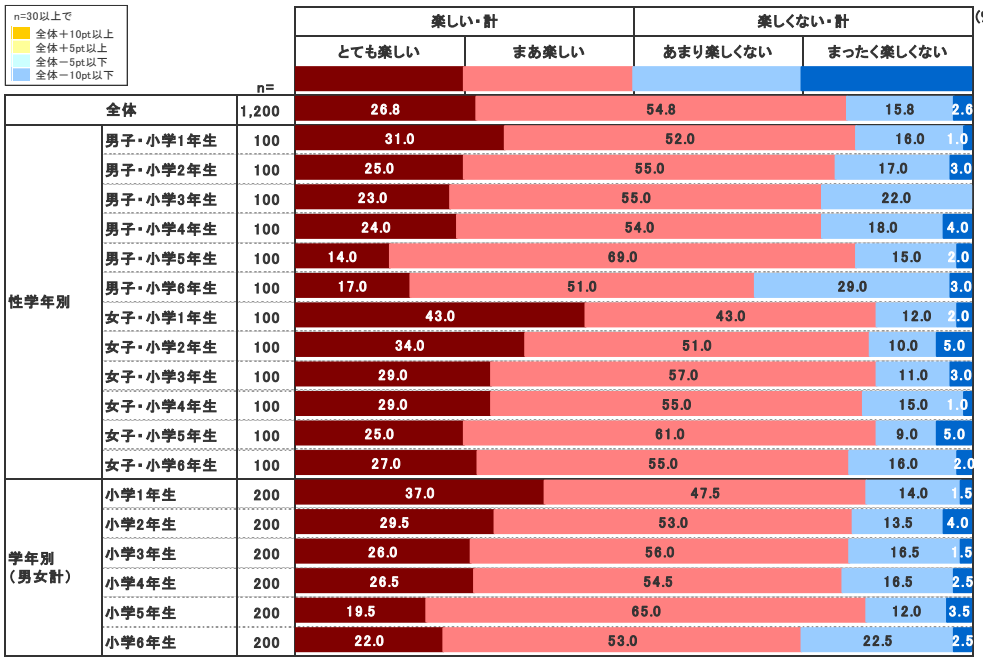
※全体の値を基準に降順並び替え

小学生が学校生活の中で一番大切だと思っているものは、何だろうか。全体で最も割合が高かったのは「友達」（81.1%）であった。男女・学年別にみると、とくに 2 年生女子が 87.0%と最も高い。次に重要視されているのは「勉強」（57.1%）で、2 年生男子と 1 年生女子が 65.0%と高く、一方で 6 年生男子が 50.0%と最も低い結果となった。「クラブ活動」の割合は低く、3.6%と一桁台であった。1～3 年生の割合が低いなのは、学校でのクラブ活動が本格的に始まっていないことが考えられる。

学校の勉強が楽しいか

学校の勉強が楽しいと考えているのは、全体の 81.6%！

【図 18】あなたは、学校の勉強が楽しいですか。



		n=	とても楽しい	まあ楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	楽しい・計	楽しくない・計
全体		1,200	26.8	54.8	15.8	2.6	81.6	18.4
性学年別	男子・小学1年生	100	31.0	52.0	16.0	1.0	83.0	17.0
	男子・小学2年生	100	25.0	55.0	17.0	3.0	80.0	20.0
	男子・小学3年生	100	23.0	55.0	22.0		78.0	22.0
	男子・小学4年生	100	24.0	54.0	18.0	4.0	78.0	22.0
	男子・小学5年生	100	14.0	69.0	15.0	2.0	83.0	17.0
	男子・小学6年生	100	17.0	51.0	29.0	3.0	68.0	32.0
	女子・小学1年生	100	43.0	43.0	12.0	2.0	86.0	14.0
	女子・小学2年生	100	34.0	51.0	10.0	5.0	85.0	15.0
	女子・小学3年生	100	29.0	57.0	11.0	3.0	86.0	14.0
	女子・小学4年生	100	29.0	55.0	15.0	1.0	84.0	16.0
	女子・小学5年生	100	25.0	61.0	9.0	5.0	86.0	14.0
	女子・小学6年生	100	27.0	55.0	16.0	2.0	82.0	18.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	37.0	47.5	14.0	1.5	84.5	15.5
	小学2年生	200	29.5	53.0	13.5	4.0	82.5	17.5
	小学3年生	200	26.0	56.0	16.5	1.5	82.0	18.0
	小学4年生	200	26.5	54.5	16.5	2.5	81.0	19.0
	小学5年生	200	19.5	65.0	12.0	3.5	84.5	15.5
	小学6年生	200	22.0	53.0	22.5	2.5	75.0	25.0

小学生は、学校の勉強を楽しいと感じているのだろうか。「とても楽しい」「まあ楽しい」を合わせた「楽しい・計」でみると、全体では 81.6%となった。全体的に、男子より女子の方がやや「楽しい」と答える率が高いことも見てとれる。一方で「楽しくない・計」と感じているのは 18.4%であり、各学年で約 10 人に 1 人が「楽しくない」と感じていることになる。男女とも小学 6 年生で「楽しい・計」の数値が下がっているが、男子の方が顕著である。

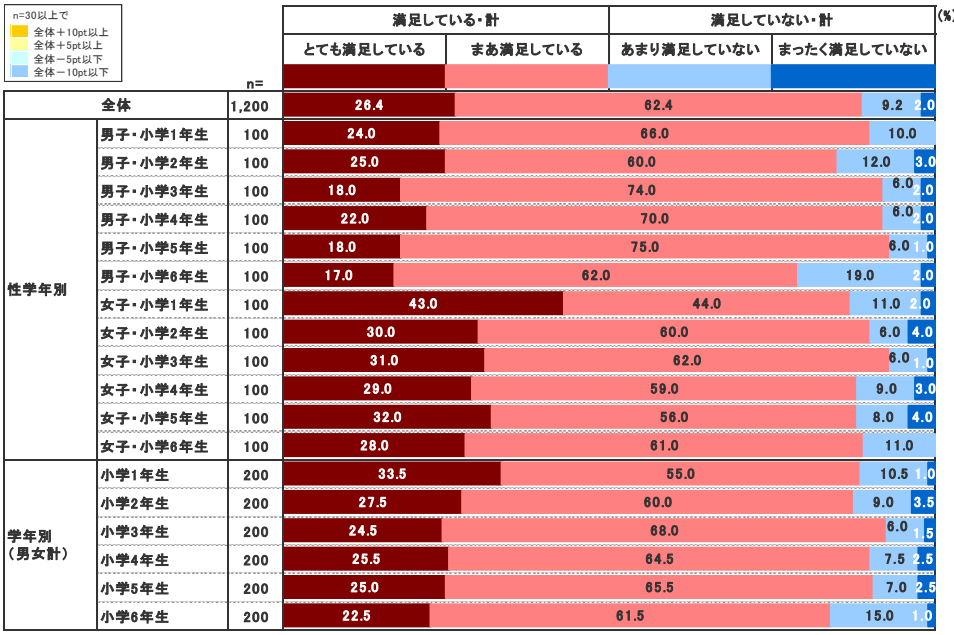
内閣府による調査[11]「平成 25 年度 小学生・中学生の意識に関する調査」の「学校の授業がよくわかっている」という質問に対しては、「学校の授業がよくわかっている」に「あてはまる」と答えた小学生は 95.0%であった。「わからない」（5.0%）は数値としては低く見えるが、40 人学級の中に 1～2 人「わからない」「学校の授業が全く楽しくない」と思っている子がいるというのは看過できない点である。

[11]内閣府、「平成 25 年度 小学生・中学生の意識に関する調査」、2014 年 7 月
http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h25/junior/pdf_index.html

学校に満足しているか

学校への満足度は全体で 88.8％！

【図 19】あなたは、学校に満足していますか。



			満足している・計	満足していない・計
全体		1,200	88.8	11.2
性学年別	男子・小学1年生	100	90.0	10.0
	男子・小学2年生	100	85.0	15.0
	男子・小学3年生	100	92.0	8.0
	男子・小学4年生	100	92.0	8.0
	男子・小学5年生	100	93.0	7.0
	男子・小学6年生	100	79.0	21.0
	女子・小学1年生	100	87.0	13.0
	女子・小学2年生	100	90.0	10.0
	女子・小学3年生	100	93.0	7.0
	女子・小学4年生	100	88.0	12.0
	女子・小学5年生	100	88.0	12.0
	女子・小学6年生	100	89.0	11.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	88.5	11.5
	小学2年生	200	87.5	12.5
	小学3年生	200	92.5	7.5
	小学4年生	200	90.0	10.0
	小学5年生	200	90.5	9.5
	小学6年生	200	84.0	16.0

子どもたちは学校について、どのくらい満足しているのだろうか。「とても満足している」「まあ満足している」を合わせた「満足している」は、全体で 88.8％である。

男子では、5 年生（93.0％）が最も高く、6 年生（79.0％）が最も低い。「とても満足している」では、1 年生女子が 43.0％と突出しており、全体的に女子は男子よりも満足度が高い。

6. 読書について

本（1 か月に読む冊数）

1 か月に 1 冊も本を読まない子が年々増加

【図 20】あなたは 1 か月の間に何冊くらい本を読みますか。

(%)

		n=	20冊以上	10～19冊	5～9冊	3～4冊	2冊	1冊	読まない	平均（冊）	中央値
全体		1,200	5.3	11.3	13.7	12.1	11.8	19.8	25.9	4.3	2.0
性学年別	男子・小学1年生	100	4.0	11.0	11.0	6.0	13.0	18.0	37.0	3.6	1.0
	男子・小学2年生	100	7.0	13.0	16.0	10.0	6.0	23.0	25.0	4.7	2.0
	男子・小学3年生	100	3.0	11.0	7.0	12.0	17.0	23.0	27.0	3.2	1.5
	男子・小学4年生	100	1.0	12.0	12.0	11.0	14.0	21.0	29.0	3.1	1.5
	男子・小学5年生	100	3.0	7.0	8.0	12.0	9.0	28.0	33.0	3.7	1.0
	男子・小学6年生	100	3.0	3.0	9.0	7.0	11.0	28.0	39.0	2.3	1.0
	女子・小学1年生	100	9.0	14.0	21.0	15.0	13.0	11.0	17.0	5.6	3.0
	女子・小学2年生	100	4.0	15.0	13.0	20.0	11.0	13.0	24.0	4.5	3.0
	女子・小学3年生	100	9.0	11.0	20.0	17.0	7.0	18.0	18.0	6.3	3.0
	女子・小学4年生	100	6.0	17.0	19.0	11.0	14.0	14.0	19.0	5.4	3.0
	女子・小学5年生	100	9.0	13.0	10.0	13.0	9.0	22.0	24.0	5.1	2.0
	女子・小学6年生	100	6.0	9.0	18.0	11.0	18.0	19.0	19.0	4.7	2.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	6.5	12.5	16.0	10.5	13.0	14.5	27.0	4.6	2.0
	小学2年生	200	5.5	14.0	14.5	15.0	8.5	18.0	24.5	4.6	2.0
	小学3年生	200	6.0	11.0	13.5	14.5	12.0	20.5	22.5	4.8	2.0
	小学4年生	200	3.5	14.5	15.5	11.0	14.0	17.5	24.0	4.2	2.0
	小学5年生	200	6.0	10.0	9.0	12.5	9.0	25.0	28.5	4.4	1.0
	小学6年生	200	4.5	6.0	13.5	9.0	14.5	23.5	29.0	3.5	1.0

過去の同調査と比較すると、小学生の読書量は減少傾向が続いているようだ。「1 か月に読む本の平均」は、小学生全体で 4.3 冊。2014 年 9 月調査では 5.6 冊、2015 年 10 月調査[12]では 4.9 冊であり、今回の調査ではさらに 0.6 冊分減少した。男女別に集計すると、1～6 年男子は 3.4 冊、1～6 年生女子は 5.3 冊で、女子の方が読んでいる冊数が多い。また、男子では 2 年生の 4.7 冊をピークに、6 年生の 2.3 冊まで学年を経るごとに顕著に減少していることは注目に値する。

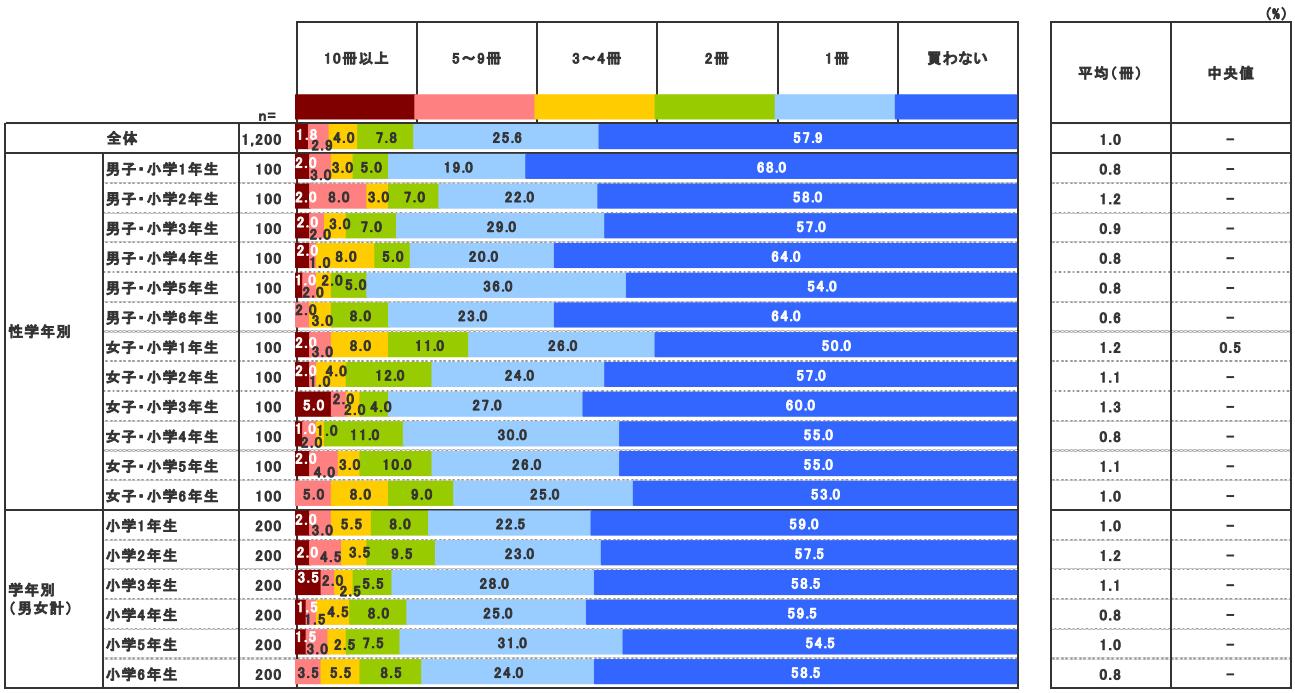
「月に 1 冊も読まない」と回答した子の割合は全体で 25.9%となった。2014 年 9 月調査では 15.4%、2015 年 10 月調査では 21.0%であり、今回はさらに 4.9 ポイント増加した。本を全く読まない小学生の割合が年々急速に増加していることが見受けられる。

[12]学研教育総合研究所、“5. 読書について　本（一か月に読む冊数）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter5/01.html

本（1 か月の購入冊数）

購入冊数は微減。過半数は全く本を購入しない

【図 21】あなたは 1 か月の間に何冊くらい本を買いますか。



		n=	10冊以上	5～9冊	3～4冊	2冊	1冊	買わない	平均（冊）	中央値
全体		1,200	1.8	2.9	4.0	7.8	25.6	57.9	1.0	－
性学年別	男子・小学1年生	100	2.0	3.0	3.0	5.0	19.0	68.0	0.8	－
	男子・小学2年生	100	2.0	8.0	3.0	7.0	22.0	58.0	1.2	－
	男子・小学3年生	100	2.0	2.0	3.0	7.0	29.0	57.0	0.9	－
	男子・小学4年生	100	2.0	1.0	8.0	5.0	20.0	64.0	0.8	－
	男子・小学5年生	100	1.0	2.0	2.0	5.0	36.0	54.0	0.8	－
	男子・小学6年生	100	2.0	3.0	8.0		23.0	64.0	0.6	－
	女子・小学1年生	100	2.0	3.0	8.0	11.0	26.0	50.0	1.2	0.5
	女子・小学2年生	100	2.0	1.0	4.0	12.0	24.0	57.0	1.1	－
	女子・小学3年生	100	5.0		2.0	2.0	4.0	27.0	60.0	1.3	－
	女子・小学4年生	100	1.0	2.0	1.0	11.0	30.0	55.0	0.8	－
	女子・小学5年生	100	2.0	4.0	3.0	10.0	26.0	55.0	1.1	－
	女子・小学6年生	100		5.0	8.0	9.0	25.0	53.0	1.0	－
学年別（男女計）	小学1年生	200	2.0	3.0	5.5	8.0	22.5	59.0	1.0	－
	小学2年生	200	2.0	4.5	3.5	9.5	23.0	57.5	1.2	－
	小学3年生	200	3.5	2.0	2.5	5.5	28.0	58.5	1.1	－
	小学4年生	200	1.5	1.5	4.5	8.0	25.0	59.5	0.8	－
	小学5年生	200	1.5	3.0	2.5	7.5	31.0	54.5	1.0	－
	小学6年生	200		3.5	5.5	8.5	24.0	58.5	0.8	－

1 か月に買う本の平均冊数は全体では 1.0 冊で、2015 年 10 月調査[13]の 1.1 冊から 0.1 冊減少した。学年による差は各学年で 0.5 冊程度となった。

一方、「買わない」という回答が各学年で 54.5%～59.5%となった。過半数の子は、1 か月に 1 冊も本を購入しないようだ。

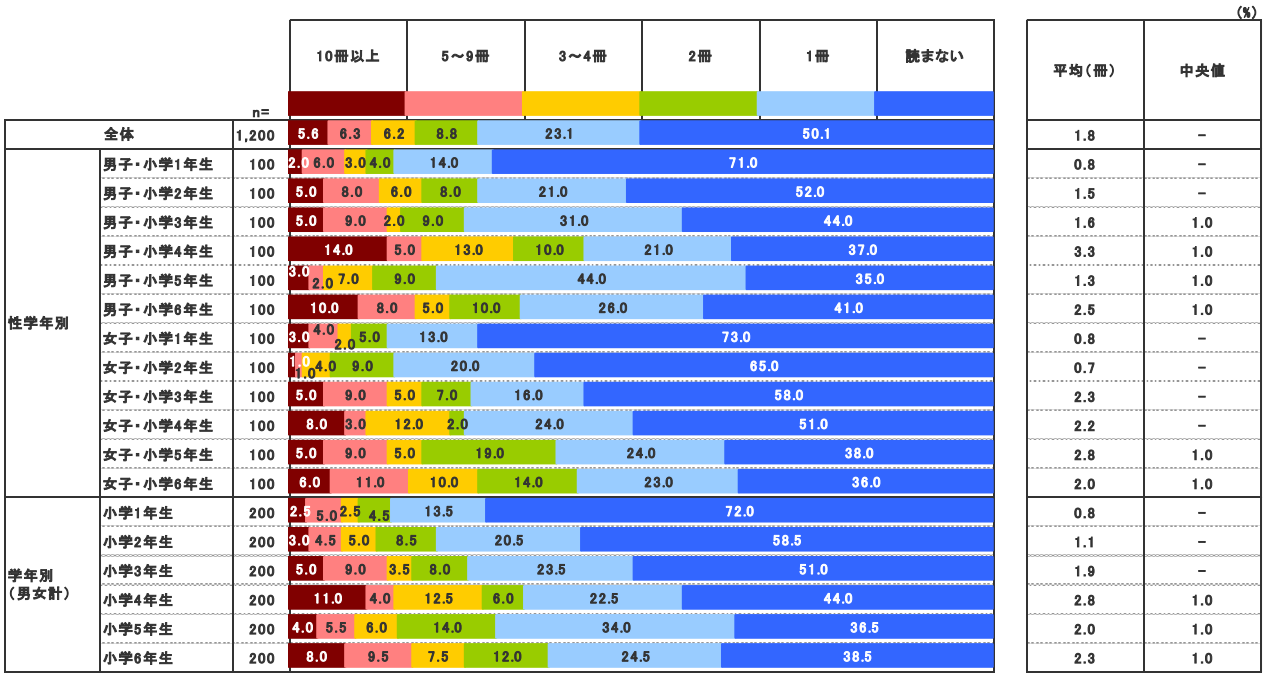
男女別に集計すると、男子は平均 0.85 冊、女子は 1.1 冊となっている。前の設問にある読書量と同様、女子の方がやや多いという結果になった。

[13]学研教育総合研究所、“5. 読書について　本（一か月の購入冊数）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter5/02.html

漫画（1 か月に読む冊数）

漫画を読む量も減少傾向

【図 22】あなたは 1 か月の間に何冊くらい漫画（単行本・雑誌）を読みますか。



		n=	10冊以上	5～9冊	3～4冊	2冊	1冊	読まない	平均（冊）	中央値
全体		1,200	5.6	6.3	6.2	8.8	23.1	50.1	1.8	－
性学年別	男子・小学1年生	100	2.0	6.0	3.0	4.0	14.0	71.0	0.8	－
	男子・小学2年生	100	5.0	8.0	6.0	8.0	21.0	52.0	1.5	－
	男子・小学3年生	100	5.0	9.0	2.0	9.0	31.0	44.0	1.6	1.0
	男子・小学4年生	100	14.0	5.0	13.0	10.0	21.0	37.0	3.3	1.0
	男子・小学5年生	100	3.0	2.0	7.0	9.0	44.0	35.0	1.3	1.0
	男子・小学6年生	100	10.0	8.0	5.0	10.0	26.0	41.0	2.5	1.0
	女子・小学1年生	100	3.0	4.0	2.0	5.0	13.0	73.0	0.8	－
	女子・小学2年生	100	1.0	1.0	4.0	9.0	20.0	65.0	0.7	－
	女子・小学3年生	100	5.0	9.0	5.0	7.0	16.0	58.0	2.3	－
	女子・小学4年生	100	8.0	3.0	12.0	2.0	24.0	51.0	2.2	－
	女子・小学5年生	100	5.0	9.0	5.0	19.0	24.0	38.0	2.8	1.0
	女子・小学6年生	100	6.0	11.0	10.0	14.0	23.0	36.0	2.0	1.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	2.5	5.0	2.5	4.5	13.5	72.0	0.8	－
	小学2年生	200	3.0	4.5	5.0	8.5	20.5	58.5	1.1	－
	小学3年生	200	5.0	9.0	3.5	8.0	23.5	51.0	1.9	－
	小学4年生	200	11.0	4.0	12.5	6.0	22.5	44.0	2.8	1.0
	小学5年生	200	4.0	5.5	6.0	14.0	34.0	36.5	2.0	1.0
	小学6年生	200	8.0	9.5	7.5	12.0	24.5	38.5	2.3	1.0

小学生が 1 か月に読む漫画の全体平均は 1.8 冊で、2015 年 10 月調査の 2.1 冊から 0.3 冊減少した。2015 年 10 月調査[14]では設問に「雑誌」を含めることを明記していなかったため、今回は平均値が上昇することが考えられたものの、予想に反する結果となった。読書離れは漫画にも及んでいるといえる。

1 か月に 1 冊も漫画を読まない小学生は、2015 年同調査の 48.8%から 1.3 ポイント上昇し、50.1%となった。参考までに、3 大少年誌（「ジャンプ」「マガジン」「サンデー」）の発行部数は 1995 年の約 1228 万部をピークとして、2016 年には約 355 万部と、ピーク時のおよそ 3 割程度まで減少している。[15]

[14]学研教育総合研究所、“5. 読書について　まんが（一か月に読む冊数）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter5/03.html

[15]一般社団法人日本雑誌協会（http://www.j-magazine.or.jp/magadata/?module=list&action=list）

漫画（1 かの購入冊数）

過半数の小学生は 1 か月に 1 冊も購入しない

【図 23】あなたは 1 か月の間に何冊くらい漫画（単行本・雑誌）を買いますか。

(%)

		n=	3冊以上	2冊	1冊	買わない	平均（冊）	中央値
全体		1,200	5.1	4.4	24.0	66.5	0.6	－
性学年別	男子・小学1年生	100	5.0	3.0	13.0	79.0	0.4	－
	男子・小学2年生	100	4.0	5.0	23.0	68.0	0.5	－
	男子・小学3年生	100	6.0	6.0	28.0	60.0	0.7	－
	男子・小学4年生	100	10.0	7.0	29.0	54.0	0.8	－
	男子・小学5年生	100	3.0	5.0	43.0	49.0	0.7	1.0
	男子・小学6年生	100	5.0	4.0	25.0	66.0	0.5	－
	女子・小学1年生	100	5.0	3.0	13.0	79.0	0.4	－
	女子・小学2年生	100	2.0	2.0	16.0	80.0	0.5	－
	女子・小学3年生	100	2.0	1.0	17.0	80.0	0.3	－
	女子・小学4年生	100	3.0	3.0	25.0	69.0	0.5	－
	女子・小学5年生	100	9.0	10.0	23.0	58.0	0.9	－
	女子・小学6年生	100	7.0	4.0	33.0	56.0	0.6	－
学年別（男女計）	小学1年生	200	5.0	3.0	13.0	79.0	0.4	－
	小学2年生	200	3.0	3.5	19.5	74.0	0.5	－
	小学3年生	200	4.0	3.5	22.5	70.0	0.5	－
	小学4年生	200	6.5	5.0	27.0	61.5	0.6	－
	小学5年生	200	6.0	7.5	33.0	53.5	0.8	－
	小学6年生	200	6.0	4.0	29.0	61.0	0.6	－

平均購入数は 0.6 冊で、2015 年 10 月調査[16]から変化はなかった。漫画をもっとも購入するのは 5 年生という学年のピークも同様だ。「買わない」と回答した子は各学年とも 53.5%～79.0%で、過半数の小学生は 1 か月に 1 冊も漫画を購入していない。

[16]学研教育総合研究所、“5. 読書について　まんが（一か月の購入冊数）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter5/04.html

電子書籍（1 か月に読む冊数）

電子書籍普及率は昨年から微増に留まる

【図 24】あなたは 1 か月の間に電子書籍で、本、漫画本、雑誌を何冊くらい読みますか。

（%）

		n=	1冊以上	読まない	平均（冊）	中央値
全体		1,200	7.7	92.3	0.3	－
性学年別	男子・小学1年生	100	6.0	94.0	0.1	－
	男子・小学2年生	100	11.0	89.0	0.7	－
	男子・小学3年生	100	5.0	95.0	0.1	－
	男子・小学4年生	100	8.0	92.0	0.2	－
	男子・小学5年生	100	8.0	92.0	0.1	－
	男子・小学6年生	100	1.0	99.0	0.0	－
	女子・小学1年生	100	12.0	88.0	0.5	－
	女子・小学2年生	100	9.0	91.0	0.6	－
	女子・小学3年生	100	4.0	96.0	0.3	－
	女子・小学4年生	100	6.0	94.0	0.1	－
	女子・小学5年生	100	7.0	93.0	0.1	－
	女子・小学6年生	100	15.0	85.0	0.9	－
学年別（男女計）	小学1年生	200	9.0	91.0	0.3	－
	小学2年生	200	10.0	90.0	0.6	－
	小学3年生	200	4.5	95.5	0.2	－
	小学4年生	200	7.0	93.0	0.1	－
	小学5年生	200	7.5	92.5	0.1	－
	小学6年生	200	8.0	92.0	0.4	－

1 か月の平均数は 0.3 冊、電子書籍を「読まない」と回答した子が全ての学年で 90%以上に上った。ただし、2015 年 10 月調査[17]では、1 か月に 1 冊以上電子書籍を読む子が 10%を超えたのは 6 年生女子のみだったのに対して、今回は 6 年生女子に加え、2 年生男子、1 年生女子も 10%を超えている。定額制の電子書籍配信サービスなども登場していることから、保護者の電子書籍利用率の上昇にともなって小学生も電子書籍に触れる機会が増える可能性がある。今後も調査を継続していく必要があるだろう。

[17]学研教育総合研究所、“5. 読書について　電子書籍（一か月に読む冊数）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter5/05.html

電子書籍（1 か月の購入冊数）

購入冊数は昨年から増加なし

【図 25】あなたは 1 か月の間に電子書籍で、本、漫画本、雑誌を何冊くらい買いますか。

(%)

		n=	1冊以上	買わない	平均（冊）	中央値
全体		1,200	5.3	94.7	0.1	－
性学年別	男子・小学1年生	100	3.0	97.0	0.0	－
	男子・小学2年生	100	8.0	92.0	0.1	－
	男子・小学3年生	100	3.0	97.0	0.1	－
	男子・小学4年生	100	7.0	93.0	0.1	－
	男子・小学5年生	100	7.0	93.0	0.1	－
	男子・小学6年生	100	1.0	99.0	0.0	－
	女子・小学1年生	100	9.0	91.0	0.3	－
	女子・小学2年生	100	7.0	93.0	0.2	－
	女子・小学3年生	100	1.0	99.0	0.1	－
	女子・小学4年生	100	4.0	96.0	0.1	－
	女子・小学5年生	100	4.0	96.0	0.1	－
	女子・小学6年生	100	10.0	90.0	0.4	－
学年別（男女計）	小学1年生	200	6.0	94.0	0.2	－
	小学2年生	200	7.5	92.5	0.2	－
	小学3年生	200	2.0	98.0	0.1	－
	小学4年生	200	5.5	94.5	0.1	－
	小学5年生	200	5.5	94.5	0.1	－
	小学6年生	200	5.5	94.5	0.2	－

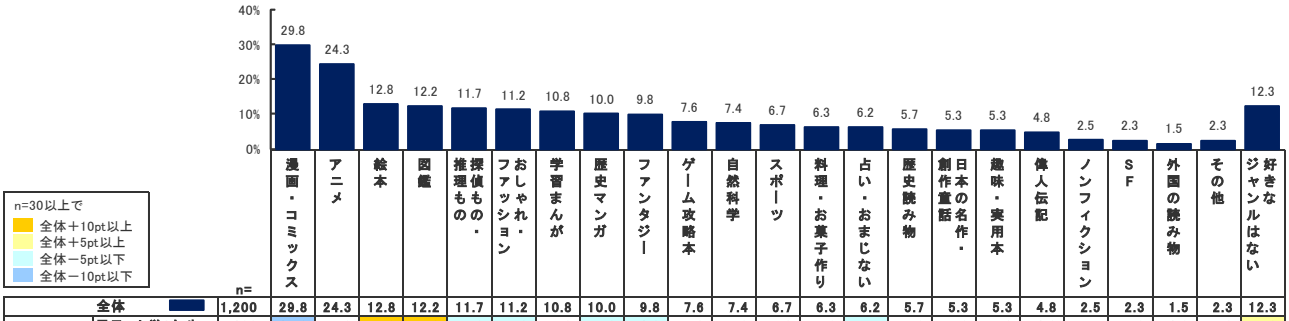
小学生全体の 1 か月の平均購入冊数は 0.1 冊で、前の設問（電子書籍を 1 か月に読む冊数）と同じく、平均の冊数は 2015 年 10 月調査[18]と同様だった。

[18]学研教育総合研究所、“5. 読書について　電子書籍（一か月の購入冊数）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter5/06.html

好きな本・雑誌のジャンル

「ゲーム攻略本」の順位が急落

【図 26】あなたが好きな本・雑誌のジャンルは何ですか。以下の中から当てはまるものを 3 つまで選んでください。



		n=	漫画・コミックス	アニメ	絵本	図鑑	探偵もの・推理もの	おしゃれ・ファッション	学習まんが	歴史マンガ	ファンタジー	ゲーム攻略本	自然科学	スポーツ	料理・お菓子作り	占い・おまじない	歴史読み物	日本の名作・創作童話	趣味・実用本	偉人伝記	ノンフィクション	SF	外国の読み物	その他	好きなジャンルはない
	全体	1,200	29.8	24.3	12.8	12.2	11.7	11.2	10.8	10.0	9.8	7.6	7.4	6.7	6.3	6.2	5.7	5.3	5.3	4.8	2.5	2.3	1.5	2.3	12.3
性学年別	男子・小学1年生	100	16.0	23.0	24.0	23.0	4.0	4.0	9.0	5.0	1.0	5.0	8.0	4.0	2.0	－	4.0	4.0	4.0	1.0	－	3.0	1.0	5.0	22.0
	男子・小学2年生	100	29.0	25.0	23.0	25.0	8.0	1.0	13.0	8.0	6.0	13.0	14.0	4.0	－	－	6.0	6.0	4.0	4.0	2.0	1.0	2.0	5.0	12.0
	男子・小学3年生	100	34.0	31.0	8.0	19.0	6.0	2.0	14.0	13.0	5.0	15.0	12.0	11.0	1.0	－	4.0	3.0	4.0	6.0	1.0	4.0	－	2.0	12.0
	男子・小学4年生	100	33.0	32.0	2.0	15.0	17.0	2.0	11.0	20.0	1.0	17.0	9.0	11.0	－	－	7.0	3.0	3.0	5.0	2.0	4.0	1.0	3.0	11.0
	男子・小学5年生	100	33.0	27.0	2.0	10.0	10.0	1.0	11.0	20.0	5.0	15.0	7.0	18.0	－	－	8.0	1.0	9.0	3.0	2.0	4.0	1.0	2.0	17.0
	男子・小学6年生	100	41.0	24.0	2.0	4.0	8.0	－	9.0	21.0	3.0	14.0	7.0	17.0	1.0	1.0	15.0	1.0	8.0	8.0	1.0	4.0	2.0	－	13.0
	女子・小学1年生	100	13.0	21.0	34.0	14.0	4.0	21.0	10.0	6.0	8.0	1.0	4.0	5.0	11.0	6.0	2.0	14.0	4.0	1.0	3.0	－	－	3.0	11.0
	女子・小学2年生	100	14.0	25.0	25.0	9.0	13.0	19.0	9.0	4.0	12.0	2.0	9.0	1.0	10.0	15.0	－	8.0	4.0	2.0	7.0	1.0	1.0	1.0	14.0
	女子・小学3年生	100	32.0	21.0	22.0	10.0	15.0	19.0	16.0	4.0	14.0	1.0	7.0	5.0	13.0	16.0	－	7.0	3.0	8.0	2.0	1.0	2.0	3.0	7.0
	女子・小学4年生	100	34.0	18.0	6.0	10.0	21.0	16.0	10.0	8.0	21.0	4.0	4.0	3.0	15.0	12.0	9.0	7.0	6.0	9.0	1.0	－	2.0	1.0	9.0
	女子・小学5年生	100	36.0	31.0	5.0	5.0	15.0	19.0	11.0	4.0	22.0	3.0	5.0	1.0	13.0	11.0	5.0	6.0	6.0	6.0	2.0	4.0	4.0	2.0	12.0
	女子・小学6年生	100	42.0	14.0	1.0	2.0	19.0	30.0	6.0	7.0	20.0	1.0	3.0	－	10.0	13.0	8.0	4.0	8.0	5.0	7.0	2.0	2.0	－	8.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	14.5	22.0	29.0	18.5	4.0	12.5	9.5	5.5	4.5	3.0	6.0	4.5	6.5	3.0	3.0	9.0	4.0	1.0	1.5	1.5	0.5	4.0	16.5
	小学2年生	200	21.5	25.0	24.0	17.0	10.5	10.0	11.0	6.0	9.0	7.5	11.5	2.5	5.0	7.5	3.0	7.0	4.0	3.0	4.5	1.0	1.5	3.0	13.0
	小学3年生	200	33.0	26.0	15.0	14.5	10.5	10.5	15.0	8.5	9.5	8.0	9.5	8.0	7.0	8.0	2.0	5.0	3.5	7.0	1.5	2.5	1.0	2.5	9.5
	小学4年生	200	33.5	25.0	4.0	12.5	19.0	9.0	10.5	14.0	11.0	10.5	6.5	7.0	7.5	6.0	8.0	5.0	4.5	7.0	1.5	2.0	1.5	2.0	10.0
	小学5年生	200	34.5	29.0	3.5	7.5	12.5	10.0	11.0	12.0	13.5	9.0	6.0	9.5	6.5	5.5	6.5	3.5	7.5	4.5	2.0	4.0	2.5	2.0	14.5
	小学6年生	200	41.5	19.0	1.5	3.0	13.5	15.0	7.5	14.0	11.5	7.5	5.0	8.5	5.5	7.0	11.5	2.5	8.0	6.5	4.0	3.0	2.0	－	10.5

※全体の値を基準に降順並び替え

小学生が好きな本・雑誌のジャンルは、1 位「漫画・コミックス」（29.8%）、2 位「アニメ」（24.3%）、3 位「絵本」（12.8%）、4 位「図鑑」（12.2%）、5 位「探偵もの・推理もの」（11.7%）と続く。

大きな変化として、2015 年 10 月調査[19]では 3 位だった「ゲーム攻略本」（7.6%）は今回 10 位と大きく順位を下げた。スマートフォン向けのライトなゲームの台頭や、本を買わなくても Web サイトから情報を得ることができるようになったことで、小学生のニーズ、あるいは出版点数にも変化があったのかもしれない。

男女別で見ると好みが異なるのは過去の調査と同様だが、2015 年 10 月調査と比較して、「絵本」が好きかどうかという点で男女の差が小さくなっているようだ。2015 年 10 月調査では男子で「絵本」のポイントが 1 年生から 2 年生にかけて急激に低下（2015 年調査　1 年 26.0%→2 年 11.0%）していたものの、今年の調査では 1 ポイントの低下に留まっており、女子の学年別とより近い分布になっている。

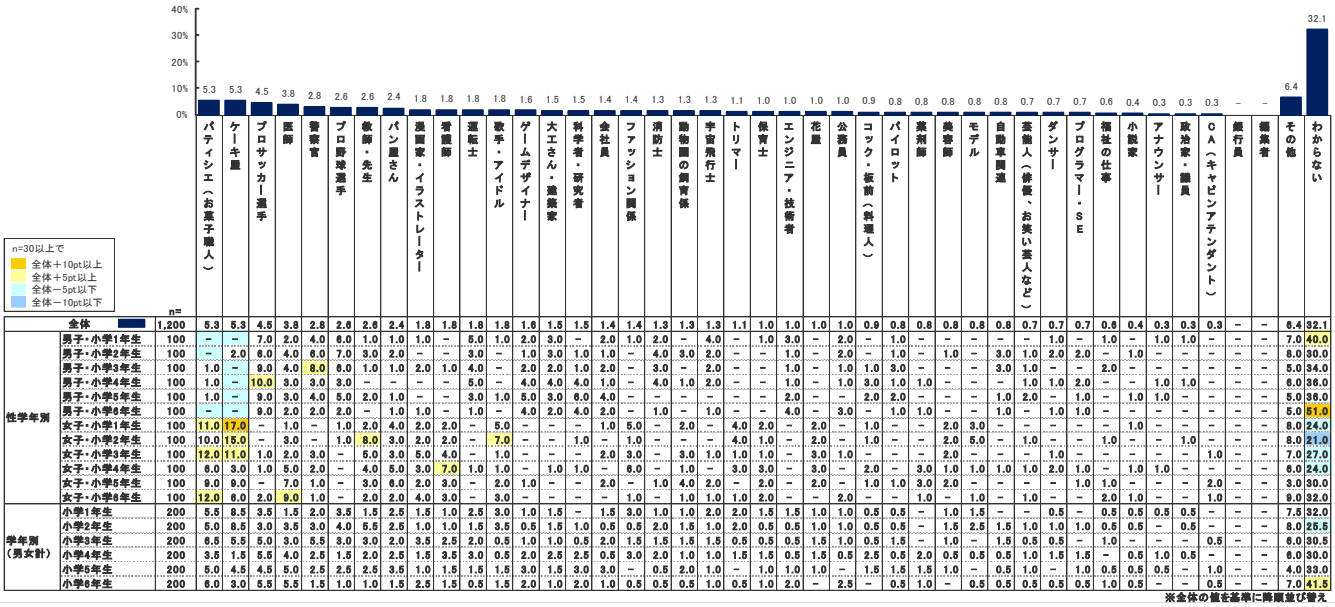
[19]学研教育総合研究所、“5. 読書について　好きな本・雑誌のジャンル”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter5/07.html

7．将来について

将来つきたい職業（全体ランキング）

将来つきたい職業トップは「パティシエ」。新たな時代の職業に関心も。

【図 27-1】あなたが、将来つきたいなと思う職業（仕事）を教えてください。以下の中から当てはまるものを１つ選んでください。



		n=	パティシエ（お菓子職人）	ケーキ屋	プロサッカー選手	医師	警察官	プロ野球選手	教師・先生	パン屋さん	漫画家・イラストレーター	看護師	運転士	歌手・アイドル	ゲームデザイナー	大工さん・建築家	科学者・研究者	会社員	ファッション関係	消防士	動物園の飼育係	宇宙飛行士	トリマー	保育士	エンジニア・技術者	花屋	公務員	コック・板前（料理人）	パイロット	薬剤師	美容師	モデル	自動車関連	芸能人（俳優、お笑い芸人など）	ダンサー	プログラマー・SE	福祉の仕事	小説家	アナウンサー	政治家・議員	CA（キャビンアテンダント）	銀行員	編集者	その他	わからない
	全体	1,200	5.3	5.3	4.5	3.8	2.8	2.6	2.6	2.4	1.8	1.8	1.8	1.8	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	–	–	6.4	32.1
性学年別	男子・小学1年生	100	–	–	7.0	2.0	4.0	6.0	1.0	1.0	1.0	–	5.0	1.0	2.0	3.0	–	2.0	1.0	2.0	–	4.0	–	1.0	3.0	–	2.0	–	1.0	–	–	–	–	–	1.0	–	1.0	–	1.0	1.0	–	–	–	7.0	40.0
	男子・小学2年生	100	–	2.0	6.0	4.0	6.0	7.0	3.0	2.0	–	–	3.0	–	1.0	3.0	1.0	1.0	–	4.0	3.0	2.0	–	–	1.0	–	2.0	–	1.0	–	1.0	–	3.0	1.0	2.0	2.0	–	1.0	–	–	–	–	–	8.0	30.0
	男子・小学3年生	100	1.0	–	9.0	4.0	8.0	6.0	1.0	1.0	2.0	1.0	4.0	–	2.0	2.0	1.0	2.0	–	3.0	–	2.0	–	–	1.0	–	1.0	1.0	3.0	–	–	–	3.0	1.0	–	–	2.0	–	–	–	–	–	–	5.0	34.0
	男子・小学4年生	100	1.0	–	10.0	3.0	3.0	3.0	–	–	–	–	5.0	–	4.0	4.0	4.0	1.0	–	4.0	1.0	2.0	–	–	1.0	–	1.0	3.0	1.0	1.0	–	–	–	1.0	1.0	2.0	–	–	1.0	1.0	–	–	–	6.0	36.0
	男子・小学5年生	100	1.0	–	9.0	3.0	4.0	5.0	2.0	1.0	–	–	3.0	1.0	5.0	3.0	6.0	4.0	–	–	–	–	–	–	2.0	–	–	2.0	2.0	–	–	–	1.0	2.0	–	1.0	–	1.0	1.0	–	–	–	–	5.0	36.0
	男子・小学6年生	100	–	–	9.0	2.0	2.0	2.0	–	1.0	1.0	–	1.0	–	4.0	2.0	4.0	2.0	–	1.0	–	1.0	–	–	4.0	–	3.0	–	1.0	1.0	–	–	1.0	–	1.0	1.0	–	–	–	–	–	–	–	5.0	51.0
	女子・小学1年生	100	11.0	17.0	–	1.0	–	1.0	2.0	4.0	2.0	2.0	–	5.0	–	–	–	1.0	5.0	–	2.0	–	4.0	2.0	–	2.0	–	1.0	–	–	2.0	3.0	–	–	–	–	–	1.0	–	–	–	–	–	8.0	24.0
	女子・小学2年生	100	10.0	15.0	–	3.0	–	1.0	8.0	3.0	2.0	2.0	–	7.0	–	–	1.0	–	1.0	–	–	–	4.0	1.0	–	2.0	–	1.0	–	–	2.0	5.0	–	1.0	–	–	1.0	–	–	1.0	–	–	–	8.0	21.0
	女子・小学3年生	100	12.0	11.0	1.0	2.0	3.0	–	5.0	3.0	5.0	4.0	–	1.0	–	–	–	2.0	3.0	–	3.0	1.0	1.0	1.0	–	3.0	1.0	–	–	–	2.0	–	–	–	1.0	–	–	–	–	–	1.0	–	–	7.0	27.0
	女子・小学4年生	100	6.0	3.0	1.0	5.0	2.0	–	4.0	5.0	3.0	7.0	1.0	1.0	–	1.0	1.0	–	6.0	–	1.0	–	3.0	3.0	–	3.0	–	2.0	–	3.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	–	1.0	1.0	–	–	–	–	–	6.0	24.0
	女子・小学5年生	100	9.0	9.0	–	7.0	1.0	–	3.0	6.0	2.0	3.0	–	2.0	1.0	–	–	2.0	–	1.0	4.0	2.0	–	2.0	–	2.0	–	1.0	1.0	3.0	2.0	–	–	–	1.0	1.0	–	–	–	2.0	–	–	–	3.0	30.0
	女子・小学6年生	100	12.0	6.0	2.0	9.0	1.0	–	2.0	2.0	4.0	3.0	–	3.0	–	–	–	–	1.0	–	1.0	1.0	1.0	2.0	–	–	2.0	–	–	1.0	–	1.0	–	1.0	–	–	2.0	1.0	–	–	1.0	–	–	9.0	32.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	5.5	8.5	3.5	1.5	2.0	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	2.5	3.0	1.0	1.5	–	1.5	3.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5	0.5	–	1.0	1.5	–	–	0.5	–	0.5	0.5	0.5	0.5	–	–	–	7.5	32.0
	小学2年生	200	5.0	8.5	3.0	3.5	3.0	4.0	5.5	2.5	1.0	1.0	1.5	3.5	0.5	1.5	1.0	0.5	0.5	2.0	1.5	1.0	2.0	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	–	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	–	0.5	–	–	–	8.0	25.5
	小学3年生	200	6.5	5.5	5.0	3.0	5.5	3.0	3.0	2.0	3.5	2.5	2.0	0.5	1.0	1.0	0.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	0.5	0.5	0.5	1.5	1.0	0.5	1.5	–	1.0	–	1.5	0.5	0.5	–	1.0	–	–	–	0.5	–	–	6.0	30.5
	小学4年生	200	3.5	1.5	5.5	4.0	2.5	1.5	2.0	2.5	1.5	3.5	3.0	0.5	2.0	2.5	2.5	0.5	3.0	2.0	1.0	1.0	1.5	1.5	0.5	1.5	0.5	2.5	0.5	2.0	0.5	0.5	0.5	1.0	1.5	1.5	–	0.5	1.0	0.5	–	–	–	6.0	30.0
	小学5年生	200	5.0	4.5	4.5	5.0	2.5	2.5	2.5	3.5	1.0	1.5	1.5	1.5	3.0	1.5	3.0	3.0	–	0.5	2.0	1.0	–	1.0	1.0	1.0	–	1.5	1.5	1.5	1.0	–	0.5	1.0	–	1.0	0.5	0.5	0.5	–	1.0	–	–	–	4.0	33.0
	小学6年生	200	6.0	3.0	5.5	5.5	1.5	1.0	1.0	1.5	2.5	1.5	0.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.0	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	1.0	2.0	–	2.5	–	0.5	1.0	–	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	–	–	0.5	–	–	7.0	41.5

※全体の値を基準に降順並び替え

【図 27-2】

	全体	(n=1200)
1位	パティシエ（お菓子職人）	5.3%
1位	ケーキ屋	5.3%
3位	プロサッカー選手	4.5%
4位	医師	3.8%
5位	警察官	2.8%
6位	プロ野球選手	2.6%
6位	教師・先生	2.6%
8位	パン屋さん	2.4%
9位	漫画家・イラストレーター	1.8%
9位	看護師	1.8%
9位	運転士	1.8%
9位	歌手・アイドル	1.8%
13位	ゲームデザイナー	1.6%
14位	大工さん・建築家	1.5%
14位	科学者・研究者	1.5%
16位	会社員	1.4%
16位	ファッション関係	1.4%
18位	消防士	1.3%
18位	動物園の飼育係	1.3%
18位	宇宙飛行士	1.3%
	わからない	32.1%

回答者全体を見ると、将来つきたい職業としてトップにあげられたのが「パティシエ」と「ケーキ屋」（同率 1 位）であった。将来お菓子を作ったり売ったりする職業につきたいと考えている小学生がとても多いようだ。また、この 2 つの職業を選択した小学生は、女子では各学年に少なくとも 3%以上、一部、男子からも回答があったところに注目したい。以下には、3 位のプロサッカー選手（4.5%）、6 位のプロ野球選手（2.6%）などのプロスポーツ選手、4 位の医師（3.8%）、9 位の看護師（1.8%）などの医療系従事者、4 位の警察官（2.8%）、6 位の教師・先生（2.6%）などが続く。

選択肢の中に将来つきたい職業がない場合は「その他」とし、自由記述欄を設けた。その中で一際目立ったのが「ユーチューバー（0.5%）」という回答である。自分らしく楽しいことをしながら稼ぐ、という新しいスタイルの職業に小学生も注目しているようだ。

また、将来つきたい職業について「わからない」と回答した小学生は 32.1%。昨年度の同調査結果（28.0%）[20]から 4.1 ポイント上昇している。職業の概念が変わっていく現代社会で、小学生も未来の自分の姿を描きにくくなっているのかもしれない。

[20]学研教育総合研究所、“5. 将来について　将来つきたい職業（全体ランキング）”、「小学生白書 Web 版 2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter6/01.html

将来つきたい職業（男子・学年別）

プロスポーツ選手、研究者などが人気。「わからない」は１年生と６年生で多い傾向。

【図 27-3】将来つきたい職業　男子学年別（上位 2%以上のランキング）

	男子・小学1年生	(n=100)
１位	プロサッカー選手	7.0%
２位	プロ野球選手	6.0%
３位	運転士	5.0%
４位	警察官	4.0%
４位	宇宙飛行士	4.0%
６位	大工さん・建築家	3.0%
６位	エンジニア・技術者	3.0%
８位	医師	2.0%
８位	ゲームデザイナー	2.0%
８位	会社員	2.0%
８位	消防士	2.0%
８位	公務員	2.0%
	わからない	40.0%

	男子・小学2年生	(n=100)
１位	プロ野球選手	7.0%
２位	プロサッカー選手	6.0%
２位	警察官	6.0%
４位	医師	4.0%
４位	消防士	4.0%
６位	教師・先生	3.0%
６位	運転士	3.0%
６位	動物園の飼育係	3.0%
６位	大工さん・建築家	3.0%
６位	自動車関連	3.0%
１１位	宇宙飛行士	2.0%
１１位	公務員	2.0%
１１位	ダンサー	2.0%
１１位	パン屋さん	2.0%
１１位	ケーキ屋	2.0%
１１位	プログラマー・SE	2.0%
	わからない	30.0%

	男子・小学3年生	(n=100)
1位	プロサッカー選手	9.0%
2位	警察官	8.0%
3位	プロ野球選手	6.0%
4位	医師	4.0%
4位	運転士	4.0%
6位	消防士	3.0%
6位	自動車関連	3.0%
6位	パイロット	3.0%
9位	大工さん・建築家	2.0%
9位	宇宙飛行士	2.0%
9位	ゲームデザイナー	2.0%
9位	会社員	2.0%
9位	漫画家・イラストレーター	2.0%
9位	福祉の仕事	2.0%
	わからない	34.0%

	男子・小学4年生	(n=100)
1位	プロサッカー選手	10.0%
2位	運転士	5.0%
3位	消防士	4.0%
3位	大工さん・建築家	4.0%
3位	ゲームデザイナー	4.0%
3位	科学者・研究者	4.0%
7位	警察官	3.0%
7位	プロ野球選手	3.0%
7位	医師	3.0%
7位	コック・板前（料理人）	3.0%
11位	宇宙飛行士	2.0%
11位	プログラマー・SE	2.0%
	わからない	36.0%

	男子・小学5年生	(n=100)
1位	プロサッカー選手	9.0%
2位	科学者・研究者	6.0%
3位	ゲームデザイナー	5.0%
3位	プロ野球選手	5.0%
5位	警察官	4.0%
5位	会社員	4.0%
7位	運転士	3.0%
7位	大工さん・建築家	3.0%
7位	医師	3.0%
10位	コック・板前（料理人）	2.0%
10位	パイロット	2.0%
10位	エンジニア・技術者	2.0%
10位	芸能人（俳優、お笑い芸人など）	2.0%
10位	教師・先生	2.0%
	わからない	36.0%

	男子・小学6年生	(n=100)
1位	プロサッカー選手	9.0%
2位	科学者・研究者	4.0%
2位	ゲームデザイナー	4.0%
2位	エンジニア・技術者	4.0%
5位	公務員	3.0%
6位	プロ野球選手	2.0%
6位	警察官	2.0%
6位	会社員	2.0%
6位	大工さん・建築家	2.0%
6位	医師	2.0%
	わからない	51.0%

先ほどの「将来つきたい職業」の回答結果を男子学年別に見たものが【図 21-3】である。これを見ると、2 年生以外のすべての学年において「プロサッカー選手」がもっとも人気であることがわかる。1、2 年生で 2 番目に人気がある「プロ野球選手」は、学年が上がるにつれて順位が下がる傾向にある。代わりに、4 年生から上の学年で人気なのが「ゲームデザイナー」「科学者・研究者」で、自分の好きなものを作ったり、究めたりする職業に対する興味関心が高まっていくことが読み取れる。　一方で、男子 6 年生においては「わからない」と回答した小学生が 51.0%と、男女学年別で見てもっとも多い結果となった。男子全体での「わからない」の割合は 37.8%。好きなものを見つけて将来の夢として描く子がいる一方で、自身が何をやりたいのか、迷い始めてしまう子もかなり多いようだ。

将来つきたい職業（女子・学年別）

パティシエ・ケーキ屋の人気持続。医師を目指す女子が増加！

【図 27-4】将来つきたい職業　女子学年別（上位 2%以上のランキング）

	女子・小学1年生	(n=100)
1位	ケーキ屋	17.0%
2位	パティシエ（お菓子職人）	11.0%
3位	歌手・アイドル	5.0%
3位	ファッション関係	5.0%
5位	パン屋さん	4.0%
5位	トリマー	4.0%
7位	モデル	3.0%
8位	漫画家・イラストレーター	2.0%
8位	教師・先生	2.0%
8位	動物園の飼育係	2.0%
8位	看護師	2.0%
8位	美容師	2.0%
8位	保育士	2.0%
8位	花屋	2.0%
	わからない	24.0%

	女子・小学2年生	(n=100)
1位	ケーキ屋	15.0%
2位	パティシエ（お菓子職人）	10.0%
3位	教師・先生	8.0%
4位	歌手・アイドル	7.0%
5位	モデル	5.0%
6位	トリマー	4.0%
7位	パン屋さん	3.0%
7位	医師	3.0%
9位	漫画家・イラストレーター	2.0%
9位	看護師	2.0%
9位	美容師	2.0%
9位	花屋	2.0%
	わからない	21.0%

	女子・小学3年生	(n=100)
1位	パティシエ(お菓子職人)	12.0%
2位	ケーキ屋	11.0%
3位	教師・先生	5.0%
3位	漫画家・イラストレーター	5.0%
5位	看護師	4.0%
6位	パン屋さん	3.0%
6位	花屋	3.0%
6位	ファッション関係	3.0%
6位	動物園の飼育係	3.0%
6位	警察官	3.0%
11位	医師	2.0%
11位	美容師	2.0%
11位	会社員	2.0%
	わからない	27.0%

	女子・小学4年生	(n=100)
1位	看護師	7.0%
2位	パティシエ(お菓子職人)	6.0%
2位	ファッション関係	6.0%
4位	パン屋さん	5.0%
4位	医師	5.0%
6位	教師・先生	4.0%
7位	ケーキ屋	3.0%
7位	漫画家・イラストレーター	3.0%
7位	花屋	3.0%
7位	トリマー	3.0%
7位	保育士	3.0%
7位	薬剤師	3.0%
13位	警察官	2.0%
13位	ダンサー	2.0%
13位	コック・板前(料理人)	2.0%
	わからない	24.0%

	女子・小学5年生	(n=100)
1位	パティシエ(お菓子職人)	9.0%
1位	ケーキ屋	9.0%
3位	医師	7.0%
4位	パン屋さん	6.0%
5位	動物園の飼育係	4.0%
6位	看護師	3.0%
6位	教師・先生	3.0%
6位	薬剤師	3.0%
9位	漫画家・イラストレーター	2.0%
9位	花屋	2.0%
9位	保育士	2.0%
9位	美容師	2.0%
9位	歌手・アイドル	2.0%
9位	会社員	2.0%
9位	宇宙飛行士	2.0%
9位	CA(キャビンアテンダント)	2.0%
	わからない	30.0%

	女子・小学6年生	(n=100)
1位	パティシエ(お菓子職人)	12.0%
2位	医師	9.0%
3位	ケーキ屋	6.0%
4位	漫画家・イラストレーター	4.0%
5位	看護師	3.0%
5位	歌手・アイドル	3.0%
7位	パン屋さん	2.0%
7位	教師・先生	2.0%
7位	保育士	2.0%
7位	福祉の仕事	2.0%
7位	プロサッカー選手	2.0%
7位	公務員	2.0%
	わからない	32.0%

次に、女子学年別に見た結果が【図 27-4】である。女子の場合、1～6 年生まで一貫して「パティシエ」「ケーキ屋」の人気が高い。それ以外の職業については、あまり偏りは見られなかった。

「看護師」「医師」の 2 項目に注目してみると、4 年生まではおおむね「看護師」の方がポイントが高いのに対し、高学年になると「医師」が 5 年生で 3 位(7.0%)、6 年生で 2 位(9.0%)と人気の度合いが逆転するのが興味深い。

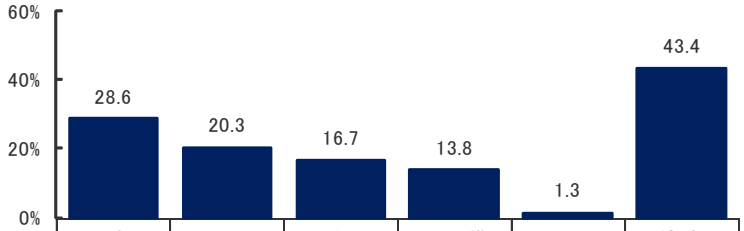
「わからない」を選んだのは女子全体で 26.3%と、男子と比べて 10 ポイント以上低い結果となったが、学年が上がるにつれてなだらかに上昇する傾向にある。

8. 通信機器について

通信機器（種類・利用目的）

スマートフォンの使用率、動画の視聴率が増加

【図 28】あなたがふだん自分で使っている通信機器（家庭内の通信機器も含む）を教えてください。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。

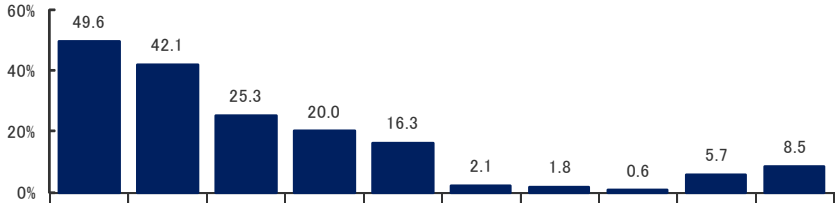


n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		n=	パソコン	スマートフォン	タブレット	携帯電話（フィーチャーフォン／ガラケー）	その他	自分で使っているものはない
全体		1,200	28.6	20.3	16.7	13.8	1.3	43.4
性学年別	男子・小学1年生	100	19.0	14.0	9.0	4.0	－	65.0
	男子・小学2年生	100	26.0	24.0	11.0	10.0	1.0	51.0
	男子・小学3年生	100	31.0	21.0	18.0	10.0	－	46.0
	男子・小学4年生	100	34.0	22.0	16.0	13.0	5.0	35.0
	男子・小学5年生	100	38.0	19.0	24.0	16.0	4.0	37.0
	男子・小学6年生	100	46.0	27.0	25.0	12.0	3.0	23.0
	女子・小学1年生	100	18.0	16.0	12.0	7.0	－	64.0
	女子・小学2年生	100	21.0	17.0	15.0	11.0	－	54.0
	女子・小学3年生	100	22.0	16.0	16.0	15.0	1.0	47.0
	女子・小学4年生	100	22.0	14.0	14.0	22.0	－	41.0
	女子・小学5年生	100	32.0	25.0	19.0	22.0	－	28.0
	女子・小学6年生	100	34.0	28.0	21.0	24.0	2.0	30.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	18.5	15.0	10.5	5.5	－	64.5
	小学2年生	200	23.5	20.5	13.0	10.5	0.5	52.5
	小学3年生	200	26.5	18.5	17.0	12.5	0.5	46.5
	小学4年生	200	28.0	18.0	15.0	17.5	2.5	38.0
	小学5年生	200	35.0	22.0	21.5	19.0	2.0	32.5
	小学6年生	200	40.0	27.5	23.0	18.0	2.5	26.5

※全体の値を基準に降順並び替え

【図 29】その通信機器を使う目的は何ですか。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		n=	動画の閲覧	家族との連絡手段	趣味のための情報収集	友だちとの連絡手段	勉強のための情報収集	漫画を電子書籍で読む	物語など活字の本を電子書籍で読む	動画の投稿	その他	特に目的はない
	全体	679	49.6	42.1	25.3	20.0	16.3	2.1	1.8	0.6	5.7	8.5
性学年別	男子・小学1年生	35	45.7	25.7	14.3	20.0	14.3	－	－	－	5.7	22.9
	男子・小学2年生	49	49.0	34.7	16.3	12.2	8.2	2.0	－	－	10.2	10.2
	男子・小学3年生	54	59.3	29.6	31.5	9.3	18.5	－	－	－	7.4	9.3
	男子・小学4年生	65	56.9	40.0	26.2	16.9	16.9	3.1	3.1	－	9.2	9.2
	男子・小学5年生	63	71.4	34.9	38.1	12.7	17.5	1.6	3.2	－	6.3	3.2
	男子・小学6年生	77	55.8	39.0	33.8	19.5	22.1	－	1.3	－	6.5	5.2
	女子・小学1年生	36	47.2	38.9	13.9	22.2	11.1	8.3	8.3	2.8	5.6	8.3
	女子・小学2年生	46	47.8	37.0	23.9	13.0	8.7	－	2.2	－	6.5	10.9
	女子・小学3年生	53	47.2	45.3	11.3	11.3	9.4	1.9	1.9	－	3.8	5.7
	女子・小学4年生	59	35.6	57.6	15.3	23.7	15.3	－	1.7	－	6.8	8.5
	女子・小学5年生	72	34.7	51.4	29.2	31.9	19.4	4.2	－	2.8	2.8	8.3
	女子・小学6年生	70	42.9	57.1	32.9	38.6	24.3	4.3	1.4	1.4	－	8.6
学年別（男女計）	小学1年生	71	46.5	32.4	14.1	21.1	12.7	4.2	4.2	1.4	5.6	15.5
	小学2年生	95	48.4	35.8	20.0	12.6	8.4	1.1	1.1	－	8.4	10.5
	小学3年生	107	53.3	37.4	21.5	10.3	14.0	0.9	0.9	－	5.6	7.5
	小学4年生	124	46.8	48.4	21.0	20.2	16.1	1.6	2.4	－	8.1	8.9
	小学5年生	135	51.9	43.7	33.3	23.0	18.5	3.0	1.5	1.5	4.4	5.9
	小学6年生	147	49.7	47.6	33.3	28.6	23.1	2.0	1.4	0.7	3.4	6.8

※全体の値を基準に降順並び替え

日常的に使っている通信機器、およびその目的について聞いた結果が上記 2 つの表である。【図 28】に示した使用率を高い順に並べると、1 位は「パソコン」（28.6%）、2 位「スマートフォン」（20.3%）、3 位「タブレット」（16.7%）、4 位「携帯電話（フィーチャーフォン／ガラケー）」（13.8%）となった。2015 年 10 月の調査[21]と比較すると、スマートフォンの使用率（18.8%→20.3%）が上昇した一方、パソコン（30.6%→28.6%）、タブレット（18.3%→16.7%）、携帯電話（フィーチャーフォン／ガラケー）（15.3%→13.8%）の使用率は低下した。

男子のスマートフォン使用率について、2015 年 10 月調査では 2 年生がピークで 3 年生から 6 年生にかけて低下していく傾向があったが、今回は 6 年生の使用率が一気に 10.0 ポイント伸び、男子の学年別でピークとなった。

続いて、「その通信機器を使う目的は何ですか。」の質問を行った結果が【図 29】だ。1 位は 2015 年 10 月調査と同じ「動画の閲覧」（49.6%）となり、去年の 47.1%からさらに上昇

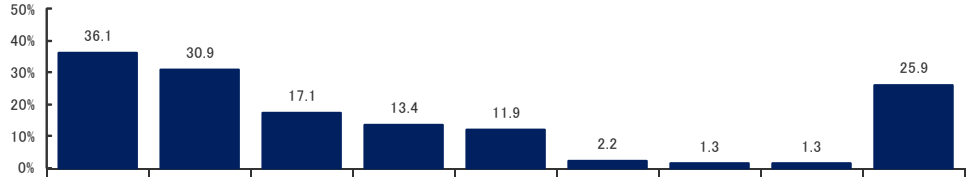
[21]学研教育総合研究所、“7. 小学生と通信機器　通信機器（使用目的）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter7/01.html

した。女子と比べて男子の利用率が高いが、全体平均でも約半数の小学生が通信機器を動画の閲覧に使用している。女子の場合には特に中～高学年で、家族・友だちとの連絡手段として通信機器を使用しているようだ。

通信機器（利用サービス）

利用サービスは YouTube が 1 位！

【図 30】あなたが、通信機器でふだん利用しているサービスは何ですか。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		n=	ユーチューブ	携帯メール（通信会社のメールアドレス（EメールやSMS）や電話番号（SMS）を使ったサービス）	ライン	オンラインゲーム	パソコンメール	ツイッター	ブログ	その他	利用しているサービスはない
	全体	679	36.1	30.9	17.1	13.4	11.9	2.2	1.3	1.3	25.9
性学年別	男子・小学1年生	35	25.7	22.9	20.0	2.9	28.6	2.9	2.9	－	34.3
	男子・小学2年生	49	36.7	30.6	10.2	6.1	16.3	2.0	－	－	28.6
	男子・小学3年生	54	38.9	22.2	11.1	11.1	13.0	3.7	1.9	1.9	31.5
	男子・小学4年生	65	44.6	30.8	16.9	18.5	12.3	3.1	1.5	1.5	21.5
	男子・小学5年生	63	55.6	25.4	9.5	25.4	7.9	1.6	1.6	1.6	22.2
	男子・小学6年生	77	39.0	16.9	16.9	15.6	7.8	－	－	－	31.2
	女子・小学1年生	36	36.1	33.3	27.8	19.4	25.0	5.6	5.6	－	16.7
	女子・小学2年生	46	28.3	28.3	15.2	8.7	10.9	2.2	－	6.5	28.3
	女子・小学3年生	53	32.1	43.4	15.1	7.5	11.3	1.9	－	1.9	15.1
	女子・小学4年生	59	28.8	42.4	18.6	13.6	11.9	1.7	－	3.4	22.0
	女子・小学5年生	72	27.8	38.9	15.3	12.5	4.2	1.4	－	－	30.6
	女子・小学6年生	70	32.9	35.7	30.0	12.9	10.0	2.9	4.3	－	27.1
学年別（男女計）	小学1年生	71	31.0	28.2	23.9	11.3	26.8	4.2	4.2	－	25.4
	小学2年生	95	32.6	29.5	12.6	7.4	13.7	2.1	－	3.2	28.4
	小学3年生	107	35.5	32.7	13.1	9.3	12.1	2.8	0.9	1.9	23.4
	小学4年生	124	37.1	36.3	17.7	16.1	12.1	2.4	0.8	2.4	21.8
	小学5年生	135	40.7	32.6	12.6	18.5	5.9	1.5	0.7	0.7	26.7
	小学6年生	147	36.1	25.9	23.1	14.3	8.8	1.4	2.0	－	29.3

※全体の値を基準に降順並び替え

1 位「ユーチューブ」（36.1%）、2 位「携帯メール」（30.9%）、3 位「ライン」（17.1%）、4 位「オンラインゲーム」（13.4%）となった。「ユーチューブ」は今回の調査で新たに追加した選択肢であり、用途として最も多いという結果になった。設問 21「あなたが、将来つきたいなと思う職業（仕事）を教えてください。」の自由記述で「ユーチューバー」が複数人見られたこととも関係がありそうだ。

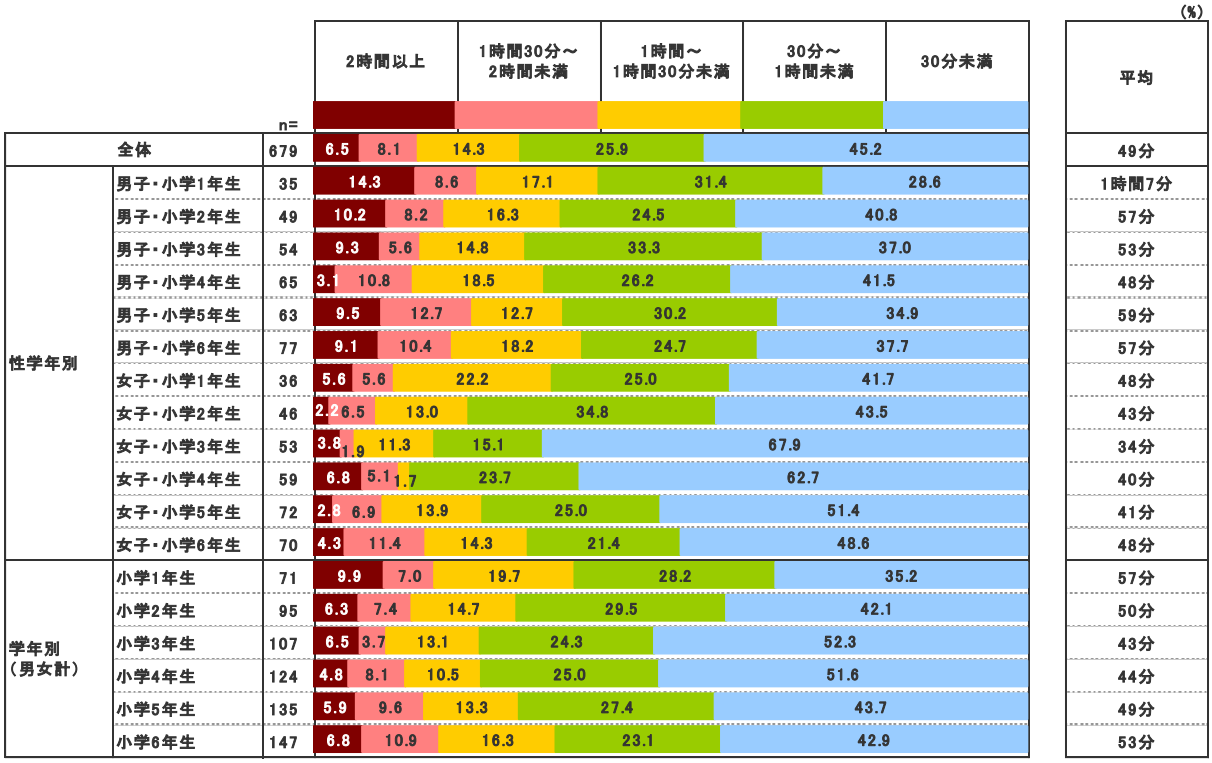
2015 年 10 月の調査[22]では 44.1%存在した「利用しているサービスはない」の回答が 25.9%と大きく下がったのも、そこに潜在的にユーチューブの利用者が含まれていたということだろう。

その他は 2015 年 10 月の調査でみられた傾向とほぼ同様で、小学生の通信機器の用途は、動画の視聴、メールやラインでの友達や家族とのコミュニケーション、ゲームの主に 3 点といえる。

通信機器（利用時間）

パソコン、スマートフォンなど通信機器を使う時間は 49 分

【図 31】あなたは、1 日にどのくらい通信機器を使いますか。



		n=	2時間以上	1時間30分～2時間未満	1時間～1時間30分未満	30分～1時間未満	30分未満	平均
			(%)					
全体		679	6.5	8.1	14.3	25.9	45.2	49分
性学年別	男子・小学1年生	35	14.3	8.6	17.1	31.4	28.6	1時間7分
	男子・小学2年生	49	10.2	8.2	16.3	24.5	40.8	57分
	男子・小学3年生	54	9.3	5.6	14.8	33.3	37.0	53分
	男子・小学4年生	65	3.1	10.8	18.5	26.2	41.5	48分
	男子・小学5年生	63	9.5	12.7	12.7	30.2	34.9	59分
	男子・小学6年生	77	9.1	10.4	18.2	24.7	37.7	57分
	女子・小学1年生	36	5.6	5.6	22.2	25.0	41.7	48分
	女子・小学2年生	46	2.2	6.5	13.0	34.8	43.5	43分
	女子・小学3年生	53	3.8	1.9	11.3	15.1	67.9	34分
	女子・小学4年生	59	6.8	5.1	1.7	23.7	62.7	40分
	女子・小学5年生	72	2.8	6.9	13.9	25.0	51.4	41分
	女子・小学6年生	70	4.3	11.4	14.3	21.4	48.6	48分
学年別（男女計）	小学1年生	71	9.9	7.0	19.7	28.2	35.2	57分
	小学2年生	95	6.3	7.4	14.7	29.5	42.1	50分
	小学3年生	107	6.5	3.7	13.1	24.3	52.3	43分
	小学4年生	124	4.8	8.1	10.5	25.0	51.6	44分
	小学5年生	135	5.9	9.6	13.3	27.4	43.7	49分
	小学6年生	147	6.8	10.9	16.3	23.1	42.9	53分

ではパソコンやスマートフォン、携帯端末などの通信機器を使っている時間はどれくらいなのだろうか。全体の平均利用時間は 49 分で、2015 年の調査[23]より 4 分増加した。「49 分」という時間への評価は、人によって分かれるところであろうが、同じ「49 分」でも、子ど

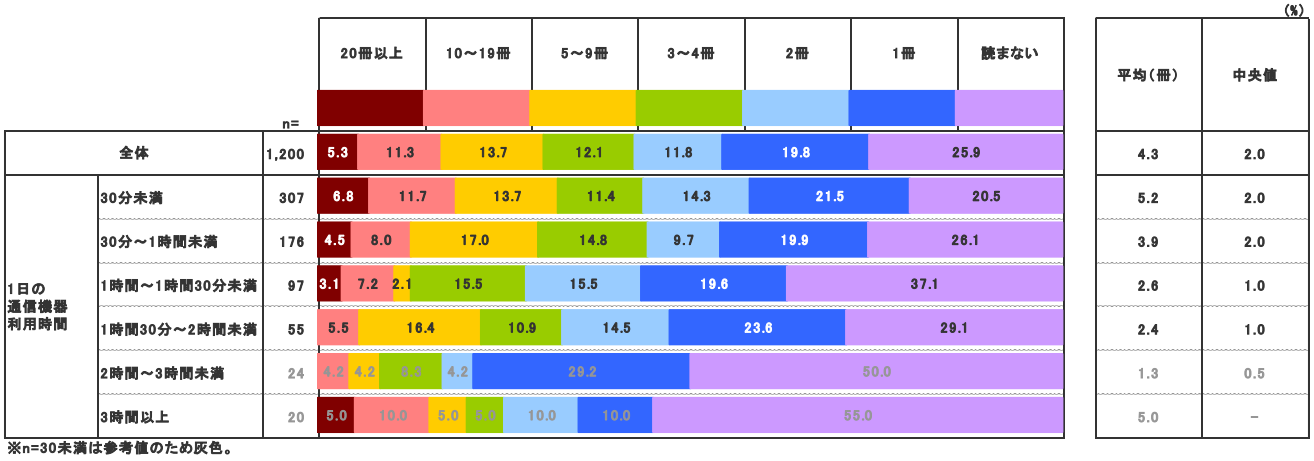
[22]学研教育総合研究所、“7. 小学生と通信機器　通信機器（利用サービス）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter7/02.html
[23]学研教育総合研究所、“7. 小学生と通信機器　通信機器（利用時間）”、「小学生白書 Web 版　2015 年 10 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201510/chapter7/03.html

もと大人ではその感じ方が違う、つまり子どもの方が長く感じることは押さえておく必要がある。また 1 時間 30 分以上と回答した子どもが、各学年 10%以上いることも注意が必要だろう。一方、学年別でみると、すべての学年で女子より男子の平均利用時間が長いことがわかる（9 分～19 分）。男子の方が、パソコンやスマートフォンなどに熱中しやすいのかもしれない。通信機器に向かう時間が、今後も増加していくことは、まずまちがいない。それが子どもの生活にどのような影響を与えるかを考えるのは、大人の責任である。

通信機器（通信機器利用と読書時間）

通信機器利用時間が増加するほど、読書量は減少

【図 32】1 日の通信機器利用時間×読んでいる冊数[クロス集計]



		n=	20冊以上	10～19冊	5～9冊	3～4冊	2冊	1冊	読まない	平均（冊）	中央値
											(%)
全体		1,200	5.3	11.3	13.7	12.1	11.8	19.8	25.9	4.3	2.0
1日の通信機器利用時間	30分未満	307	6.8	11.7	13.7	11.4	14.3	21.5	20.5	5.2	2.0
	30分～1時間未満	176	4.5	8.0	17.0	14.8	9.7	19.9	26.1	3.9	2.0
	1時間～1時間30分未満	97	3.1	7.2	2.1	15.5	15.5	19.6	37.1	2.6	1.0
	1時間30分～2時間未満	55	5.5	16.4	10.9	14.5	23.6	29.1		2.4	1.0
	2時間～3時間未満	24	4.2	4.2	8.3	4.2	29.2	50.0		1.3	0.5
	3時間以上	20	5.0	10.0	5.0	5.0	10.0	10.0	55.0	5.0	－

※n=30未満は参考値のため灰色。

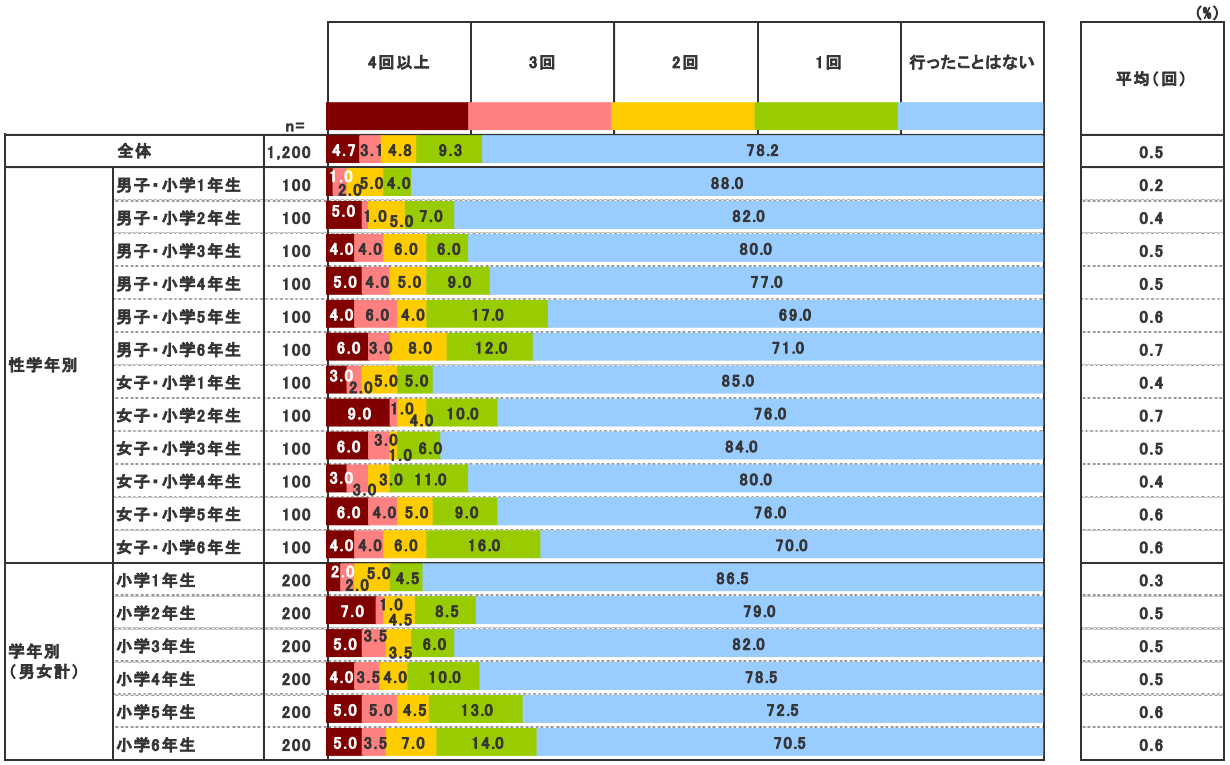
1 日あたりの通信機器利用時間の長さと、1 ヶ月間に読んでいる本の冊数をクロス集計した結果が【図 32】だ。通信機器利用時間 3 時間以上の部分では読書冊数が増加しているが、有効回答数が 20 件と少ないため一旦除外して考えた場合、通信機器利用時間が長いほど読書量が少ないという関係がみられた。ただし、2 つの軸に直接の相関があるか、どのような理由でそれが生じるかについては、さらなる調査が必要だろう。

9. グローバル意識について

渡航経験

「一度も海外渡航経験がない」78.2%。一方で「4 回以上」が 4.7%

【図 33】あなたは、これまでに日本以外の国に何回行ったことがありますか。



		n=	4回以上	3回	2回	1回	行ったことはない	平均（回）
全体		1,200	4.7	3.1	4.8	9.3	78.2	0.5
性学年別	男子・小学1年生	100	1.0	2.0	5.0	4.0	88.0	0.2
	男子・小学2年生	100	5.0	1.0	5.0	7.0	82.0	0.4
	男子・小学3年生	100	4.0	4.0	6.0	6.0	80.0	0.5
	男子・小学4年生	100	5.0	4.0	5.0	9.0	77.0	0.5
	男子・小学5年生	100	4.0	6.0	4.0	17.0	69.0	0.6
	男子・小学6年生	100	6.0	3.0	8.0	12.0	71.0	0.7
	女子・小学1年生	100	3.0	2.0	5.0	5.0	85.0	0.4
	女子・小学2年生	100	9.0	1.0	4.0	10.0	76.0	0.7
	女子・小学3年生	100	6.0	3.0	1.0	6.0	84.0	0.5
	女子・小学4年生	100	3.0	3.0	3.0	11.0	80.0	0.4
	女子・小学5年生	100	6.0	4.0	5.0	9.0	76.0	0.6
	女子・小学6年生	100	4.0	4.0	6.0	16.0	70.0	0.6
学年別（男女計）	小学1年生	200	2.0	2.0	5.0	4.5	86.5	0.3
	小学2年生	200	7.0	1.0	4.5	8.5	79.0	0.5
	小学3年生	200	5.0	3.5	3.5	6.0	82.0	0.5
	小学4年生	200	4.0	3.5	4.0	10.0	78.5	0.5
	小学5年生	200	5.0	5.0	4.5	13.0	72.5	0.6
	小学6年生	200	5.0	3.5	7.0	14.0	70.5	0.6

これを見ると、小学生の 78.2%は海外渡航経験がないことが分かる。一方で、低学年でも「4 回以上海外渡航経験がある」と答えた小学生が一定数いるうえ、ほとんどの学年で「1 回だけ行ったことがある」よりも「2 回以上行ったことがある」と答えた子の方が多かったことから、1 度海外へ行くと、その後 2 度 3 度と回数を重ねる子が多いと推測される。

また、2013 年の同調査[24]による「あなたは、これまでに外国に何回行ったことがありますか」の調査結果と比較してみると、2013 年調査では「1 回」が 9.5%、「2 回」が 4.9%、「3 回」が 2.7%、「4 回」が 1.0%「5 回」が 4.4%、「行ったことはない」が 77.7%と、今回とほぼ変わらない結果であった。教育でも「グローバル化」が叫ばれている昨今であるが、3 年前のデータと比較して、子どもの海外渡航回数は増加していないことがうかがえる。これから英語が教科化するにあたり、海外への渡航経験の有無は、外国語学習のモチベー

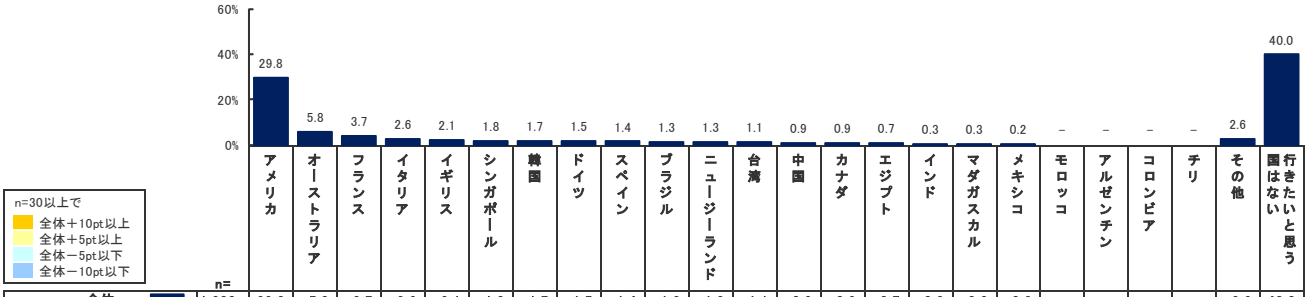
[24]学研教育総合研究所、“外国経験回数”、「小学生白書 Web 版　2013 年 3 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201303/chapter25/index.html

ションに大きく影響することが考えられる。今回の調査で 78.2%の子どもは海外渡航経験がないことが分かったが、そのような子にも国内にいながら海外の文化や言語に触れる機会があるとよいのかもしれない。

行ってみたい国

行きたい国 1 位は断然アメリカ！

【図 34】あなたが行ってみたいと思う外国はどこですか。以下の中からあてはまるものを 1 つ選んでください。



		n=	アメリカ	オーストラリア	フランス	イタリア	イギリス	シンガポール	韓国	ドイツ	スペイン	ブラジル	ニュージーランド	台湾	中国	カナダ	エジプト	インド	マダガスカル	メキシコ	モロッコ	アルゼンチン	コロンビア	チリ	その他	行きたいと思う国はない
全体		1,200	29.8	5.8	3.7	2.6	2.1	1.8	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.1	0.9	0.9	0.7	0.3	0.3	0.2	–	–	–	–	2.6	40.0
性学年別	男子・小学1年生	100	29.0	5.0	2.0	2.0	2.0	2.0	–	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	–	–	1.0	–	1.0	1.0	–	–	–	–	–	48.0
	男子・小学2年生	100	26.0	4.0	1.0	1.0	2.0	1.0	3.0	2.0	–	4.0	1.0	1.0	2.0	1.0	–	–	–	–	–	–	–	–	3.0	48.0
	男子・小学3年生	100	32.0	6.0	1.0	2.0	–	1.0	3.0	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	–	–	–	–	–	–	2.0	42.0
	男子・小学4年生	100	39.0	2.0	1.0	4.0	1.0	2.0	3.0	1.0	3.0	1.0	–	1.0	–	1.0	1.0	–	1.0	–	–	–	–	–	4.0	35.0
	男子・小学5年生	100	39.0	7.0	3.0	1.0	–	–	1.0	2.0	4.0	3.0	2.0	1.0	–	–	5.0	1.0	–	–	–	–	–	–	–	31.0
	男子・小学6年生	100	29.0	4.0	2.0	3.0	4.0	3.0	–	4.0	1.0	1.0	3.0	1.0	–	1.0	–	–	1.0	–	–	–	–	–	3.0	40.0
	女子・小学1年生	100	27.0	6.0	5.0	1.0	3.0	1.0	2.0	–	3.0	1.0	–	1.0	2.0	–	–	–	–	1.0	–	–	–	–	5.0	42.0
	女子・小学2年生	100	29.0	5.0	3.0	2.0	–	2.0	5.0	1.0	–	–	1.0	1.0	4.0	1.0	–	–	–	–	–	–	–	–	4.0	42.0
	女子・小学3年生	100	23.0	6.0	4.0	4.0	5.0	–	–	1.0	–	1.0	4.0	2.0	1.0	1.0	–	1.0	1.0	–	–	–	–	–	3.0	43.0
	女子・小学4年生	100	18.0	9.0	8.0	6.0	4.0	3.0	1.0	–	1.0	2.0	1.0	–	–	2.0	–	–	–	–	–	–	–	–	4.0	41.0
	女子・小学5年生	100	35.0	9.0	4.0	2.0	4.0	4.0	–	3.0	–	–	1.0	1.0	–	1.0	–	–	–	–	–	–	–	–	2.0	34.0
	女子・小学6年生	100	32.0	7.0	10.0	3.0	–	3.0	2.0	1.0	2.0	–	1.0	1.0	1.0	2.0	–	–	–	–	–	–	–	–	1.0	34.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	28.0	5.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.5	1.0	0.5	1.0	1.0	–	0.5	–	0.5	1.0	–	–	–	–	2.5	45.0
	小学2年生	200	27.5	4.5	2.0	1.5	1.0	1.5	4.0	1.5	–	2.0	1.0	1.0	3.0	1.0	–	–	–	–	–	–	–	–	3.5	45.0
	小学3年生	200	27.5	6.0	2.5	3.0	2.5	0.5	1.5	1.0	0.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.0	0.5	1.0	0.5	–	–	–	–	–	2.5	42.5
	小学4年生	200	28.5	5.5	4.5	5.0	2.5	2.5	2.0	0.5	2.0	1.5	0.5	0.5	–	1.5	0.5	–	0.5	–	–	–	–	–	4.0	38.0
	小学5年生	200	37.0	8.0	3.5	1.5	2.0	2.0	0.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	–	0.5	2.5	0.5	–	–	–	–	–	–	1.0	32.5
	小学6年生	200	30.5	5.5	6.0	3.0	2.0	3.0	1.0	2.5	1.5	0.5	2.0	1.0	0.5	1.5	–	–	0.5	–	–	–	–	–	2.0	37.0

※全体の値を基準に降順並び替え

次に、海外渡航経験があるなしに関わらず、「あなたが行ってみたいと思う外国はどこですか。以下の中からあてはまるものを 1 つ選んでください。」と質問した結果が【図 34】である。こちらから提示したのは表中にある 22 項目だが、それ以外に「その他（自由記述欄に記入）」「行きたいと思う国はない」を設けた。

その結果、もっとも多かった回答は「行きたいと思う国はない」の 40.0%であった。小学生の意識はあまり海外には向いてないようだ。2013 年の同調査では、行きたい国は「なし」と答えたのは 23.5%で、1 位の「アメリカ」（34.7%）を下回っていたことを考えると、グローバル化はむしろ後退しているようにも思える。

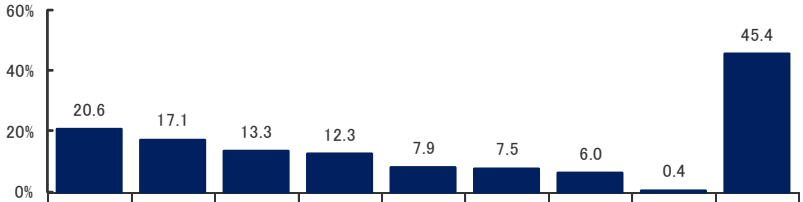
「行きたい国」としてダントツだったのが「アメリカ」で、実に 29.8%の小学生が「1 番行ってみたい」と回答した。自由記述欄に書かれた理由は大きく分けて 3 つあり、1 つ目は

「ディズニーワールド、ユニバーサルスタジオ、ハワイなどの観光地に行きたい」、2 つ目は「メジャーリーグ、NBA などのスポーツ観戦をしたい」、そして 3 つ目が「本場の英語を学びたい／学校や塾で学んだ英語を使ってみたい」というものであった。一方で 5 位の「イギリス」に行きたい理由として「本場の英語を学びたい／英語を使ってみたい」はなく、小学生にとって「英語＝アメリカの言語」という認識が強いことがうかがえる。
2 位は「オーストラリア」で、行きたい理由として「自然が豊か」「コアラを見たい」「安全そうだから」などが挙げられた。また、「シドニーオリンピックやラグビーなどを見て興味を持った」、「日本と季節が逆なので楽しそう」、などをあげる子もいた。
3 位から 5 位はヨーロッパの国が占める。3 位のフランスは「おしゃれ／きれい」というイメージが強く、またエッフェル塔やルーブル美術館に行ってみたいという理由もあった。4 位のイタリアは、本場のピザやパスタを食べたいという理由が最も多く、日本でも馴染みの深い料理から外国への興味が高まるケースもあることが想定される。5 位のイギリスは「ハリーポッターの国だから」「歴史のある国だから」という意見が多く見られた。
アジアで最も順位が高かったのは「シンガポール」。動物園などの観光地が充実していることや、「近代的な街並みを見てみたい」、「マーライオンを見たい」などが挙げられた。7 位の韓国や 12 位の台湾は「近いから」「料理が好きだから」という理由が多く、13 位の中国を選んだ理由で目立ったのは「両親の出身国だから／親戚がいるから」というものだった。

外国に行きたくない理由

「特に理由はないが行きたくない」が約半数。海外への不安が大きい？

【図 35】あなたは先程「行ってみたい国はない」とお答えになりましたが、その理由についてお答え下さい。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		n=	外国に興味がないから	外国語がしゃべれないから	どんな国があるか分からないから	危険だと思うから	お金がかかるから	飛行機が怖いから	日本が好きだから	その他	特に理由はない
全体		480	20.6	17.1	13.3	12.3	7.9	7.5	6.0	0.4	45.4
性学年別	男子・小学1年生	48	16.7	12.5	20.8	8.3	2.1	2.1	8.3	－	50.0
	男子・小学2年生	48	25.0	22.9	8.3	10.4	8.3	6.3	12.5	－	41.7
	男子・小学3年生	42	9.5	7.1	19.0	4.8	2.4	7.1	4.8	－	57.1
	男子・小学4年生	35	17.1	17.1	8.6	2.9	11.4	5.7	8.6	2.9	54.3
	男子・小学5年生	31	25.8	32.3	9.7	25.8	9.7	6.5	3.2	－	35.5
	男子・小学6年生	40	32.5	15.0	5.0	22.5	10.0	7.5	5.0	－	40.0
	女子・小学1年生	42	16.7	11.9	14.3	4.8	－	4.8	－	2.4	54.8
	女子・小学2年生	42	11.9	9.5	21.4	7.1	4.8	14.3	2.4	－	42.9
	女子・小学3年生	43	20.9	14.0	14.0	14.0	7.0	16.3	7.0	－	39.5
	女子・小学4年生	41	24.4	22.0	9.8	14.6	14.6	7.3	4.9	－	46.3
	女子・小学5年生	34	23.5	23.5	14.7	23.5	14.7	2.9	8.8	－	44.1
	女子・小学6年生	34	26.5	23.5	11.8	14.7	14.7	8.8	5.9	－	35.3
学年別（男女計）	小学1年生	90	16.7	12.2	17.8	6.7	1.1	3.3	4.4	1.1	52.2
	小学2年生	90	18.9	16.7	14.4	8.9	6.7	10.0	7.8	－	42.2
	小学3年生	85	15.3	10.6	16.5	9.4	4.7	11.8	5.9	－	48.2
	小学4年生	76	21.1	19.7	9.2	9.2	13.2	6.6	6.6	1.3	50.0
	小学5年生	65	24.6	27.7	12.3	24.6	12.3	4.6	6.2	－	40.0
	小学6年生	74	29.7	18.9	8.1	18.9	12.2	8.1	5.4	－	37.8

※全体の値を基準に降順並び替え

先の「行ってみたい国」についての質問でもっとも多く票が集まった「行きたいと思う国はない」を選んだ人に、「その理由について、以下の中からあてはまるものをすべて選んでください。」と複数選択式で理由を聞いた結果が【図 35】である。

もっとも多かったのは「特に理由はない」で、特に男子に多い傾向となった。外国の文化や歴史に触れる機会がまだ少なく、外国へ行くことのイメージを持てない子が多いのかもしれない。

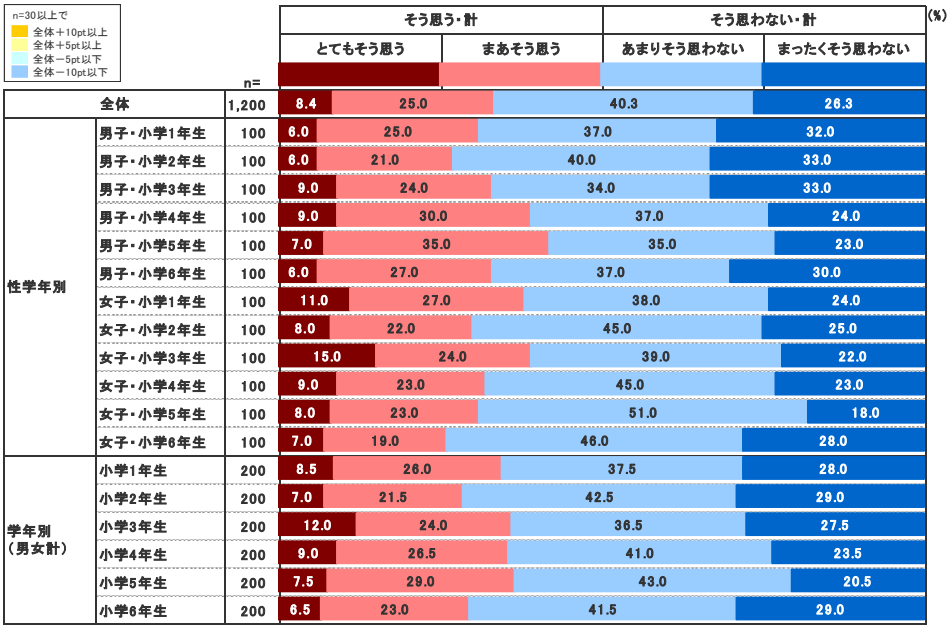
「外国語がしゃべれないから」は全体では 17.1%だが、学年別に見ると高学年で特に高くなっていることが分かる。小学校で英語を学ぶようになり、海外では日本語以外が使われることを知ったものの、自身の英語力にはまだ自信がないということの表れであろうか。

また、「危険だと思うから」も 12.3%が回答し、とくに 5 年生男子（25.8%）、6 年生男子（22.5%）、5 年生女子（23.5%）で高い数値となった。

留学への意識（子ども）

「将来留学したい」33.4%。高学年は女子より男子の方が留学に積極的。

【図 36】あなたは将来、外国に行って勉強したいと思いますか。



		n=	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	そう思う・計	そう思わない・計
全体		1,200	8.4	25.0	40.3	26.3	33.4	66.6
性学年別	男子・小学1年生	100	6.0	25.0	37.0	32.0	31.0	69.0
	男子・小学2年生	100	6.0	21.0	40.0	33.0	27.0	73.0
	男子・小学3年生	100	9.0	24.0	34.0	33.0	33.0	67.0
	男子・小学4年生	100	9.0	30.0	37.0	24.0	39.0	61.0
	男子・小学5年生	100	7.0	35.0	35.0	23.0	42.0	58.0
	男子・小学6年生	100	6.0	27.0	37.0	30.0	33.0	67.0
	女子・小学1年生	100	11.0	27.0	38.0	24.0	38.0	62.0
	女子・小学2年生	100	8.0	22.0	45.0	25.0	30.0	70.0
	女子・小学3年生	100	15.0	24.0	39.0	22.0	39.0	61.0
	女子・小学4年生	100	9.0	23.0	45.0	23.0	32.0	68.0
	女子・小学5年生	100	8.0	23.0	51.0	18.0	31.0	69.0
	女子・小学6年生	100	7.0	19.0	46.0	28.0	26.0	74.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	8.5	26.0	37.5	28.0	34.5	65.5
	小学2年生	200	7.0	21.5	42.5	29.0	28.5	71.5
	小学3年生	200	12.0	24.0	36.5	27.5	36.0	64.0
	小学4年生	200	9.0	26.5	41.0	23.5	35.5	64.5
	小学5年生	200	7.5	29.0	43.0	20.5	36.5	63.5
	小学6年生	200	6.5	23.0	41.5	29.0	29.5	70.5

「とてもそう思う」「まあそう思う」を合計した「留学したい・計」が 33.4%、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合計した「留学したくない・計」が 66.6%という結果になった。小学生のおよそ 3 人に 1 人が、「将来留学したい」と考えているということになる。

「留学したい・計」「留学したくない・計」をそれぞれ分析してみると、「留学したい」と答えたうち積極的に留学したいと思っているのは 8.4%（「とてもそう思う」）、「留学したくない」と答えたうち、まったく留学したくないと思っているのは 26.3%（「まったくそう思わない」）と、「留学したくない」と強く思う小学生の方が多いことが分かった。

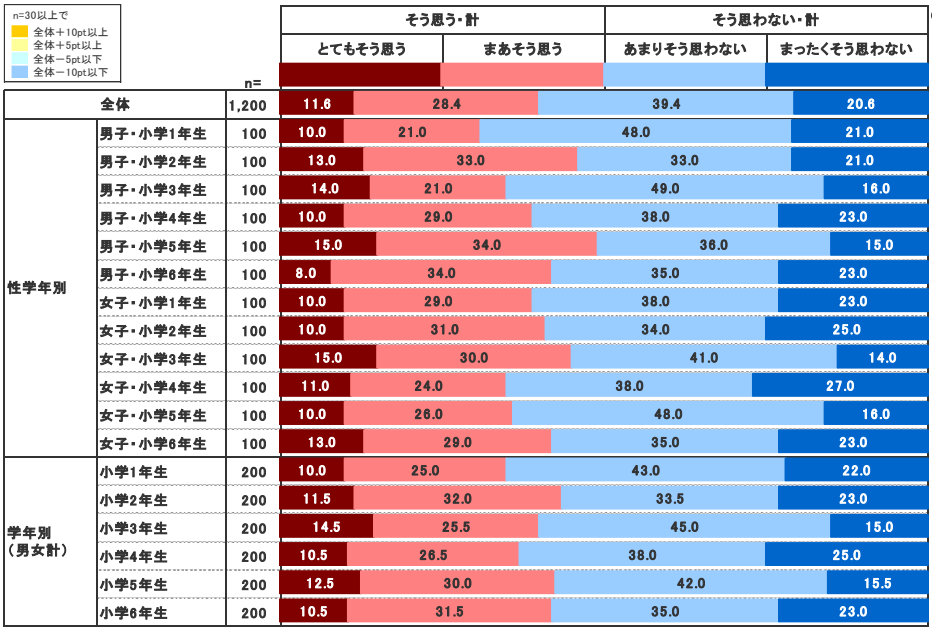
また、2013 年の同調査[25]「あなたは将来、外国に行って勉強したいと思いますか」では、「とてもそう思う」（6.7%）、「まあそう思う」（29.9%）を合わせた「そう思う・計」は 36.6%であった。海外渡航回数や行ってみたい国の調査と同様、この設問からも小学生のグローバル意識は少々低下しているように思える。また、2013 年調査では 17.4%であった「まったくそう思わない」が、今回調査では 26.3%と 10 ポイント近くも上昇していることも注目に値するだろう。

[25]学研教育総合研究所、“留学希望”、「小学生白書 Web 版　2013 年 3 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201303/chapter27/index.html

留学への意識（保護者）

子どもに留学してほしいという希望がある保護者は 40.0%

【図 37】あなたは将来、お子さまに留学して欲しいと思いますか。



		n=	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	そう思う・計	そう思わない・計
全体		1,200	11.6	28.4	39.4	20.6	40.0	60.0
性学年別	男子・小学1年生	100	10.0	21.0	48.0	21.0	31.0	69.0
	男子・小学2年生	100	13.0	33.0	33.0	21.0	46.0	54.0
	男子・小学3年生	100	14.0	21.0	49.0	16.0	35.0	65.0
	男子・小学4年生	100	10.0	29.0	38.0	23.0	39.0	61.0
	男子・小学5年生	100	15.0	34.0	36.0	15.0	49.0	51.0
	男子・小学6年生	100	8.0	34.0	35.0	23.0	42.0	58.0
	女子・小学1年生	100	10.0	29.0	38.0	23.0	39.0	61.0
	女子・小学2年生	100	10.0	31.0	34.0	25.0	41.0	59.0
	女子・小学3年生	100	15.0	30.0	41.0	14.0	45.0	55.0
	女子・小学4年生	100	11.0	24.0	38.0	27.0	35.0	65.0
	女子・小学5年生	100	10.0	26.0	48.0	16.0	36.0	64.0
	女子・小学6年生	100	13.0	29.0	35.0	23.0	42.0	58.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	10.0	25.0	43.0	22.0	35.0	65.0
	小学2年生	200	11.5	32.0	33.5	23.0	43.5	56.5
	小学3年生	200	14.5	25.5	45.0	15.0	40.0	60.0
	小学4年生	200	10.5	26.5	38.0	25.0	37.0	63.0
	小学5年生	200	12.5	30.0	42.0	15.5	42.5	57.5
	小学6年生	200	10.5	31.5	35.0	23.0	42.0	58.0

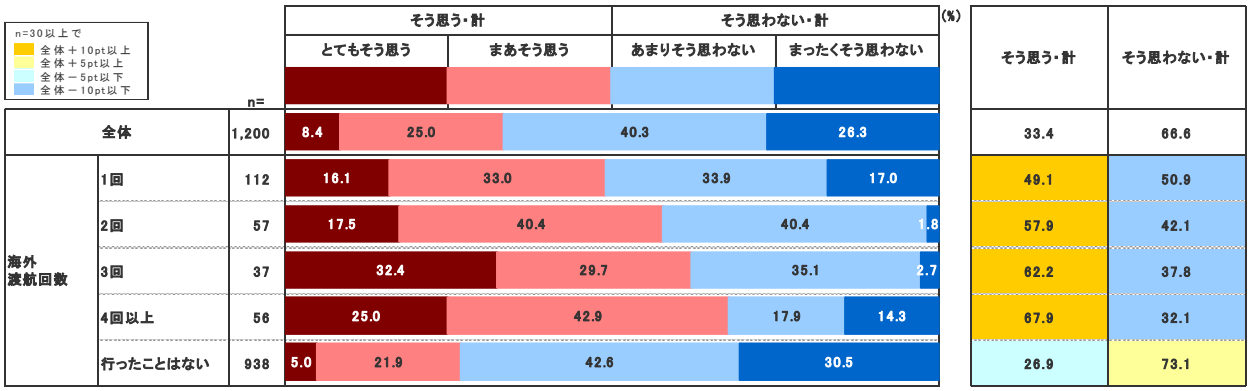
小学生における英語教育の義務化の流れの中で、子どもに「留学して欲しい」と思っている保護者はどれくらいを占めるのだろうか。保護者全体で、「とてもそう思う」が 11.6%、「まあそう思う」は 28.4%で、合わせると 40.0%となる。従って、子どもに「留学して欲しい」と思っている保護者は、全体の半数に満たないことが分かった。

男子 5 年生が 49.0%、女子 2 年生 43.5%とピークはあるが、学年や性別による差は大きくないといえるだろう。また、「とてもそう思う」は全体の 11.6%で、男女学年を通して 8.0～15.0%と 2 割以下であることがわかる。

海外渡航と留学への興味の関係

海外に行ったことがある子ほど留学希望強し！

【図 38】海外渡航回数×留学希望



留学希望の有無を海外渡航回数ごとに見てみると、海外への渡航経験回数が多いほど、将来留学してみたいと考えている子が多いことが分かった。何度か海外に行った経験があると、その時の楽しかった経験などから「海外で勉強してみたい」という気持ちが育つようだ。一方、海外渡航経験のない子の海外への抵抗感は強く、「留学したくない」と答えた子は 73.1%となった。

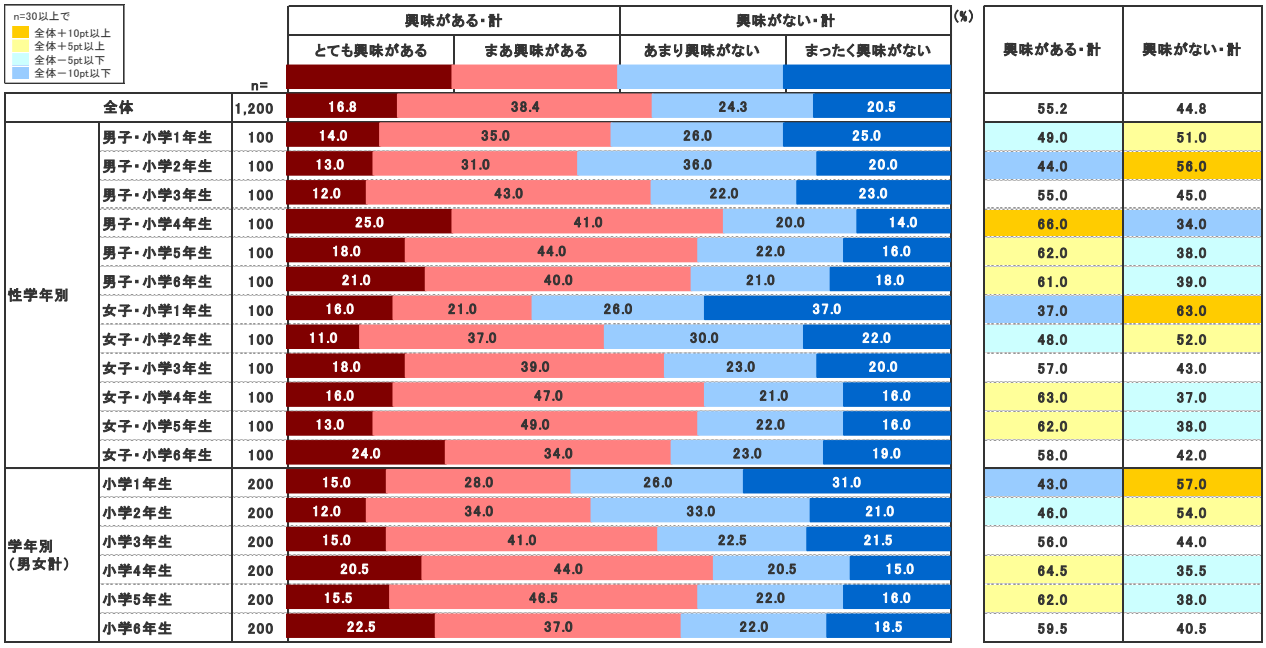
また、「海外渡航回数 4 回以上」に注目してみると、「留学したい・計」は 67.9%ともっとも高い反面、2～3 回海外渡航経験のある子に比べて「まったく留学したいと思わない」と答えた子がかなり増える（14.3%）ことがわかる。これは、海外に対する「なんとなく楽しい」という意識が、何度も海外への渡航を経験することで変わってくるのではないかと考えられる。

10. オリンピック・パラリンピック

オリンピックへの興味

半数以上が東京オリンピックに「興味がある」。もっとも「興味がない」のは 1 年生女子。

【図 39】あなたは、2020 年東京オリンピック・パラリンピックについて興味はありますか。



		n=	とても興味がある	まあ興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない	興味がある・計	興味がない・計
全体		1,200	16.8	38.4	24.3	20.5	55.2	44.8
性学年別	男子・小学1年生	100	14.0	35.0	26.0	25.0	49.0	51.0
	男子・小学2年生	100	13.0	31.0	36.0	20.0	44.0	56.0
	男子・小学3年生	100	12.0	43.0	22.0	23.0	55.0	45.0
	男子・小学4年生	100	25.0	41.0	20.0	14.0	66.0	34.0
	男子・小学5年生	100	18.0	44.0	22.0	16.0	62.0	38.0
	男子・小学6年生	100	21.0	40.0	21.0	18.0	61.0	39.0
	女子・小学1年生	100	16.0	21.0	26.0	37.0	37.0	63.0
	女子・小学2年生	100	11.0	37.0	30.0	22.0	48.0	52.0
	女子・小学3年生	100	18.0	39.0	23.0	20.0	57.0	43.0
	女子・小学4年生	100	16.0	47.0	21.0	16.0	63.0	37.0
	女子・小学5年生	100	13.0	49.0	22.0	16.0	62.0	38.0
	女子・小学6年生	100	24.0	34.0	23.0	19.0	58.0	42.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	15.0	28.0	26.0	31.0	43.0	57.0
	小学2年生	200	12.0	34.0	33.0	21.0	46.0	54.0
	小学3年生	200	15.0	41.0	22.5	21.5	56.0	44.0
	小学4年生	200	20.5	44.0	20.5	15.0	64.5	35.5
	小学5年生	200	15.5	46.5	22.0	16.0	62.0	38.0
	小学6年生	200	22.5	37.0	22.0	18.5	59.5	40.5

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックについて「とても興味がある」「まあ興味がある」と答えた「興味がある・計」は、全体で 55.2%。男女別で見るとやや男子の方が興味を持っていることがわかる。

「興味がない」と答えた人数が最も多いのは 1 年生女子で、「あまり興味がない（26.0%）」「まったく興味がない（37.0%）」を合わせた「興味がない・計」は実に 63.0%にものぼる。

「興味がある」比率は、1 年生を最低として学年を経るごとに段階的に増加し、4 年生をピークとして微減する。

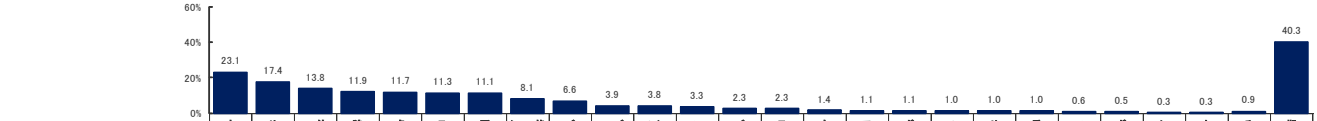
2014 年調査[26]では、同じ東京オリンピックについて「2020 年東京オリンピックについてどんな思いを持っていますか。あてはまるものをすべて教えてください」という質問をした。その結果、「あまり興味がない」と答えたのは 28.7%であった。リオオリンピックの開催や、オリンピック・パラリンピック教育の推進が影響しているのか、2 年前と比べ東京オリンピックに関心のある小学生は増加しているようだ。

[26]学研教育総合研究所、“7. サブテーマ①「東京五輪 2020」　東京五輪への思い”、「小学生白書 Web 版 2014 年 9 月調査」、http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201409/chapter7/01.html

楽しみにしている種目

安定した人気の「水泳」、男子に人気の「サッカー」

【図 40】あなたは 2020 年東京オリンピック・パラリンピックで楽しみにしている種目はありますか。以下の中から当てはまるものをすべて選んでください。



n=30以上で
全体＋10pt以上
全体＋5pt以上
全体－5pt以下
全体－10pt以下

		n=	水泳	サッカー	体操（新体操・トランポリン）	陸上	卓球	テニス	野球	格闘技（柔道・空手・剣道・ボクシング・レスリングなど）	バドミントン	バレーボール（ビーチバレー）	シンクロナイズドスイミング	ソフトボール	バスケットボール	ラグビー	自転車	アーチェリー	ボルダリング	スケートボード	サーフィン	重量挙げ	フェンシング	ボート・カヌー・ヨット	ショートボード（男女）	ホッケー	その他	期待している種目はない
	全体	1,200	23.1	17.4	13.8	11.9	11.7	11.3	11.1	8.1	6.6	3.9	3.8	3.3	2.3	2.3	1.4	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.6	0.5	0.3	0.3	0.9	40.3
性学年別	男子・小学1年生	100	18.0	19.0	16.0	9.0	9.0	7.0	7.0	6.0	3.0	2.0	2.0	5.0	2.0	2.0	2.0	–	1.0	–	–	1.0	–	–	–	–	1.0	43.0
	男子・小学2年生	100	20.0	24.0	8.0	10.0	10.0	3.0	23.0	12.0	5.0	2.0	–	4.0	1.0	3.0	4.0	2.0	–	1.0	2.0	1.0	–	–	–	–	1.0	45.0
	男子・小学3年生	100	19.0	27.0	11.0	14.0	10.0	11.0	17.0	12.0	4.0	1.0	3.0	2.0	3.0	4.0	–	–	1.0	–	–	–	–	–	–	–	1.0	37.0
	男子・小学4年生	100	29.0	34.0	13.0	17.0	15.0	14.0	18.0	9.0	4.0	3.0	2.0	3.0	4.0	2.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	–	–	–	–	–	29.0
	男子・小学5年生	100	25.0	32.0	16.0	18.0	16.0	17.0	21.0	13.0	6.0	5.0	1.0	6.0	6.0	3.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	1.0	1.0	1.0	2.0	27.0
	男子・小学6年生	100	19.0	30.0	17.0	19.0	11.0	15.0	24.0	15.0	3.0	3.0	1.0	6.0	3.0	8.0	1.0	2.0	–	–	1.0	2.0	1.0	2.0	–	–	1.0	33.0
	女子・小学1年生	100	19.0	11.0	8.0	7.0	6.0	10.0	3.0	3.0	5.0	5.0	6.0	6.0	1.0	2.0	4.0	2.0	1.0	3.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	–	50.0
	女子・小学2年生	100	23.0	6.0	11.0	7.0	7.0	6.0	3.0	5.0	5.0	8.0	5.0	2.0	2.0	–	–	–	2.0	1.0	1.0	–	–	–	–	–	1.0	49.0
	女子・小学3年生	100	27.0	5.0	21.0	9.0	12.0	12.0	3.0	4.0	11.0	2.0	8.0	1.0	2.0	2.0	–	3.0	2.0	1.0	3.0	–	–	–	–	1.0	4.0	40.0
	女子・小学4年生	100	35.0	9.0	16.0	13.0	14.0	13.0	7.0	6.0	8.0	6.0	7.0	1.0	1.0	–	–	1.0	–	1.0	–	–	1.0	–	–	–	–	38.0
	女子・小学5年生	100	22.0	4.0	15.0	11.0	14.0	15.0	3.0	5.0	13.0	4.0	5.0	–	–	–	–	–	1.0	1.0	–	–	–	–	–	–	–	48.0
	女子・小学6年生	100	21.0	8.0	13.0	9.0	16.0	13.0	4.0	7.0	12.0	6.0	6.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	3.0	1.0	2.0	2.0	1.0	–	44.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	18.5	15.0	12.0	8.0	7.5	8.5	5.0	4.5	4.0	3.5	4.0	5.5	1.5	2.0	3.0	1.0	1.0	1.5	0.5	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	46.5
	小学2年生	200	21.5	15.0	9.5	8.5	8.5	4.5	13.0	8.5	5.0	5.0	2.5	3.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.5	0.5	–	–	–	–	1.0	47.0
	小学3年生	200	23.0	16.0	16.0	11.5	11.0	11.5	10.0	8.0	7.5	1.5	5.5	1.5	2.5	3.0	–	1.5	1.5	0.5	1.5	–	–	–	–	0.5	2.5	38.5
	小学4年生	200	32.0	21.5	14.5	15.0	14.5	13.5	12.5	7.5	6.0	4.5	4.5	2.0	2.5	1.0	1.5	1.0	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	–	–	–	–	33.5
	小学5年生	200	23.5	18.0	15.5	14.5	15.0	16.0	12.0	9.0	9.5	4.5	3.0	3.0	3.0	1.5	1.0	0.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	0.5	0.5	0.5	1.0	37.5
	小学6年生	200	20.0	19.0	15.0	14.0	13.5	14.0	14.0	11.0	7.5	4.5	3.5	4.5	3.0	4.5	1.0	1.5	1.0	0.5	1.0	2.5	1.0	2.0	1.0	0.5	0.5	38.5

※全体の値を基準に降順並び替え

東京オリンピック・パラリンピックでもっとも楽しみにしている競技は「水泳」が 23.1%で 1 位となった。子どもの習い事としても人気の高い水泳は、オリンピック・パラリンピックでの注目度もかなり高いようだ。

2 位のサッカーは、全体では 17.4%だが 4～6 年生男子では 30%以上がサッカーを楽しみにしている、と答えたのに対し、女子では各学年ほぼ 10%以下と、男女の差がはっきり表れる結果となった。小学生男子のサッカー人気は、「将来の夢」「海外に行きたい理由」などからも読み取ることができる。続く 3 位は体操（13.8%）、4 位は陸上（11.9%）、5 位は卓球（11.7%）という結果に。直近のリオオリンピック・パラリンピックでメダルラッシュとなったレスリングや柔道を含む「格闘技」は 8.1%で、意外にも第 8 位となった。ルールの難しさなどにも理由があるのかもしれない。

11. 夏休みについて

夏休みの長さ

夏休みの長さは 31～40 日が多い傾向。東北・北海道は短い。

【図 41】夏休みの長さはどれくらいですか。

(%)

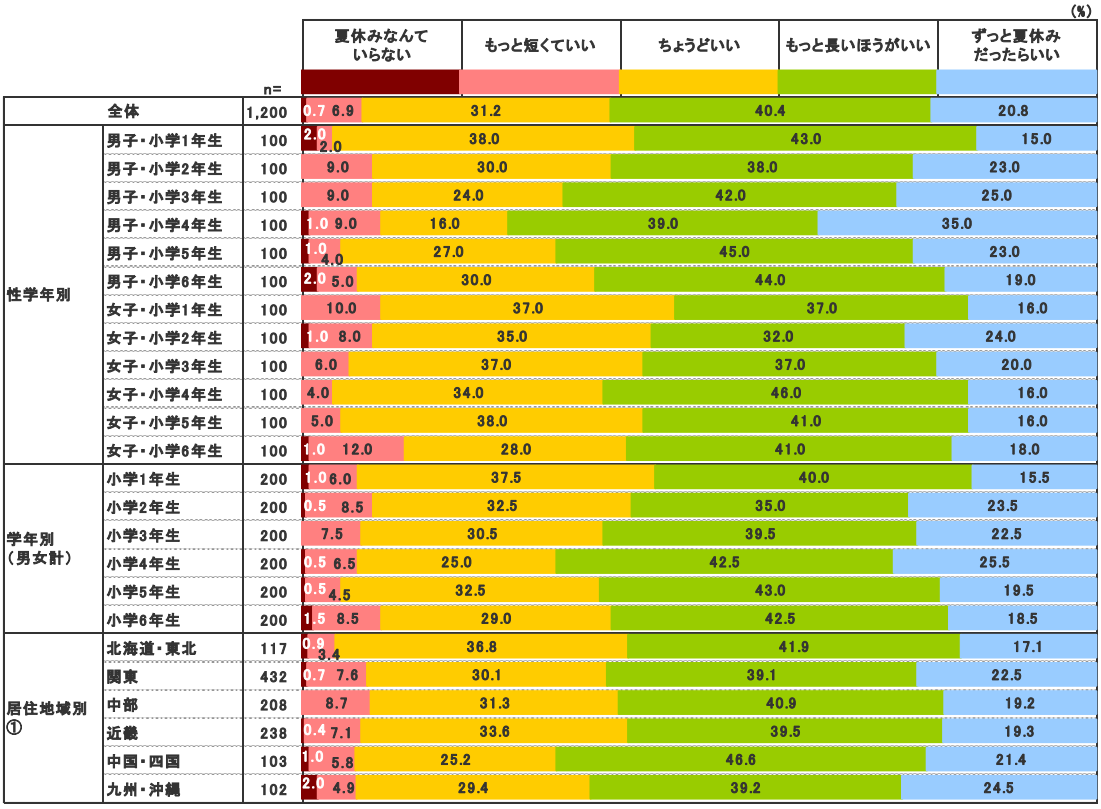
		n=	30日間未満	31日～35日間	36日～40日間	41日以上
全体		1,200	15.9	33.0	36.1	15.0
性学年別	男子・小学1年生	100	16.0	34.0	37.0	13.0
	男子・小学2年生	100	20.0	32.0	30.0	18.0
	男子・小学3年生	100	14.0	37.0	30.0	19.0
	男子・小学4年生	100	11.0	29.0	42.0	18.0
	男子・小学5年生	100	15.0	28.0	42.0	15.0
	男子・小学6年生	100	16.0	29.0	44.0	11.0
	女子・小学1年生	100	13.0	39.0	32.0	16.0
	女子・小学2年生	100	20.0	33.0	38.0	9.0
	女子・小学3年生	100	18.0	30.0	32.0	20.0
	女子・小学4年生	100	13.0	42.0	32.0	13.0
	女子・小学5年生	100	19.0	29.0	41.0	11.0
	女子・小学6年生	100	16.0	34.0	33.0	17.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	14.5	36.5	34.5	14.5
	小学2年生	200	20.0	32.5	34.0	13.5
	小学3年生	200	16.0	33.5	31.0	19.5
	小学4年生	200	12.0	35.5	37.0	15.5
	小学5年生	200	17.0	28.5	41.5	13.0
	小学6年生	200	16.0	31.5	38.5	14.0
居住地域別①	北海道・東北	117	65.0		31.6	3.4
	関東	432	8.1	36.1	39.1	16.7
	中部	208	16.3	27.9	38.5	17.3
	近畿	238	10.1	34.0	41.2	14.7
	中国・四国	103	10.7	29.1	42.7	17.5
	九州・沖縄	102	10.8	33.3	37.3	18.6

日本全国の小学生の夏休みの長さはどのくらいだろうか。調査からは 36～40 日間(36.1%)、31～35 日間（33.0%)、30 日間未満（15.9%)、41 日間以上（15.0%）の順に多いことが分かった。31～40 日間が約 7 割を占めており、30 日間未満と 41 日間以上の割合はほぼ同じとなった。また、居住地域別に見ると北海道・東北では 30 日間未満（65.0%）が圧倒的に多く、夏休みの長さは他の地域と比べて短いことが分かった。その背景として、寒冷地特有の気候が影響していることが考えられるが、夏休みが短い分、冬休みの長さや秋休み・臨時休み等などに反映されている可能性がある。一方、他の地域では夏休みの長さに特筆すべき違いは見られなかった。

夏休みの長さへの意識

夏休みがもっと長ければ良いと思う小学生は約 6 割

【図 42】夏休みの長さについてどう思いますか。



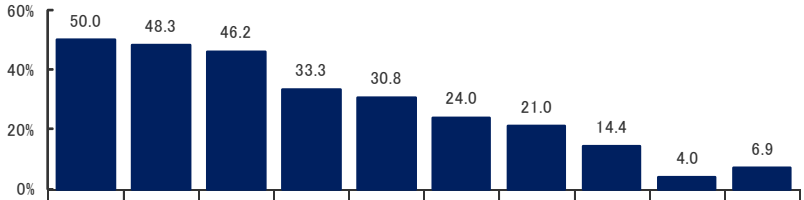
小学生は夏休みの長さをどのように捉えているのだろうか。「夏休みの長さについてどう思いますか。」の設問に対し、選択式で答えてもらった結果が【図 42】である。調査によると、夏休みが「もっと長い方がいい」（40.4%）、「ちょうどいい」（31.2%）、「ずっと夏休みだったらいい」（20.8%）の順となった。夏休みが「もっと長い方がいい」と「ずっと夏休みだったらいい」を併せると、全体の約 6 割の小学生が新学期に対して消極的ではあるものの、「ちょうどいい」や「もっと短くていい」（6.9%）等が約 4 割で、新学期を肯定的に捉えている子どもも少なくない。

また、地域によって夏休みの長さにばらつきはある一方で、小学生の捉え方に地域ごとの大きなばらつきは見られなかった。特に北海道・東北地方の小学生は夏休みの長さが他地域と比べて短いにも関わらず、それに対する意識は他地域の小学生と大きな差は見られなかった点は興味深い。

夏休みの過ごし方

夏休みの過ごし方は男女間に差が出る

【図 43】今年（2016 年）の夏休みは何をしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		n=	家のお手伝い	自由研究	国内旅行	アウトドア（キャンプ・海・コンサート・イベント）	里帰り	遊園地	たくさん本を読む	夏期講習	海外旅行	その他
	全体	1,200	50.0	48.3	46.2	33.3	30.8	24.0	21.0	14.4	4.0	6.9
性学年別	男子・小学1年生	100	45.0	38.0	38.0	42.0	33.0	27.0	15.0	7.0	2.0	7.0
	男子・小学2年生	100	51.0	40.0	43.0	40.0	35.0	21.0	28.0	9.0	5.0	7.0
	男子・小学3年生	100	48.0	46.0	42.0	41.0	39.0	32.0	21.0	18.0	1.0	7.0
	男子・小学4年生	100	51.0	61.0	42.0	41.0	36.0	23.0	12.0	13.0	4.0	9.0
	男子・小学5年生	100	45.0	52.0	55.0	30.0	31.0	23.0	11.0	17.0	5.0	8.0
	男子・小学6年生	100	26.0	52.0	49.0	26.0	21.0	12.0	10.0	25.0	4.0	11.0
	女子・小学1年生	100	54.0	29.0	49.0	42.0	28.0	29.0	23.0	7.0	5.0	6.0
	女子・小学2年生	100	58.0	40.0	48.0	35.0	26.0	29.0	24.0	10.0	8.0	7.0
	女子・小学3年生	100	57.0	53.0	49.0	33.0	29.0	19.0	30.0	9.0	4.0	8.0
	女子・小学4年生	100	59.0	61.0	46.0	21.0	29.0	25.0	30.0	16.0	1.0	5.0
	女子・小学5年生	100	55.0	49.0	50.0	24.0	31.0	26.0	28.0	22.0	5.0	4.0
	女子・小学6年生	100	51.0	58.0	43.0	25.0	32.0	22.0	20.0	20.0	4.0	4.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	49.5	33.5	43.5	42.0	30.5	28.0	19.0	7.0	3.5	6.5
	小学2年生	200	54.5	40.0	45.5	37.5	30.5	25.0	26.0	9.5	6.5	7.0
	小学3年生	200	52.5	49.5	45.5	37.0	34.0	25.5	25.5	13.5	2.5	7.5
	小学4年生	200	55.0	61.0	44.0	31.0	32.5	24.0	21.0	14.5	2.5	7.0
	小学5年生	200	50.0	50.5	52.5	27.0	31.0	24.5	19.5	19.5	5.0	6.0
	小学6年生	200	38.5	55.0	46.0	25.5	26.5	17.0	15.0	22.5	4.0	7.5

※全体の値を基準に降順並び替え

夏休みの過ごし方の上位 3 つは「家のお手伝い」（50.0%）、「自由研究」（48.3%）、「国内旅行」（46.2%）となったが、男子と女子の違いが目立つ結果となった。

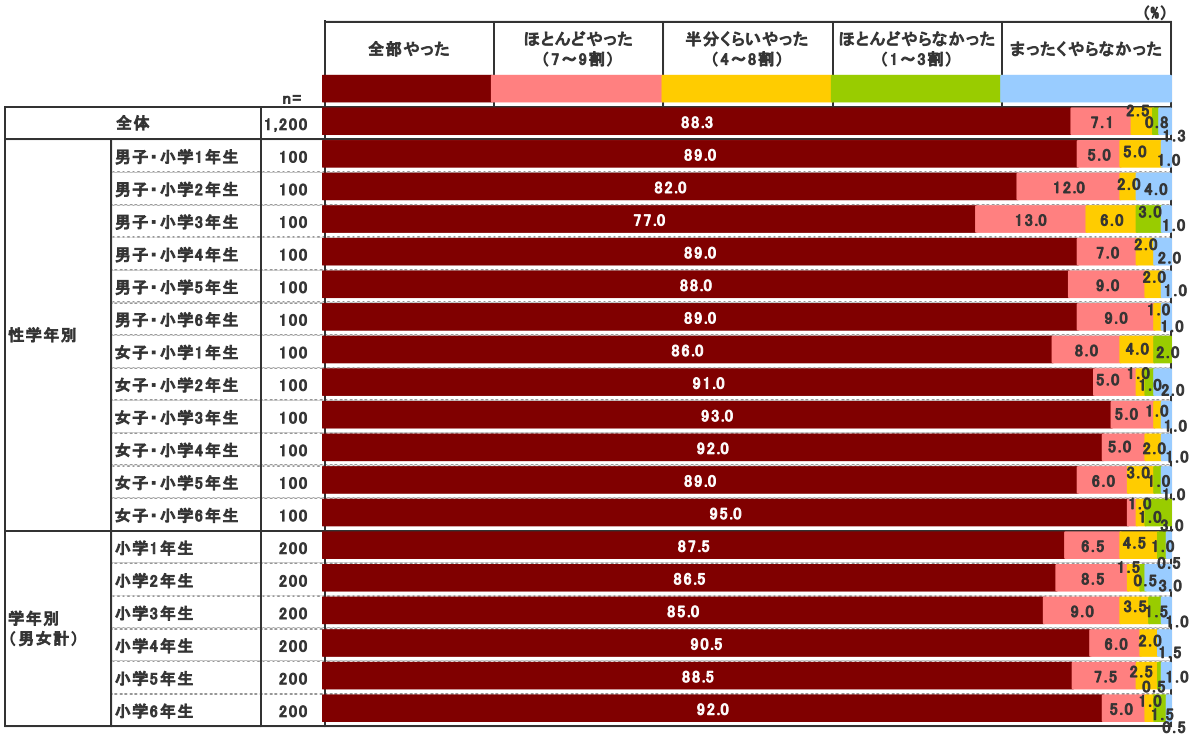
「家のお手伝い」に関しては、男子より女子の割合が高く、2～年生女子は全体平均を常に 5 ポイント以上上回っている。また、同様の傾向は「たくさん本を読む」（21.0%）にも見られ、5、6 年生女子は男子と約 2 倍以上の開きがあることが分かる。一方、「アウトドア（キャンプ・海・コンサート・イベント）」（33.3%）では男子が女子を上回っている。ここから、男子と女子に対する保護者や周囲の教育観の違いがあることが伺える。

学年別に見ると、5、6 年生は中学受験対策といった「夏期講習」（14.4%）が増えることから、「家のお手伝い」や「アウトドア（キャンプ・海・コンサート・イベント）」、「たくさん本を読む」などの割合が減っていることが想像できる。

夏休みの宿題（どれくらいやったか）

小学生の約 9 割は夏休みの宿題を全部やりきっている！

【図 44】あなたは、夏休みの宿題をどれくらいやりましたか。



全体の 88.3%の小学生が「全部やった」と回答しており、ほとんどの小学生が出された宿題を最後までやりきってから新学期を迎えていることが分かった。学校という習慣的な仕掛けがない分、低学年ほど出された宿題をやり終えることに困難を来すことが想像されるが、低学年でも 9 割近くがやりきっている。また、男女別に見ると、小学 2 年生以降は女子の方が男子よりも宿題をやりきっている割合が高いことが分かる。【図 43】の「夏休みの過ごし方」から考えると、女子の方が男子より家で過ごす時間が長いことも関係しているのかもしれない。

夏休みの宿題（いつやったか）

始めにまとめてやる、もしくは計画的に宿題をする子が 85.4%

【図 45】あなたは、夏休みの宿題をいつやりましたか。

(%)

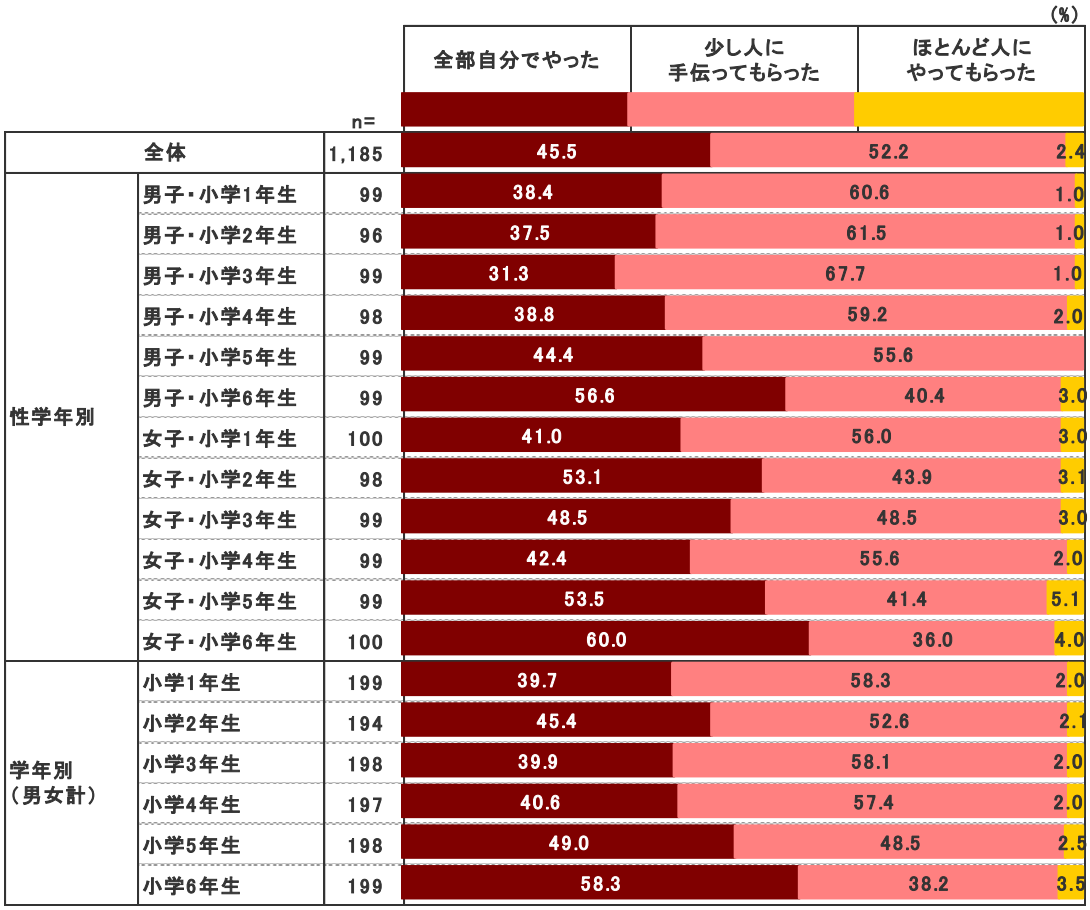
		n=	夏休みの始めの方にまとめてやった	毎日少しずつやった	最後にまとめてやった
全体		1,185	28.9	56.5	14.5
性学年別	男子・小学1年生	99	33.3	57.6	9.1
	男子・小学2年生	96	25.0	62.5	12.5
	男子・小学3年生	99	24.2	54.5	21.2
	男子・小学4年生	98	23.5	53.1	23.5
	男子・小学5年生	99	36.4	45.5	18.2
	男子・小学6年生	99	28.3	52.5	19.2
	女子・小学1年生	100	34.0	58.0	8.0
	女子・小学2年生	98	27.6	60.2	12.2
	女子・小学3年生	99	29.3	63.6	7.1
	女子・小学4年生	99	29.3	58.6	12.1
	女子・小学5年生	99	18.2	60.6	21.2
	女子・小学6年生	100	38.0	52.0	10.0
学年別（男女計）	小学1年生	199	33.7	57.8	8.5
	小学2年生	194	26.3	61.3	12.4
	小学3年生	198	26.8	59.1	14.1
	小学4年生	197	26.4	55.8	17.8
	小学5年生	198	27.3	53.0	19.7
	小学6年生	199	33.2	52.3	14.6

夏休みの宿題を少しでもやった子に対して、「あなたは、夏休みの宿題をいつやりましたか。」と聞いた結果が【図 45】である。「夏休みの始めの方にまとめてやった」（28.9%）と「毎日少しずつやった」（56.5%）を合わせると 85.4%の小学生が計画的に宿題に取り組んでいることが分かる。一方で、夏休み最後にまとめて終わらせる “駆け込みタイプ” は 14.5%と少数派という結果になった。近年、目標を達成するためのモチベーションを維持し続ける力が注目されているが、小学生の頃の習慣は大人になってからの姿勢にも少なからず影響するといえよう。そういう意味では、今回の結果は肯定的に受け取れるのではないだろうか。さらに深めるのであれば、計画性や毎日コツコツ続ける姿勢を維持するために、どのような要因が働いているのか気になるところである。

夏休みの宿題（自分でやったか）

中学年から高学年にかけて、宿題は自力でやる傾向に

【図 46】あなたは、夏休みの宿題を自分でやりましたか。



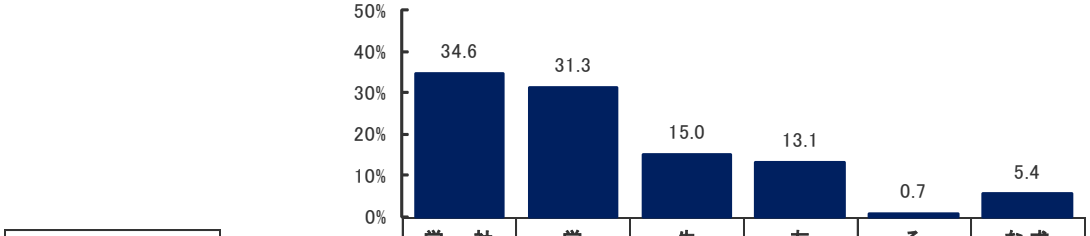
今回の結果を見ると、割合の高い順に「少し人に手伝ってもらった」（52.2%）、「全部自分でやった」（45.5%）、「ほとんど人にやってもらった」（2.4%）という結果になった。約半数の子どもが、宿題について誰かしら頼れる人が身近にいる環境にあることがうかがえる。傾向を見ると、男女共に 3 年生以降は自力でやる割合が高くなっている。高学年になるにつれて塾に通い始める割合が増えることから、勉強や宿題に自力で取り組むことに対する意識が高まることが推測される。

12. 保護者の意識について

学校に求めるもの（保護者）

保護者が学校にもっとも求めるものは「社会規範（ルール）を学ぶ」こと！

【図 47】あなたが、保護者として学校に求める一番大切な役割は何ですか。



		n=	社会基盤（ルール）を学ぶ	学習	生活態度	友達づくり	その他	求めるものはない
全体		1,200	34.6	31.3	15.0	13.1	0.7	5.4
性学年別	男子・小学1年生	100	30.0	30.0	18.0	15.0	1.0	6.0
	男子・小学2年生	100	29.0	37.0	15.0	12.0	－	7.0
	男子・小学3年生	100	35.0	25.0	15.0	17.0	1.0	7.0
	男子・小学4年生	100	29.0	36.0	12.0	15.0	2.0	6.0
	男子・小学5年生	100	38.0	38.0	13.0	10.0	－	1.0
	男子・小学6年生	100	38.0	28.0	17.0	12.0	－	5.0
	女子・小学1年生	100	42.0	19.0	15.0	17.0	－	7.0
	女子・小学2年生	100	38.0	27.0	18.0	11.0	2.0	4.0
	女子・小学3年生	100	36.0	35.0	14.0	9.0	1.0	5.0
	女子・小学4年生	100	33.0	36.0	11.0	10.0	－	10.0
	女子・小学5年生	100	36.0	26.0	17.0	18.0	1.0	2.0
	女子・小学6年生	100	31.0	38.0	15.0	11.0	－	5.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	36.0	24.5	16.5	16.0	0.5	6.5
	小学2年生	200	33.5	32.0	16.5	11.5	1.0	5.5
	小学3年生	200	35.5	30.0	14.5	13.0	1.0	6.0
	小学4年生	200	31.0	36.0	11.5	12.5	1.0	8.0
	小学5年生	200	37.0	32.0	15.0	14.0	0.5	1.5
	小学6年生	200	34.5	33.0	16.0	11.5	－	5.0

※全体の値を基準に降順並び替え

保護者は学校にどのような役割を求めているのだろうか。保護者が、学校に最も求める役割は、「社会規範（ルール）を学ぶ」(34.6%）であった。次いで重要視されているのが、「学習」(31.3%）である。この両項目については、男女・学年によって順位が逆転するところもある。

男女・学年別にみると、女子の保護者の方が男子の保護者よりも、やや「社会規範（ルール）を学ぶ」を重要視する率が高い。

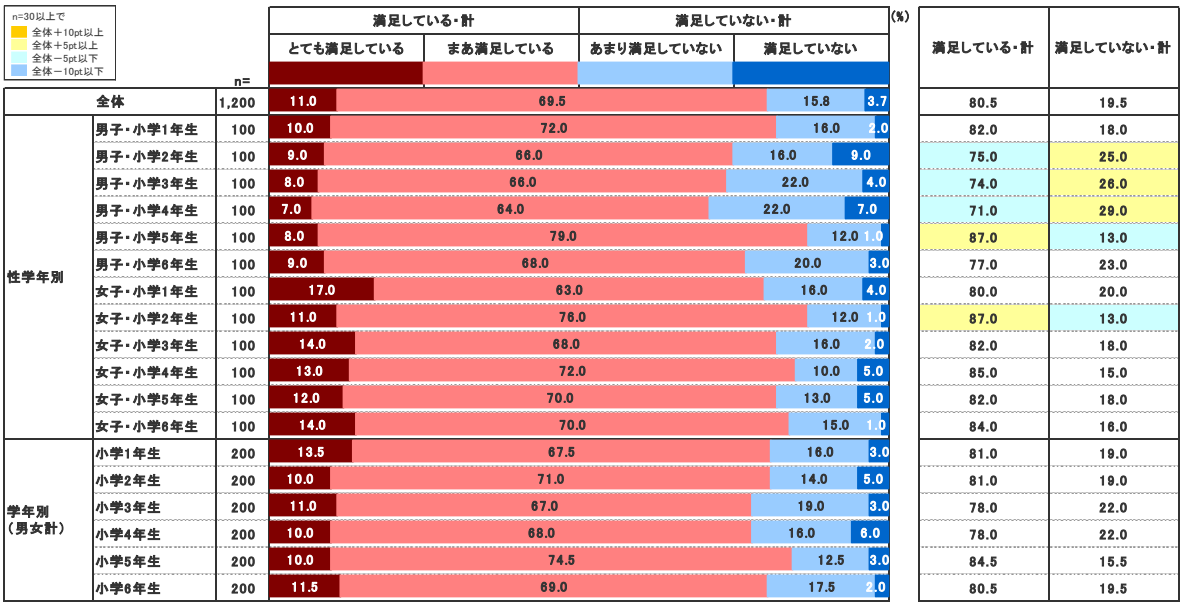
子どもに対する質問「あなたが、学校生活の中で一番大切だと思うものは何ですか。」と比較してみると、子どもは「友達」を選んだ率が最も高かったのに比べ、は「友達づくり」選んだ保護者の割合は全体の 13.1%と高くはない（ただし、選択肢の違いも考慮に入れる

必要はある)。共通して言えることは、子どもも保護者も「学習」よりも「社会性」を求めているということであろうか。

学校に満足しているか（保護者）

保護者の子どもの学校生活に対する満足度は子どもよりも低い

【図 48】あなたは、お子さまの学校生活に満足していますか。



保護者の子どもの学校生活に対する満足度は、「まあ満足している」69.5%が最も多い。「とても満足している」(11.0%)、「満足している・計」は 80.5%であった。子どもを対象に質問した「あなたは学校生活に満足していますか」に「満足している」と答えた子どもは 88.8%であり、子どもに比べると親の満足度は低いと言える。

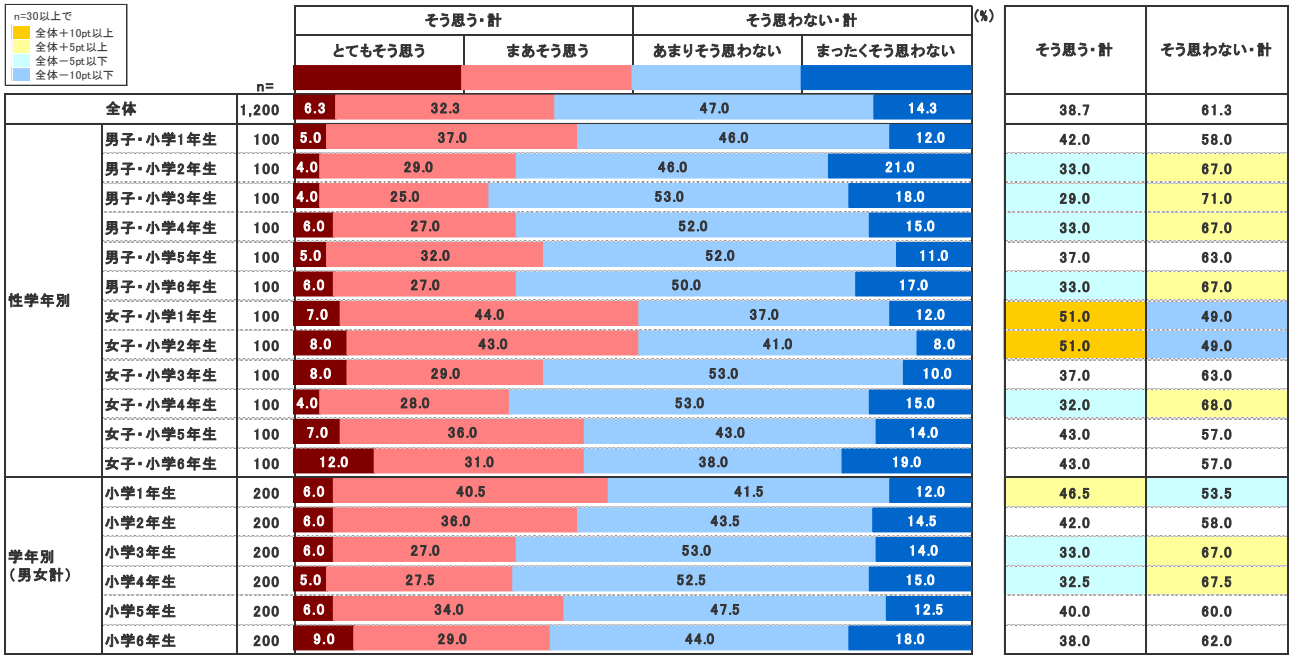
また、全体的には「まあ満足している」「あまり満足していない」の層が 85.3%と厚い。80.5%の内訳は「まあ満足」が 69.5%と多くを占めているといえる。このことから、とても満足している人も、とても不満な人も少ないといえるだろう。

全体的に男子の保護者の方がやや満足度が低い傾向にある。

学習は学校の授業だけで十分か（保護者）

保護者の 61.3%は「学習は学校の授業だけで十分」とは思っていない

【図 49-1】あなたは、学習は学校の授業だけで十分だと思いますか。



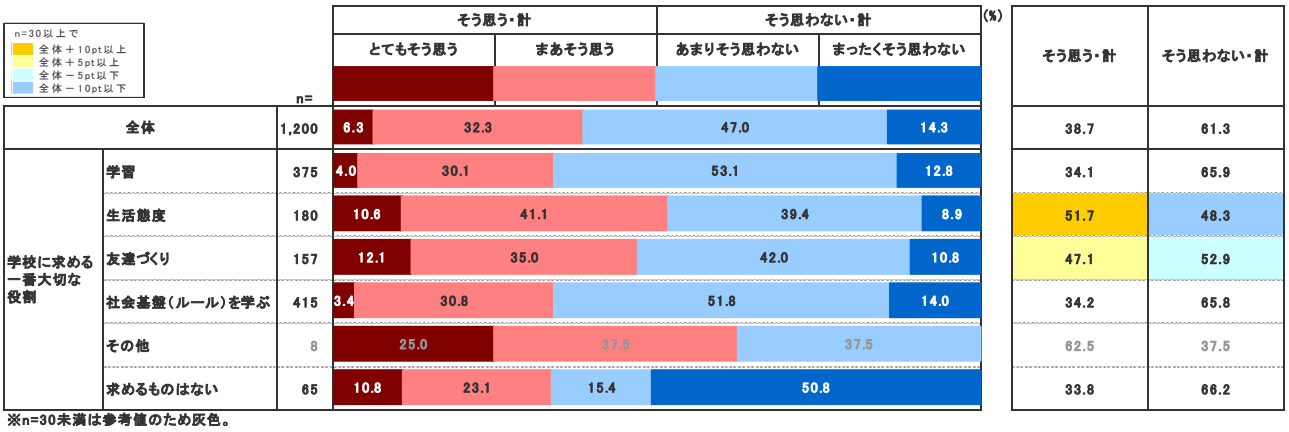
保護者は学校での学習について、どのような思いを持っているのだろうか。「あなたは、学習は学校の授業だけで十分だと思いますか」への答えは、「そうは思わない」(47.0%)、「まったくそうは思わない」(14.3%) を合わせた「そう思わない」が過半数の 61.3%を占めた。6 割以上の保護者が、学校外での学習が必要だと思っていることがわかる。ただし、「まあそう思う」「あまりそうは思わない」と中間の感想を持つ層が厚い。

男女・学年別で「そう思う」の割合を見ていくと、1、2 年女子が共に 51.0%と最も高く、一方で男子は 1 年生が 42.0%と最も高いことから、学校の授業だけで十分と考えているのは女子の保護者に多い傾向があるといえるだろう。

学校に求める役割と授業の満足度の関係（保護者）

「学校に求める一番大切な役割」に「学習」を求める保護者は、「学校の授業に対する満足度」が低い

【図 49-2】学校に求める一番大切な役割（保護者）×学校の授業に対する満足度（保護者）［クロス集計］



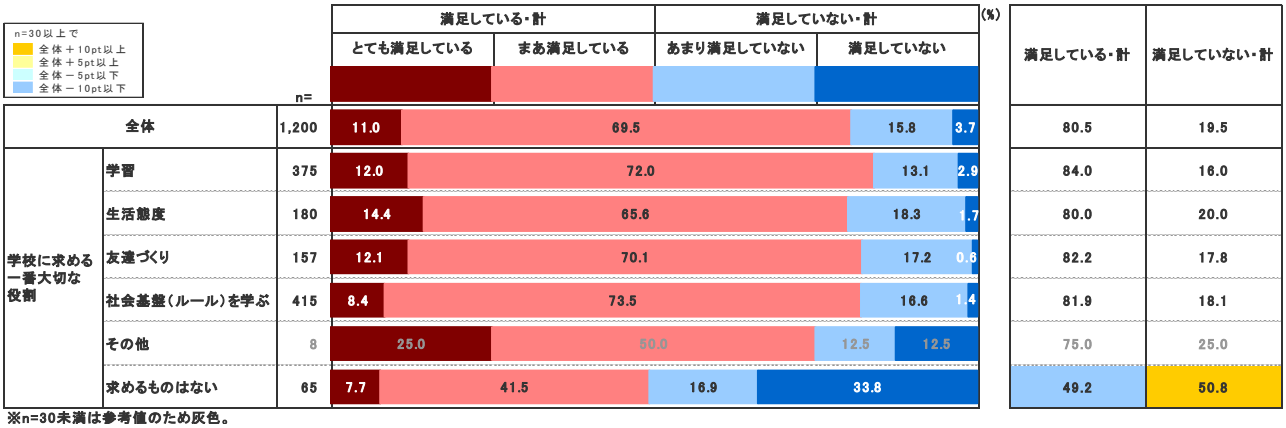
保護者が学校に求める役割によって、学校の授業への満足度には差があるのだろうか。「学校の授業に対する満足度」とのクロス集計を見ると、「学校に求める一番大切な役割」で「学習」を選んだ保護者は、学校の授業に満足しているかという質問に「あまりそう思わない」（53.1%）と回答した割合が最も多く、「まあそう思う」（30.1%）が続く。「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせると 34.1%となり、満足度は低い傾向にある。全体としては、「生活態度」「友達づくり」を選んだ保護者の満足度は 5 割程度であり、「学習」「社会規範（ルール）を守る」を選んだ保護者の満足度は約 3 割という結果になった。

学校に対して「求めるものはない」と答えた保護者は、学校の授業に満足しているかという質問に「まったくそう思わない」と答えた割合が 50.8%であった。学校に「求めるものはない」と答えた保護者が多い一方で、学校に対する満足度は低いという相反する結果が出た。これについては、学校に対して明確な要求がなかったり、もともと学校への期待度が低かったりする保護者が満足度も低いという可能性考えられるのではないだろうか。

学校に求める役割と学校の満足度の関係

「(学校に) 求めるものはない」を選んだ保護者は学校への満足度が低い

【図 49-3】学校に求める一番大切な役割（保護者）×学校への満足度（保護者）



※n=30未満は参考値のため灰色。

保護者が学校に求める役割によって、学校への満足度には差があるのだろうか。「あなたは、保護者として学校に求める一番大切な役割は何ですか」の問いに「学習」を選んだ保護者は、学校に「まあ満足している」(72.0%) 割合が最も高く。「満足している・計」は 84.0%となり、授業に対しての満足度（34.1%）と比較して学校全体に対しての満足度は高い。ここから“学校の授業だけで十分だと考えているわけではないが、学校自体にはおおむね満足”という姿が見えてくる。

また、求める役割別に「満足している・計」を見ていくと、「生活態度」を選んだ保護者は、「満足している・計」80.0%「友達づくり」を選んだ保護者は、82.2%、「社会規範（ルール）を守る」を選んだ保護者は、81.9%と、おおむね授業に対する満足度より高い結果となった。

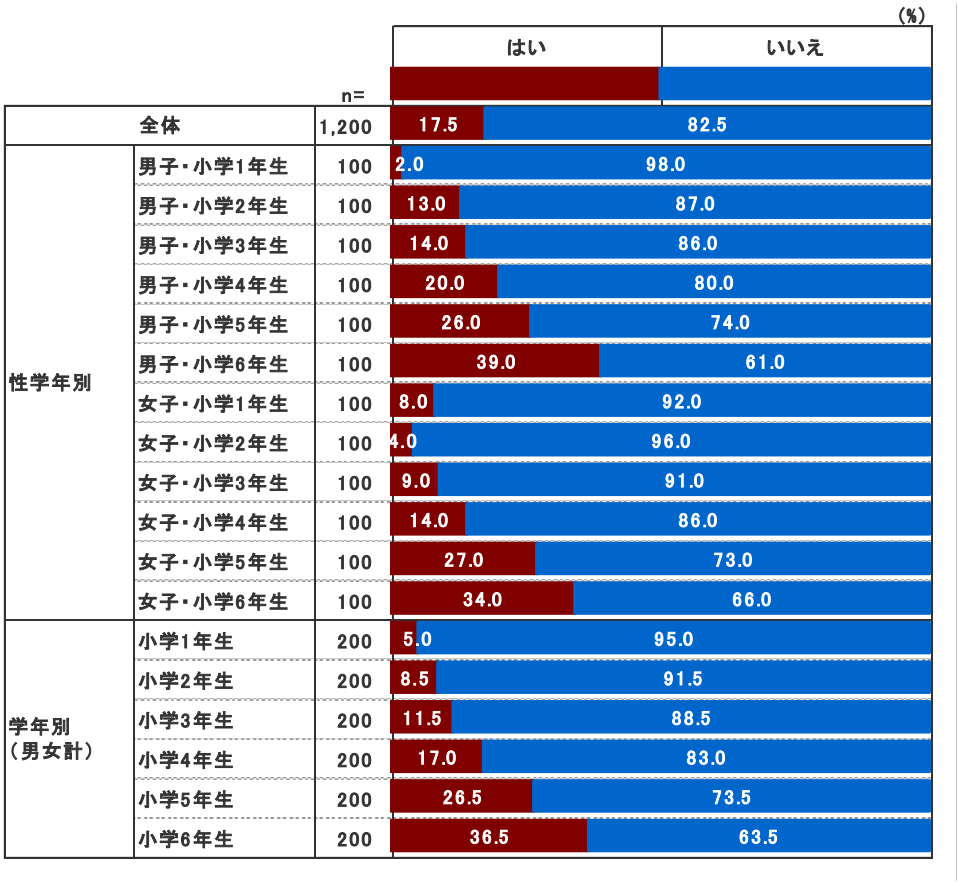
「求めるものはない」を選んだ保護者は、「まあ満足している」(41.5%) が最も多く、「満足していない」33.8%が続く。「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせると 49.2%となり、他の選択肢よりも満足度は 3 割ほど低い。

【図 49-2】に示した「学校に求める一番大切な役割×学校の授業に対する満足度[クロス集計]」に続き、学校に「求めるものはない」と答えた保護者は、学校に「満足していない計」(50.8%) という結果が出ている。ここでも、もともと学校への期待度が低い保護者は、学校への満足度も低いという見方ができるのではないだろうか。

主権者教育（学校でやったか）

学校で選挙について学ぶ機会が多いのは、やはり 6 年生！

【図 50】学校で選挙について学びましたか。



2015 年より、選挙権年齢が 20 歳以上から 18 歳以上に引き下げられたが、小学生にその影響はあるのだろうか。学校で選挙について学んだのは全体で 17.5%で、2 割以下であった。男女とも最大値になるのは 6 年生で、男子は 39.0%、女子は 34.0%である。ともに 1 年生から 6 年生へとなだらかに増加する傾向がある。5 年生では、26.5%が学校で選挙について学んでいる。

現行の学習指導要領では、6 年生で地方公共団体や国の政治について学ぶことになっているが、教科書には後半に位置することが多い。このアンケートでの数値が 36.5%にとどまったのは、アンケート調査時期が 9 月であったことも影響しているだろう。

文科省の「主権者教育の推進プロジェクト」[27]では、小学校・中学校、高等学校のみならず、幼稚園に通う子どもたちも視野に入れている。小学校・中学校、高等学校の次期学習指導

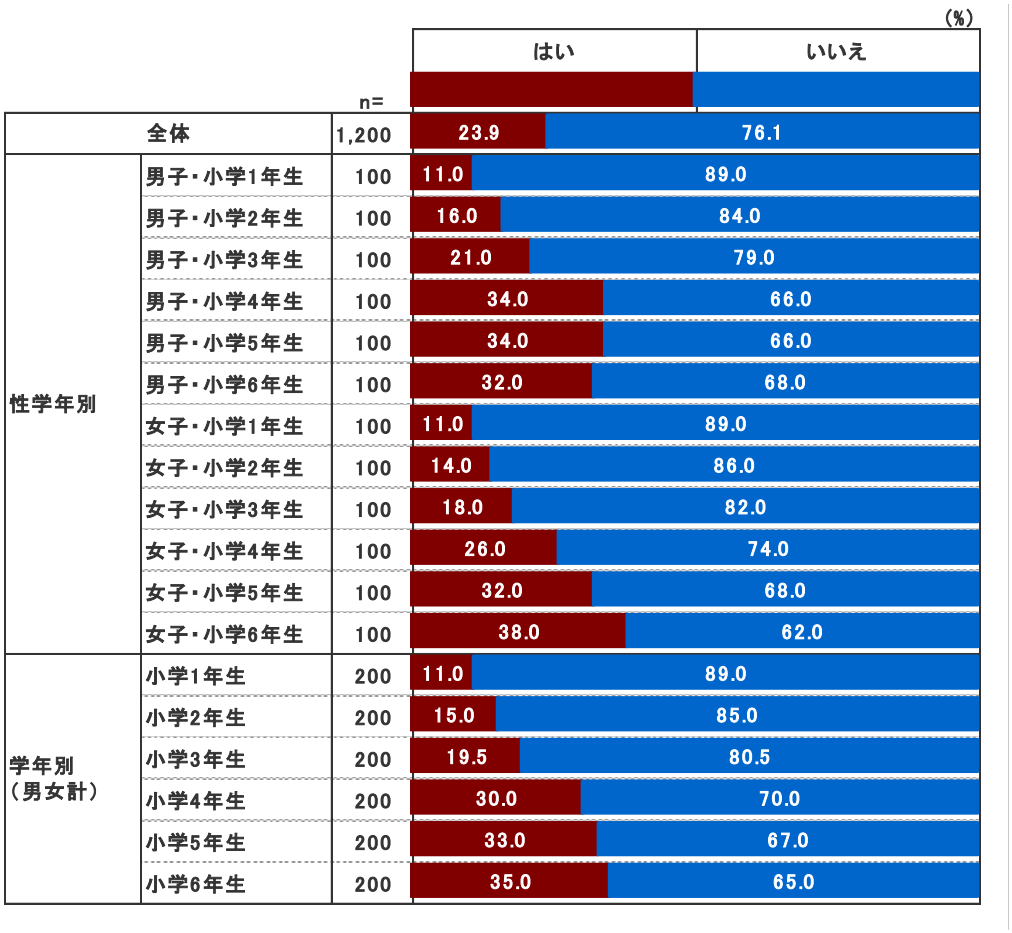
[27] 文科省、「主権者教育の推進に関する検討チーム　中間まとめ　概要」、2016 年 3 月
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2016/04/13/1369159_01.pdf

要領の改訂に向けてプロジェクトを進めていることから、主権者教育がどのような位置を占めるのか、今後の変化を見たい。

主権者教育（家族と話すか）

家族と選挙について話したのは全体で 23.9%。学校で学ぶ割合よりも高い。

【図 51】家族と選挙について話しますか。

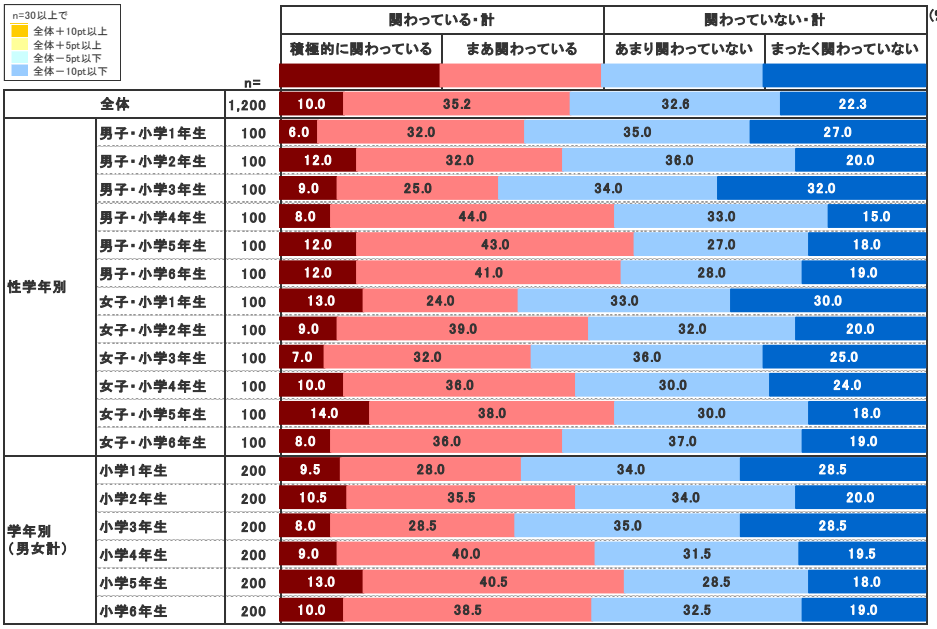


小学生は家庭で選挙の話をしているのだろうか。家族と選挙について話したのは、全体の 23.9%であった。学校で学んだと答えた子どもの割合は全体 17.2%だったので、比較すると選挙に関する話題には学校より家庭で触れることの方が多いと言える。男女共に学年が上がるにしたがって、選挙に対する意識が徐々に高まることが見受けられる。

ＰＴＡについて（保護者）

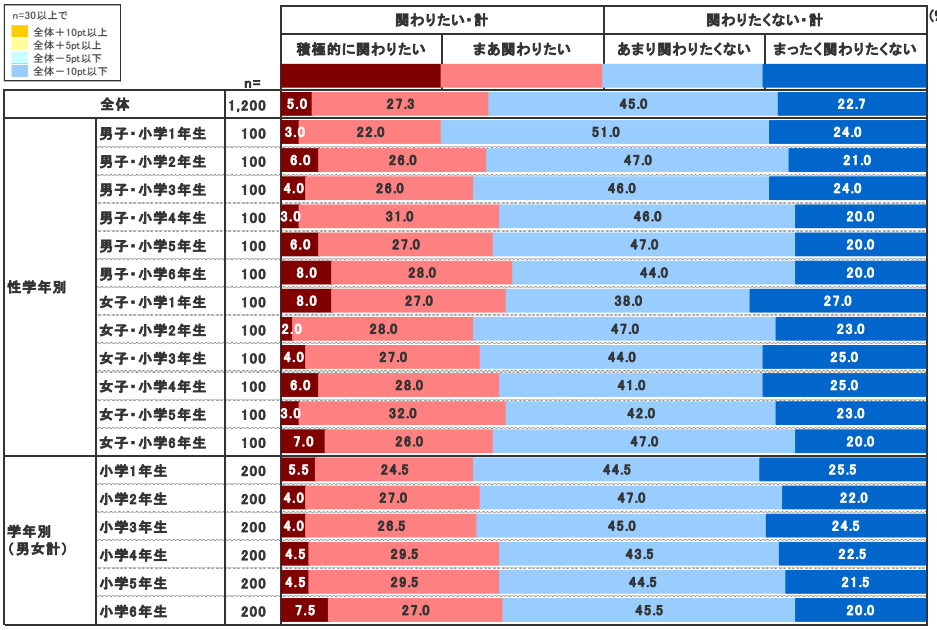
人間関係の煩わしさなどから、ＰＴＡには関わりたくないという保護者が過半数。

【図 52-1】あなたは、ＰＴＡに関わっていますか。



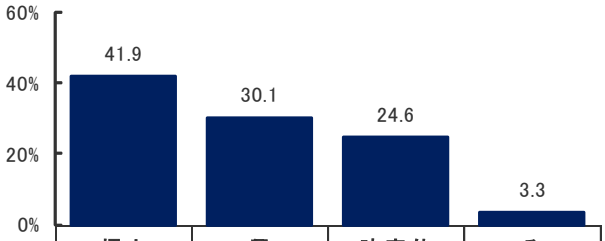
		n=	積極的に関わっている	まあ関わっている	あまり関わっていない	まったく関わっていない	関わっている・計	関わっていない・計
全体		1,200	10.0	35.2	32.6	22.3	45.2	54.8
性学年別	男子・小学1年生	100	6.0	32.0	35.0	27.0	38.0	62.0
	男子・小学2年生	100	12.0	32.0	36.0	20.0	44.0	56.0
	男子・小学3年生	100	9.0	25.0	34.0	32.0	34.0	66.0
	男子・小学4年生	100	8.0	44.0	33.0	15.0	52.0	48.0
	男子・小学5年生	100	12.0	43.0	27.0	18.0	55.0	45.0
	男子・小学6年生	100	12.0	41.0	28.0	19.0	53.0	47.0
	女子・小学1年生	100	13.0	24.0	33.0	30.0	37.0	63.0
	女子・小学2年生	100	9.0	39.0	32.0	20.0	48.0	52.0
	女子・小学3年生	100	7.0	32.0	36.0	25.0	39.0	61.0
	女子・小学4年生	100	10.0	36.0	30.0	24.0	46.0	54.0
	女子・小学5年生	100	14.0	38.0	30.0	18.0	52.0	48.0
	女子・小学6年生	100	8.0	36.0	37.0	19.0	44.0	56.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	9.5	28.0	34.0	28.5	37.5	62.5
	小学2年生	200	10.5	35.5	34.0	20.0	46.0	54.0
	小学3年生	200	8.0	28.5	35.0	28.5	36.5	63.5
	小学4年生	200	9.0	40.0	31.5	19.5	49.0	51.0
	小学5年生	200	13.0	40.5	28.5	18.0	53.5	46.5
	小学6年生	200	10.0	38.5	32.5	19.0	48.5	51.5

【図 52-2】あなたは、ＰＴＡとの関わりについてどう思いますか。



		n=	積極的に関わりたい	まあ関わりたい	あまり関わりたくない	まったく関わりたくない	関わりたい・計	関わりたくない・計
全体		1,200	5.0	27.3	45.0	22.7	32.3	67.7
性学年別	男子・小学1年生	100	3.0	22.0	51.0	24.0	25.0	75.0
	男子・小学2年生	100	6.0	26.0	47.0	21.0	32.0	68.0
	男子・小学3年生	100	4.0	26.0	46.0	24.0	30.0	70.0
	男子・小学4年生	100	3.0	31.0	46.0	20.0	34.0	66.0
	男子・小学5年生	100	6.0	27.0	47.0	20.0	33.0	67.0
	男子・小学6年生	100	8.0	28.0	44.0	20.0	36.0	64.0
	女子・小学1年生	100	8.0	27.0	38.0	27.0	35.0	65.0
	女子・小学2年生	100	2.0	28.0	47.0	23.0	30.0	70.0
	女子・小学3年生	100	4.0	27.0	44.0	25.0	31.0	69.0
	女子・小学4年生	100	6.0	28.0	41.0	25.0	34.0	66.0
	女子・小学5年生	100	3.0	32.0	42.0	23.0	35.0	65.0
	女子・小学6年生	100	7.0	26.0	47.0	20.0	33.0	67.0
学年別（男女計）	小学1年生	200	5.5	24.5	44.5	25.5	30.0	70.0
	小学2年生	200	4.0	27.0	47.0	22.0	31.0	69.0
	小学3年生	200	4.0	26.5	45.0	24.5	30.5	69.5
	小学4年生	200	4.5	29.5	43.5	22.5	34.0	66.0
	小学5年生	200	4.5	29.5	44.5	21.5	34.0	66.0
	小学6年生	200	7.5	27.0	45.5	20.0	34.5	65.5

【図 52-3】あなたは、先程ＰＴＡに「まったく関わりたくない」とお答えになりましたが、その理由についてお答え下さい。



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

		n=	人間関係が煩わしいから	興味がない	仕事や介護・家事の関係で時間が取れないから	その他
全体		272	41.9	30.1	24.6	3.3
性学年別	男子・小学1年生	24	33.3	29.2	37.5	－
	男子・小学2年生	21	23.8	33.3	38.1	4.8
	男子・小学3年生	24	50.0	37.5	8.3	4.2
	男子・小学4年生	20	30.0	40.0	25.0	5.0
	男子・小学5年生	20	55.0	20.0	20.0	5.0
	男子・小学6年生	20	35.0	40.0	25.0	－
	女子・小学1年生	27	48.1	22.2	29.6	－
	女子・小学2年生	23	43.5	17.4	34.8	4.3
	女子・小学3年生	25	32.0	40.0	16.0	12.0
	女子・小学4年生	25	36.0	36.0	28.0	－
	女子・小学5年生	23	60.9	21.7	17.4	－
	女子・小学6年生	20	55.0	25.0	15.0	5.0
学年別（男女計）	小学1年生	51	41.2	25.5	33.3	－
	小学2年生	44	34.1	25.0	36.4	4.5
	小学3年生	49	40.8	38.8	12.2	8.2
	小学4年生	45	33.3	37.8	26.7	2.2
	小学5年生	43	58.1	20.9	18.6	2.3
	小学6年生	40	45.0	32.5	20.0	2.5

※n=30未満は参考値のため灰色。　※全体の値を基準に降順並び替え

小学生の子を持つ保護者にＰＴＡへの関わりの度合いについて 4 段階で回答してもらったところ、「積極的に関わっている」「まあ関わっている」が合わせて 45.2%、「あまり関わっていない」「全く関わっていない」が合わせて 54.8%となった。全体としては関わっているグループより関わっていないグループの方が多いようだが、差は 9.6 ポイントと、だいたい半々のようだ。

一方、「あなたは、ＰＴＡとの関わりについてどう思いますか。」という質問に対する回答が【図 52-2】だ。「積極的に関わりたい」「まあ関わりたい」が合わせて 32.3%、「あまり関わりたくない」「全く関わりたくない」が合わせて 67.7%となった。前述の実際の関わりの度合いとはギャップがあり、本当は関わりたくないが仕方なく参加しているという層が一定数いることが想像できる。

さらに、ＰＴＡに「まったく関わりたくない」と回答した保護者に対して「あなたは、先程ＰＴＡに「まったく関わりたくない」とお答えになりましたが、その理由についてお答え下さい。」と質問した結果が【図 52-3】だ。理由は「人間関係が煩わしいから」（41.9%）が 1 位で、2 位は「興味がない」（30.1%）、3 位は「仕事や介護・家事の関係で時間が取れないから」（24.6%）となった。 学校教師の多忙化と、子どもをとりまく環境の複雑化に伴い、今こそＰＴＡ存在意義を今一度問い直す必要があろう。

2016　学研教育総合研究所
本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、弊所が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、弊所はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、貴者ご自身のご判断にてなされますようお願い申し上げます。

編著　　教育情報研究室
発行　　（株）学研ホールディングス
学研教育総合研究所（http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/）